

**第2期蕨市子ども・子育て支援事業計画
利用希望把握調査報告書**

平成31年3月

蕨市

目 次

| | | |
|-----|----------------------------------|-----|
| I | 調査の概要 | 1 |
| 1 | 調査の目的 | 3 |
| 2 | 調査概要 | 3 |
| 3 | 回収状況 | 3 |
| 4 | 集計方法 | 4 |
| II | 就学前児童の保護者の調査結果 | 5 |
| 1 | 住まいの地域について | 7 |
| 2 | 子どもと家族の状況について | 8 |
| 3 | 子どもの育ちをめぐる環境について | 12 |
| 4 | 保護者の就労状況について | 22 |
| 5 | 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について | 32 |
| 6 | 地域の子育て支援事業の利用状況について | 45 |
| 7 | 土曜・休日や長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望について | 50 |
| 8 | 子どもの病気の際の対応について | 55 |
| 9 | 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かりなどの利用について | 62 |
| 10 | 小学校就学後の放課後の過ごし方について | 71 |
| 11 | 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について | 79 |
| III | 留守家庭児童指導室在室児童の保護者の調査結果 | 101 |
| 1 | 子どもと家族の状況について | 103 |
| 2 | 定期的な留守家庭児童指導室の利用状況および利用希望について | 111 |
| 3 | 子どもの病気の際の対応について | 123 |
| 4 | 子育て全般について | 126 |

I 調査の概要

1 調査の目的

子ども・子育て支援法に基づき、平成 27 年 3 月に策定した（第 1 期）蕨市子ども・子育て支援事業計画の終期が平成 31 年度であることから、平成 32 年度を始期とする第 2 期蕨市子ども・子育て支援事業計画を改めて策定します。本調査は、策定に必要となる各事業の利用状況、市民ニーズの把握等をアンケート調査により明確にし、計画策定の基礎資料とすることを目的として実施しました。

2 調査概要

（1）調査地域

蕨市内全域

（2）調査対象者

①就学前児童の保護者・・・・・・・・・・1,000 人

②留守家庭児童指導室在室児童の保護者・・・642 人

（3）抽出方法

①就学前児童の保護者・・・・・・・・・・住民基本台帳より無作為抽出

②留守家庭児童指導室在室児童の保護者・・・留守家庭児童指導室在室児童全員

（4）調査方法

行政連絡員による配付、郵送回収

（5）調査期間

平成 31 年 2 月 5 日～2 月 22 日（平成 31 年 3 月 11 日到着分まで集計）

3 回収状況

| | 配布数 (A) | 回収数 (B) | 有効回収数 (C) | 有効回収率 (C/A) |
|-----------------------|------------|------------|--------------|----------------|
| 就学前児童の保護者 | 1,000 | 412 | 412 | 41.2% |
| 留守家庭児童指導室 在室児童の保護者 | 642 | 331 | 331 | 51.6% |
| 合計 | 1,642 | 743 | 743 | 45.2% |

4 集計方法

- ① 集計した数値 (%) は小数第 2 位を四捨五入し、小数第 1 位まで表示しています。そのため、質問に対する回答の選択肢が 1 つだけの場合、選択肢の数値 (%) をすべて合計しても、100.0% にならない場合があります。
 - ② 回答者数を分母として割合 (%) を計算しているため、複数回答の場合には、各選択肢の割合を合計すると 100.0% を超えます。
 - ③ 表では、特別の表記がない限り、上段が実数、下段が % (小数第 1 位まで) を表示しています。
 - ④ 表に「-」と表示してあるのは回答者がいなかった場合、「*」と表示してあるのは、対象者がいなかった場合です。
 - ⑤ アンケート調査票の選択肢の文章が長い場合、図表の中では要約して表記している場合があります。
- ※ 各回答において、回答者が少数である場合の比率については、比率が動きやすく分析には適さないため、参考値として掲載しています。

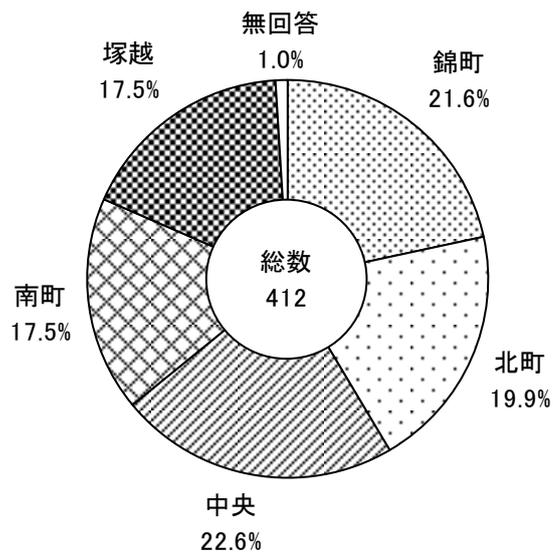
Ⅱ 就学前児童の保護者の調査結果

1 住まいの地域について

(1) 居住地区

問1 お住まいの地区はどこですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「中央」が22.6%で最も多く、次いで「錦町」が21.6%、「北町」が19.9%となっています。

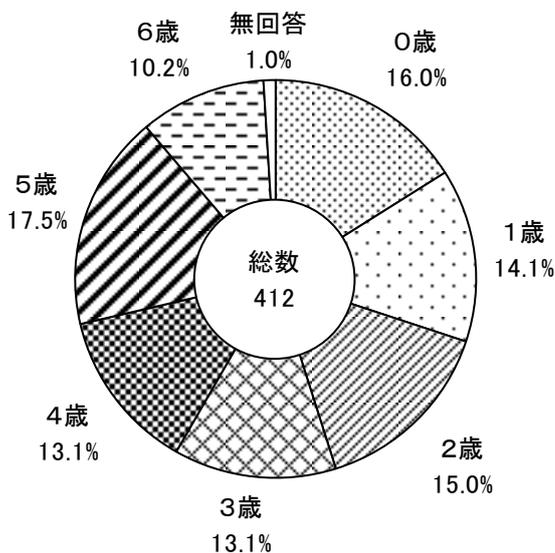


2 子どもと家族の状況について

(1) 子どもの生年月

問2 宛名のお子さんの生年月をご記入ください。(口内に数字でご記入ください。)

「5歳」が17.5%で最も多く、次いで「0歳」が16.0%、「2歳」が15.0%となっています。



※ この設問では子どもの生年月をうかがいましたが、この報告書では以下の年齢区分に従って集計しています。

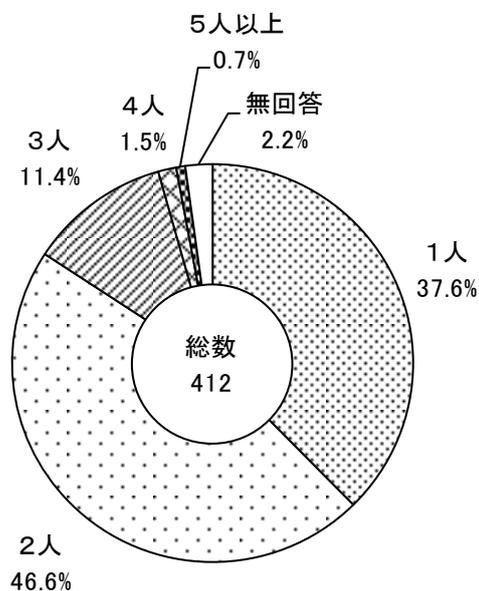
| 年齢 | | 対象年齢該当生年月 |
|-------|----|------------------|
| 就学前児童 | 0歳 | 平成30年2月～平成30年11月 |
| | 1歳 | 平成29年2月～平成30年1月 |
| | 2歳 | 平成28年2月～平成29年1月 |
| | 3歳 | 平成27年2月～平成28年1月 |
| | 4歳 | 平成26年2月～平成27年1月 |
| | 5歳 | 平成25年2月～平成26年1月 |
| | 6歳 | 平成24年6月～平成25年1月 |

(2) きょうだい数、末子の生年月

問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数を口内に数字でご記入ください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月月をご記入ください。

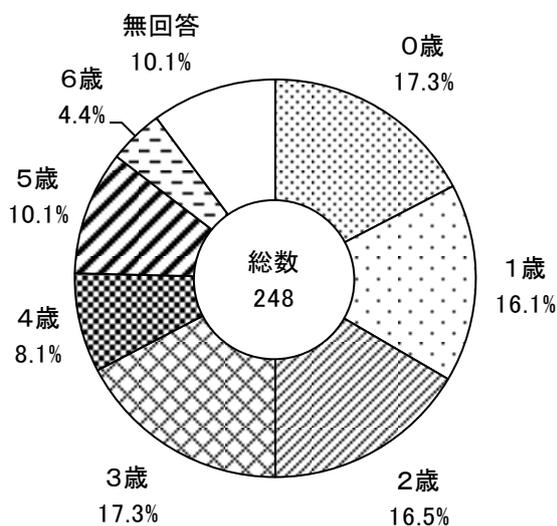
①きょうだい数

「2人」が46.6%で最も多く、次いで「1人」が37.6%、「3人」が11.4%となっています。



②末子の年齢

「0歳」と「3歳」がそれぞれ17.3%で最も多く、次いで「2歳」が16.5%となっています。

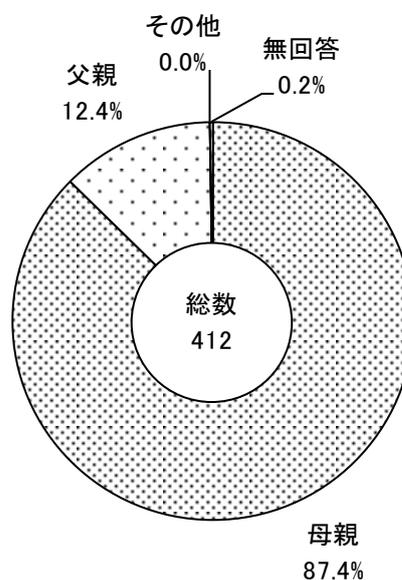


※ この設問では子どもの生年月月をうかがいましたが、この報告書では8ページの年齢区分に従って集計しています。

(3) 回答者

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

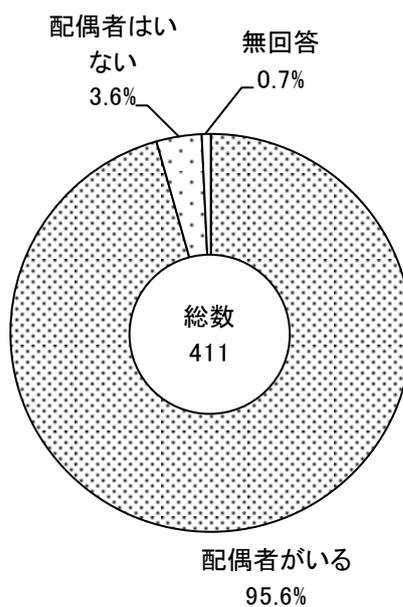
「母親」が87.4%で最も多く、次いで「父親」が12.4%となっています。



(4) 回答者の配偶関係

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。(問4で「3. その他」と回答した方は回答不要です。)

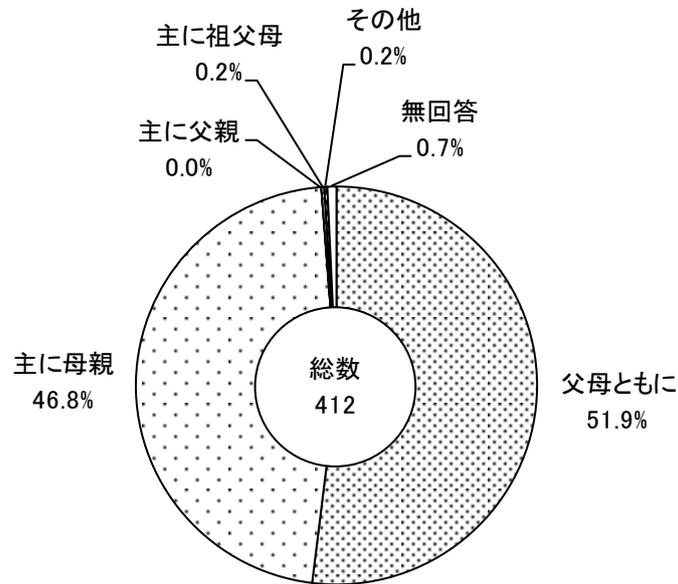
「配偶者がいる」が95.6%、「配偶者がいない」が3.6%となっています。



(5) 子育てを主に行っている人

問6 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

「父母ともに」が51.9%で最も多く、次いで「主に母親」が46.8%となっています。

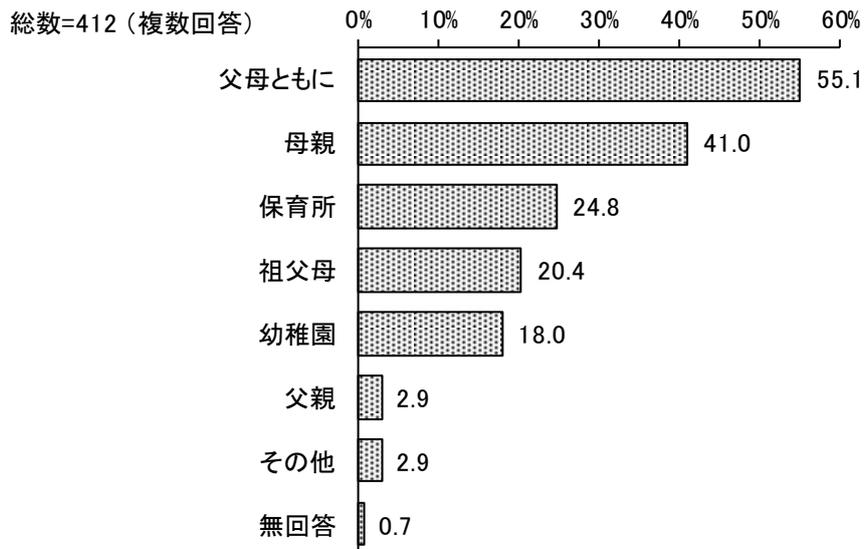


3 子どもの育ちをめぐる環境について

(1) 子育てに日常的に関わっている人や施設

問7 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)に日常的に関わっている方はどなた(施設)ですか。
お子さんからみた関係で当てはまる番号すべてに○をつけてください。

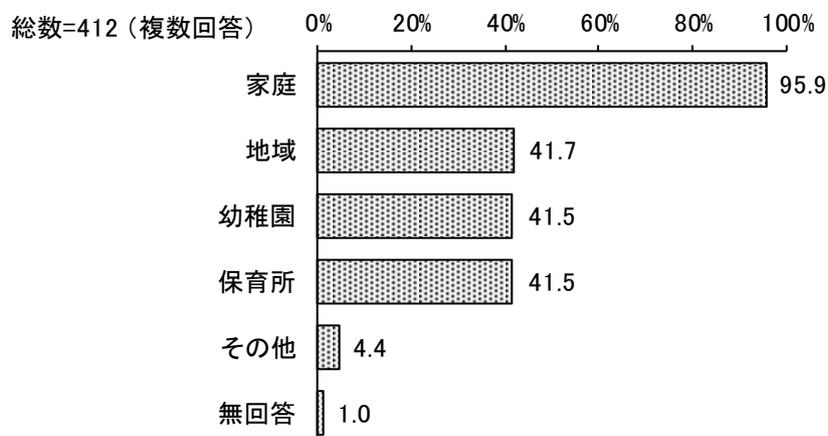
「父母ともに」が55.1%で最も多く、次いで「母親」が41.0%、「保育所」が24.8%となっています。



(2) 子育てに影響すると思われる環境

問8 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)に、影響すると思われる環境すべてに○をつけてください。

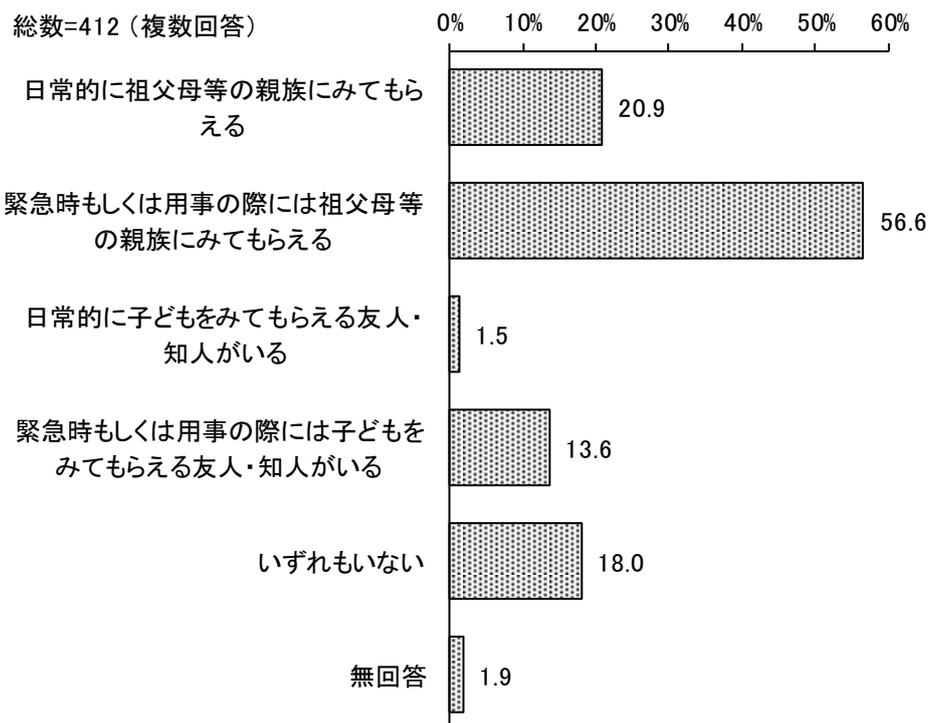
「家庭」が95.9%で最も多く、次いで「地域」が41.7%、「幼稚園」と「保育所」がそれぞれ41.5%となっています。



(3) 子どもをみてもらえる親族・知人の有無

問9 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

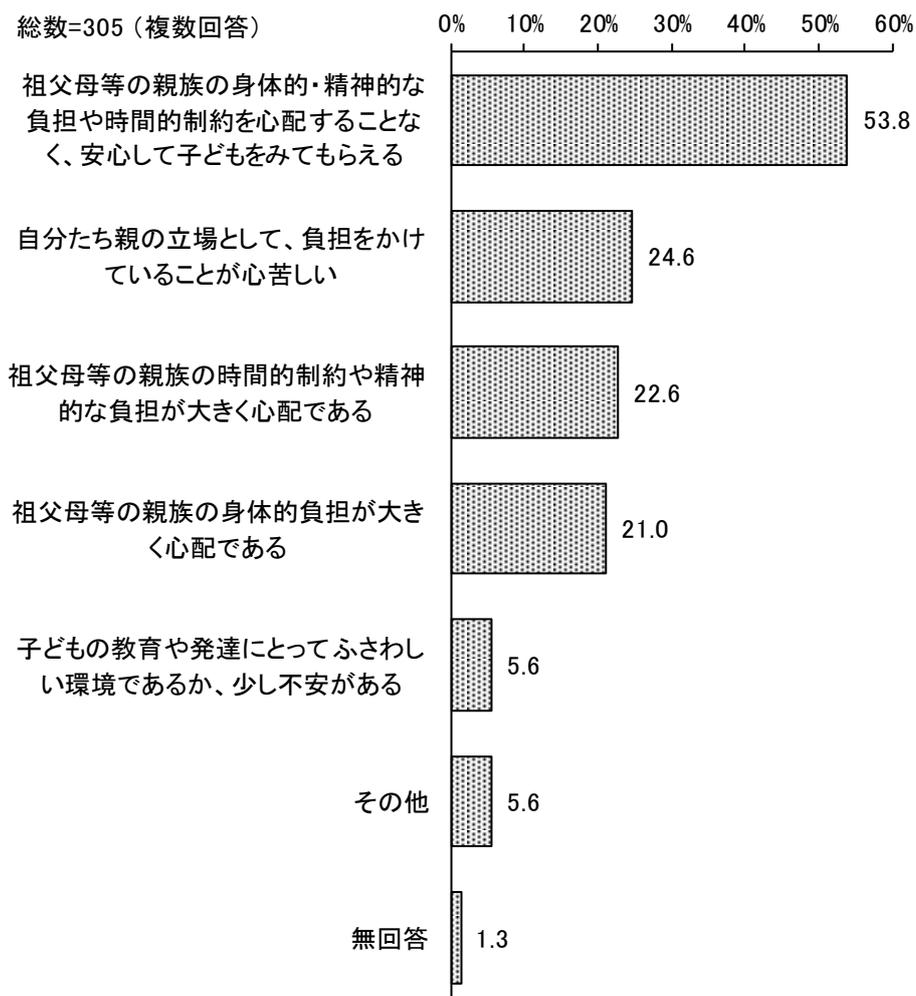
「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が 56.6%で最も多く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が 20.9%、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」が 13.6%となっています。一方、「いずれもない」は 18.0%となっています。



(4) 子どもをみてもらえる親族の負担等

問9-1 問9で「1.」または「2.」に○をつけた方にかがいます。祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

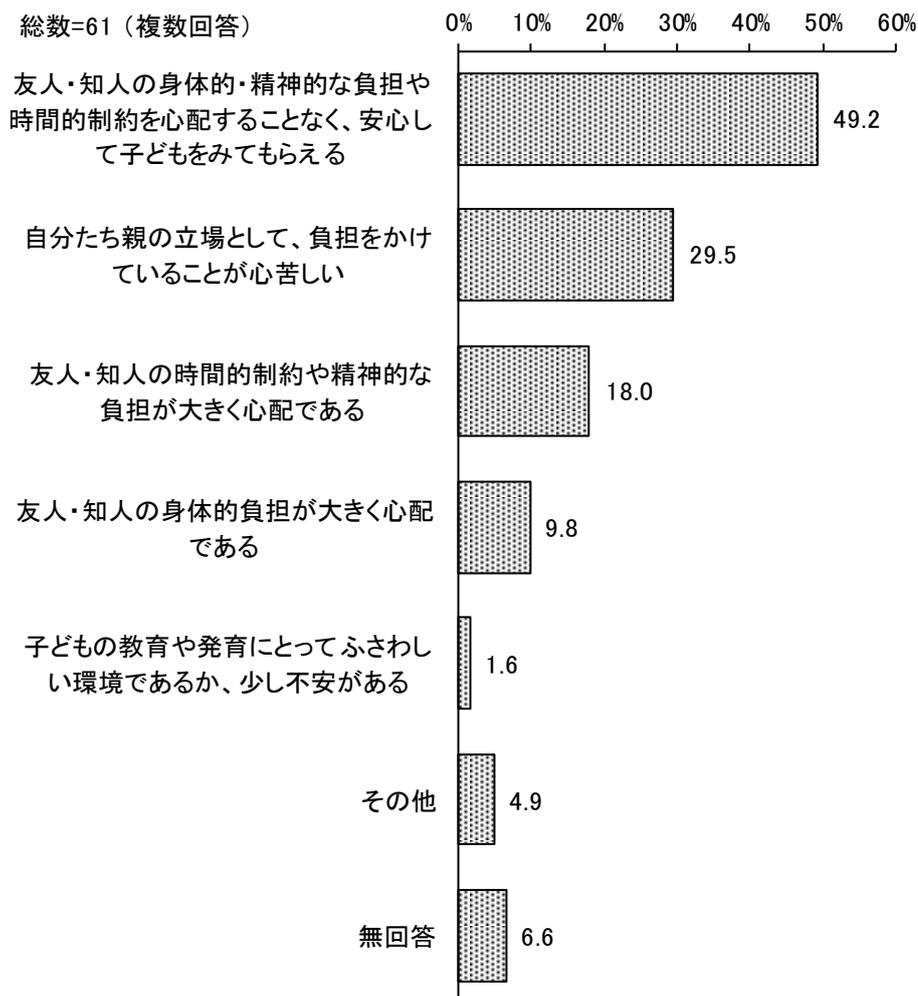
「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が53.8%で最も多く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が24.6%、「祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が22.6%となっています。



(5) 子どもをみてもらえる友人・知人の負担等

問9-2 問9で「3.」または「4.」に○をつけた方にかがいます。友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

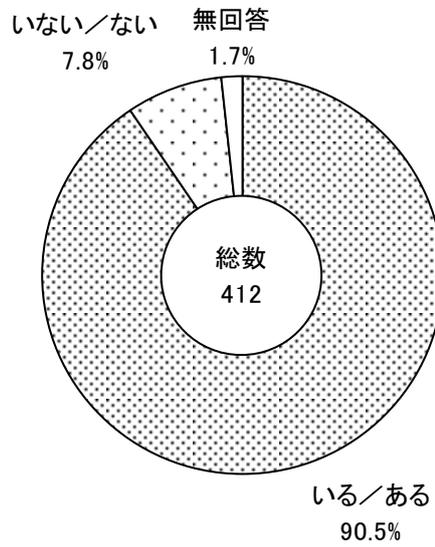
「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が49.2%で最も多く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が29.5%、「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が18.0%となっています。



(6) 子育てをする上で気軽に相談できる相手の有無

問10 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

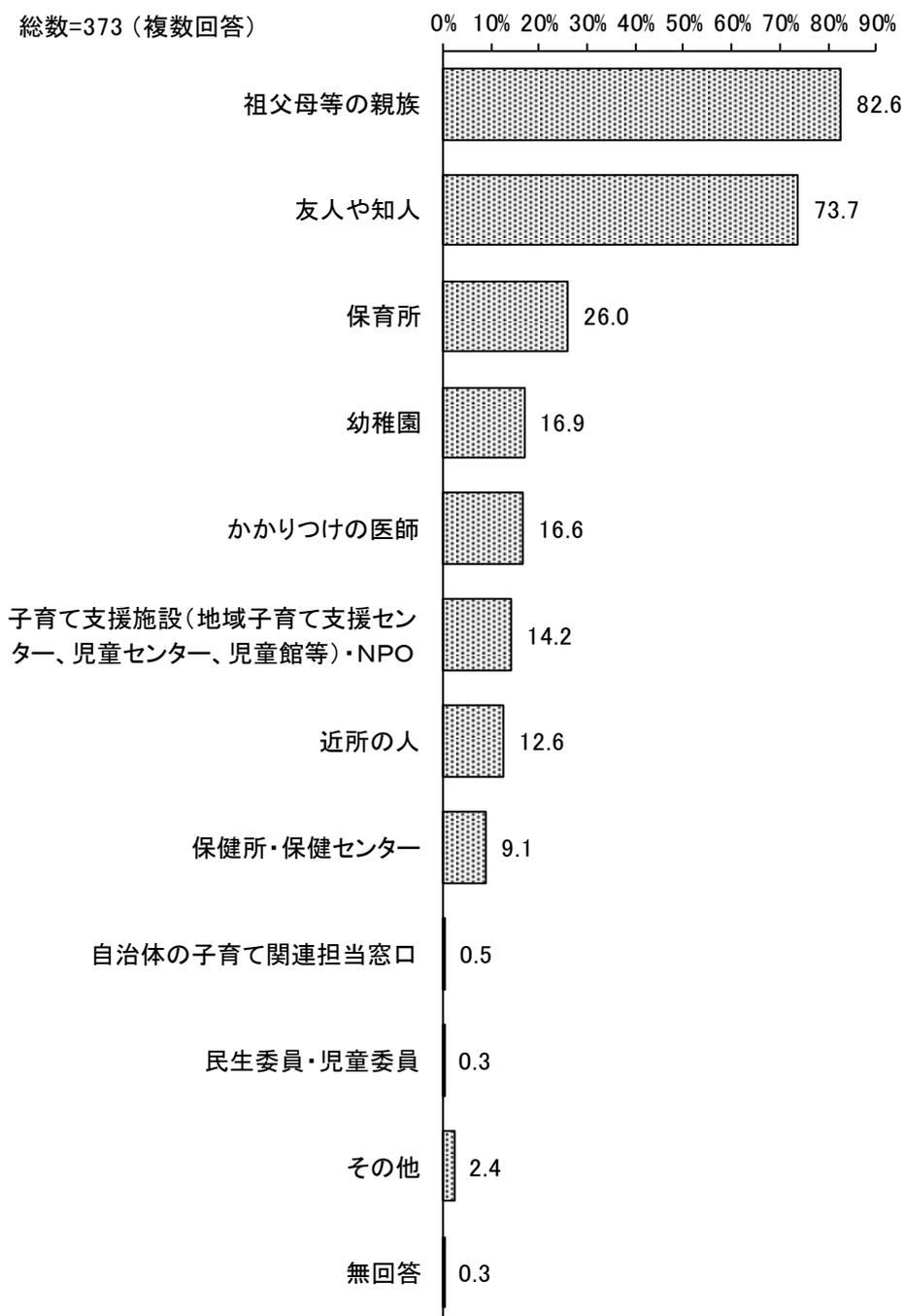
「いる／ある」が90.5%、「いない／ない」が7.8%となっています。



(7) 子育てに関して気軽に相談できる相手

問 10-1 問 10 で「1. いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

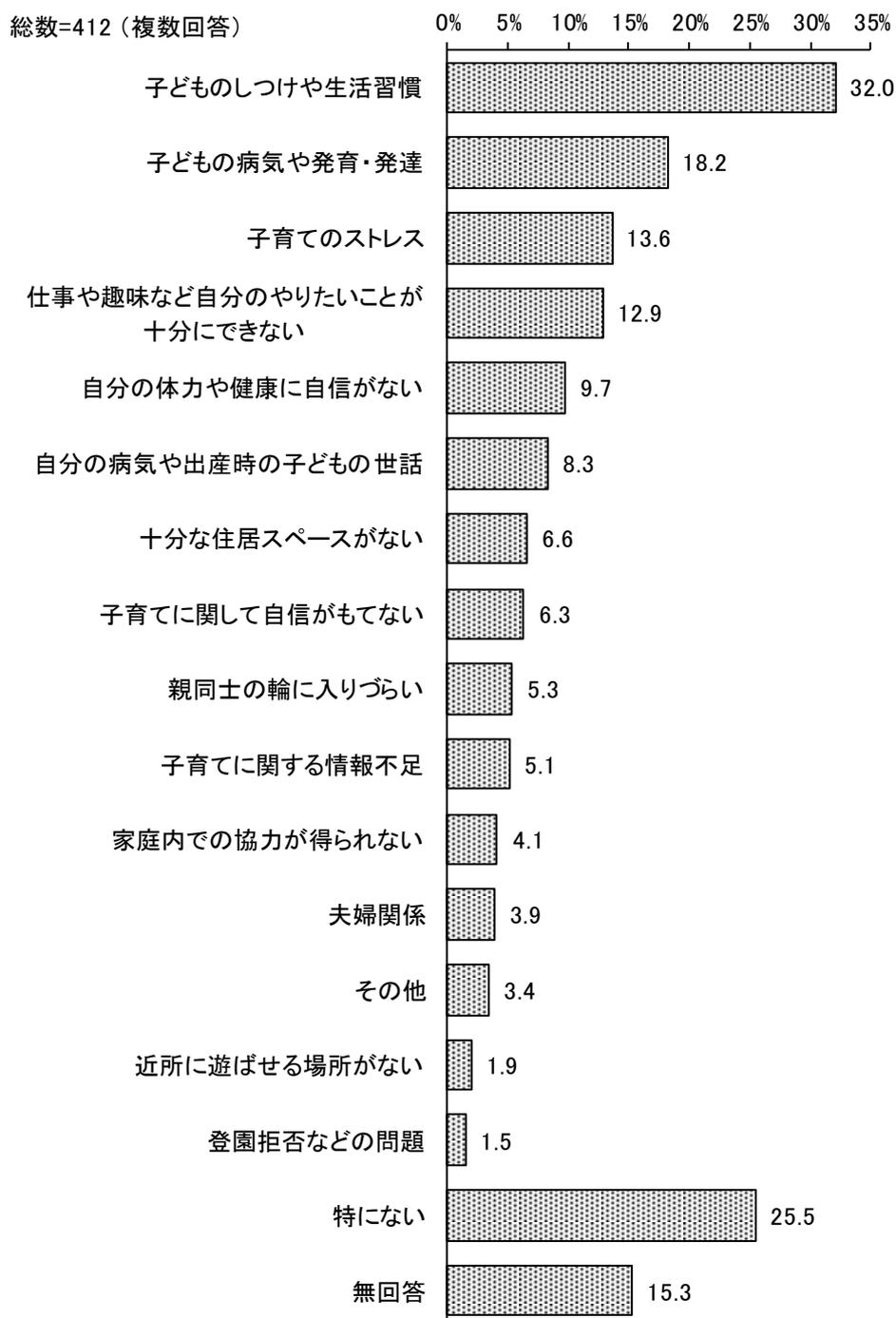
「祖父母等の親族」が 82.6% で最も多く、次いで「友人や知人」が 73.7%、「保育所」が 26.0% となっています。



(8) 子育てにおける悩みや不安

問 11 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）について、現在、何か悩みや不安をお持ちですか。
当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「子どものしつけや生活習慣」が 32.0%で最も多く、次いで「子どもの病気や発育・発達」が 18.2%、「子育てのストレス」が 13.6%となっています。一方、「特にない」は 25.5%となっています。



(9) 子育てをする上であるとよい周囲からのサポート

問 12 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

有効回収数 412 票中 133 票に記述がありました（1 票の中に複数の分野にまたがる回答もあるため、各項目の回答件数の合計は 133 件より多くなっています）。以下に回答内容の中から一部を抜粋・調整し、掲載しました。

<主な回答内容>

○相談・情報提供について（22 件）

- ・気軽に相談できる窓口や電話相談があり、アフターフォローもしっかりしたサポート、「その後いかがですか？」と気にかけてもらえると嬉しい。
- ・イベントの中で相談の窓口があればもっと気軽に相談したりできると思う。広報紙やフリーペーパーなど子育ての情報を発信してもらえると嬉しい。
- ・24 時間電話で相談できるところがあると助かります。
- ・幼稚園や保育園やこども園のことを詳しく知りたいが、自分で調べるしかない。ホームページには大した情報は記載されておらず、口コミサイトなどは本当か分からない。友人、知人も近所にはいないのでどうしたらよいかわからない。
- ・子育てに関する情報。例えば年齢に応じた予防接種のお知らせ。
- ・同年の集まり事やイベントがある時にお知らせ、ハガキなどあったら嬉しい。

○講座・イベント・集いの場について（12 件）

- ・ワークショップなど子育て世代向けのイベントがもっと多くなってほしい。
- ・蔵市はイベントが多くとても助かっていますが、子ども用品だけを集めた（洋服やおもちゃ）バザーまたはフリマを定期的にしてやって頂けると、性別が違う兄弟のものやサイズアウトしたものを人に譲りやすくなります。近い年齢を持った母親たちの交流になるような気がします。
- ・障害児を抱える親の集いを提供して欲しい。辛い気持ちを抱え閉鎖的になっている母親は、社会性が著しく低下してしまう。

○一時的保育について（40 件）

- ・短い時間でも良いから子どもを預けて自分の時間に充てたい。体調が悪い時に特に困るので、急な事情にも対応してくれるようなサポートが欲しい。
- ・保育園での一時保育は緊急時は突発的に使いづらいので、事前登録などもっと気軽に、簡単な手続きで利用できるものがあれば助かります。
- ・夫の転勤で実家から離れており、気軽に子供を預けたり手伝いに来てくれる人がいないのが大変。近くの子育て支援施設で少しの間（30 分でも）預かってくれたら良いと思います。

○ファミリー・サポート・センターについて（3 件）

- ・ファミサポ登録の手続きが大変。

○病児・病後児保育について（11件）

- ・病気などいざという時に安価で預けられる場所があればと思う。

○経済的支援について（6件）

- ・金銭面の援助。
- ・保育園の無償化。
- ・予防接種について。任意接種のワクチンの料金を全額負担か一部負担をお願いしたいです。また、風疹の予防接種を呼びかけ、料金の全額負担か一部負担をして欲しい。妊娠中の女性、そのおなかの中の赤ちゃんを先天性風疹症候群から守ってほしい。

○定期的な教育・保育事業について（12件）

- ・働いていても教育に力を入れられるようなサポートがあれば嬉しい。保育園でも教育面をより充実させてもらえると働いている方もさらに安心できると思います。
- ・夫婦共働き世帯のため、残業等の際に子どもの面倒を見てもらえる（預かってもらう）。
- ・共働きなので習い事が平日にできない。平日でも保育園等で習い事ができたら嬉しい。

○放課後児童クラブについて（3件）

- ・学童に入れる予定ではありませんが、小学校入学後、緊急時や私の体調不良の時など学童のように放課後、子どもを預かって頂ける場所があったら良いと思います。
- ・急な学校の学級閉鎖の時に見てもらえるところ。

○母子保健について（12件）

- ・初めての子どもは心配が尽きないので、赤ちゃん訪問以外に1か月単位など見てくれるとすごく嬉しいです。
- ・健診等をもう少し短いスパンで実施していただけると、発育状況も伺えて安心できるかなと感じます。
- ・保健師さんが定期的に子育てについての悩みなどを聞いてくださるなど、気軽に相談できるようにして欲しい。自分から保健センターには行きにくいし、リアルに何でも話せる人がいたら自分が背負っているものが少し軽くなるように思う。
- ・産後すぐのケア（新生児期～首すわり前）。母子ともに体の状態を見てもらったり、家事のサポート等。

○小児医療について（5件）

- ・休日、夜間等の救急の充実。
- ・子どもが急病になった時に診てもらえる救急病院がもう少し増えれば良い。

○障害のある子どもへの支援について（2件）

- ・発達気になる子どもを市、幼稚園（私立公立両方）、専門教育施設が連携して早期発見、早期対応して欲しいです。就学後もサポート体制（教職員の人数を増やし、先生たちも余裕のある環境づくりができるなど）があると子どもたちみんなが安心だと思います。

○就学後の子どもの居場所について（6件）

- ・小学生について、放課後子ども教室が毎日あれば良いと思う。
- ・児童センターなど雨の日でも安心して遊ぶことができる施設の充実。

○公園整備について（2件）

- ・綺麗で遊具の充実した公園や児童館が増えたらいい。

○ワーク・ライフ・バランスや男女共同参画について（6件）

- ・仕事、家事、育児と具合が悪くても主人が絶対に仕事を休めないで、自分にかかり負担がかかり、辛く思うこともある。仕事があっても子どもが具合悪ければ自分が休むしかなく、仕事が忙しかったりした時だと、とても肩身の狭い思いをする。母親ばかりが全ての負担を負わなくてもいいよう、社会的に父親も協力できるようにしてほしい。
- ・旦那さんに休日1時間でいいので子どもを見てもらい、一人の時間が欲しい。子どもを見てたりするのが当たり前になっているので、意識を変えてほしい。子育てに対して男女平等になれば良いと思う。

○送迎について（8件）

- ・車がない世帯など移動で困る時、送迎車（タクシーなど）の割引などの助成制度。
- ・図書館や市民公園など、子育て支援施設のイベントの日などに巡回してくれる移動のサポート。気兼ねなく移動できる手段（低コストで）が欲しい。

○その他について（15件）

- ・食事を作り、食べさせ、片付けるという作業が、自分が体調を崩した時にできなくなる。その時に助けを必要と感じます。
- ・親同士のトラブルを相談できる場所があるといい。
- ・障害児の保育は親がメインになるので、他の兄弟のサポートをしていただけると助かります。
- ・PTAの作業時間の軽減。
- ・育児に対して古い考え方の人が多い。新しい考え方、情報を教育関係者に広めて欲しい。

4 保護者の就労状況について

(1) 現在の就労状況

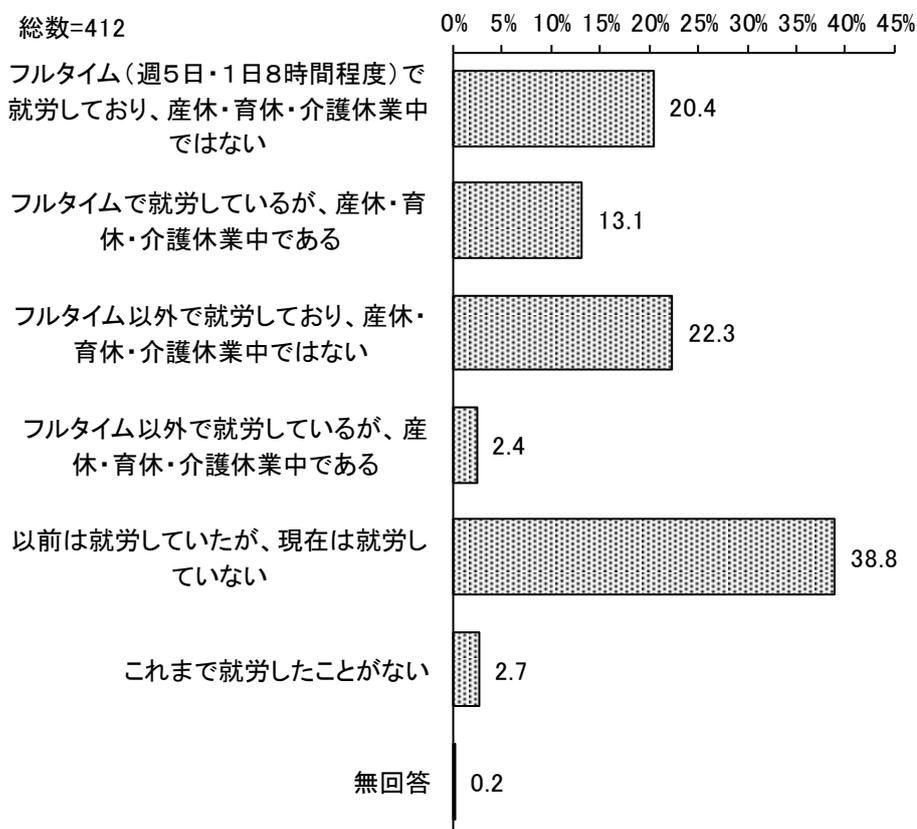
問 13 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

【母親】

(1) 母親 【父子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

①就労状況

「以前は就労していたが、現在は就労していない」が 38.8%で最も多く、次いで「フルタイム以外で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が 22.3%、「フルタイム（週5日・1日8時間程度）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が 20.4%となっています。

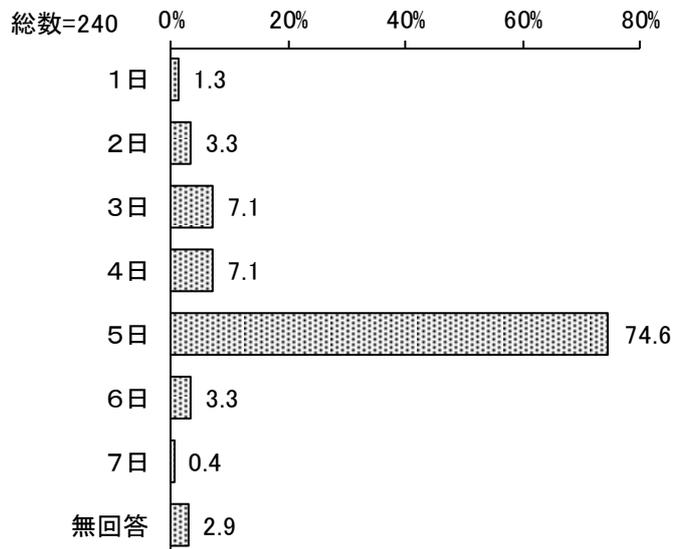


② 1週当たりの就労日数、1日当たりの就労時間

(1) -1 (1)で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(□内に数字でご記入ください。)

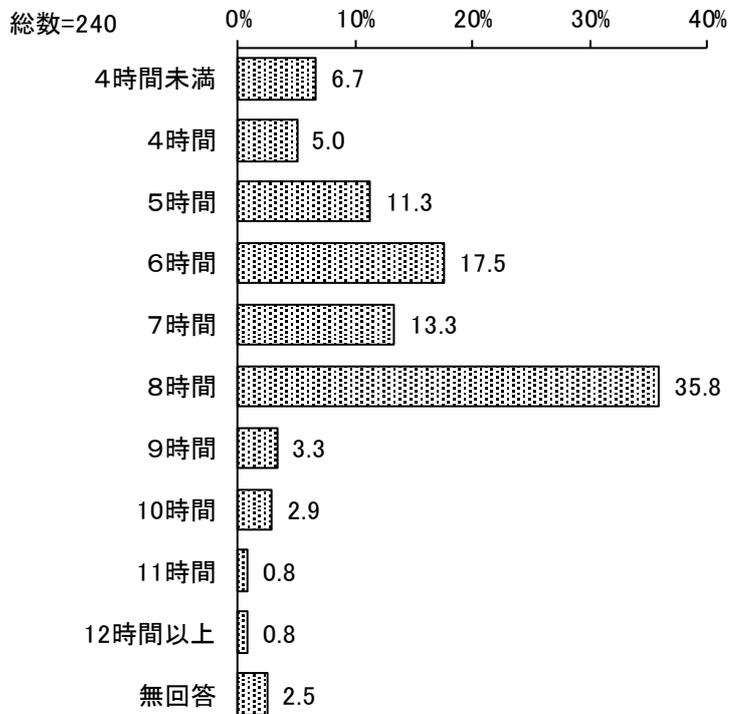
②-ア. 1週当たりの就労日数

「5日」が74.6%で最も多く、次いで「3日」と「4日」がそれぞれ7.1%となっています。



②-イ. 1日当たりの就労時間

「8時間」が35.8%で最も多く、次いで「6時間」が17.5%、「7時間」が13.3%となっています。

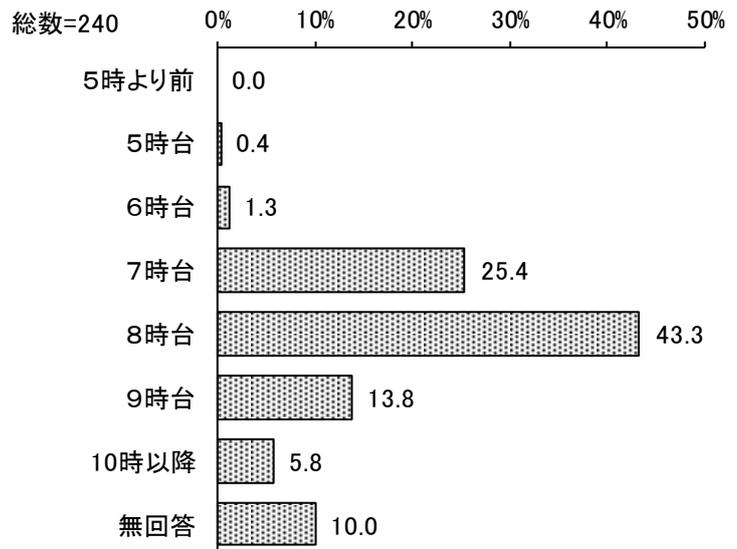


③家を出る時刻、帰宅時刻

(1)-2 (1)で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、(例)08時~18時のように、24時間制でお答えください。(口内に数字でご記入ください。)

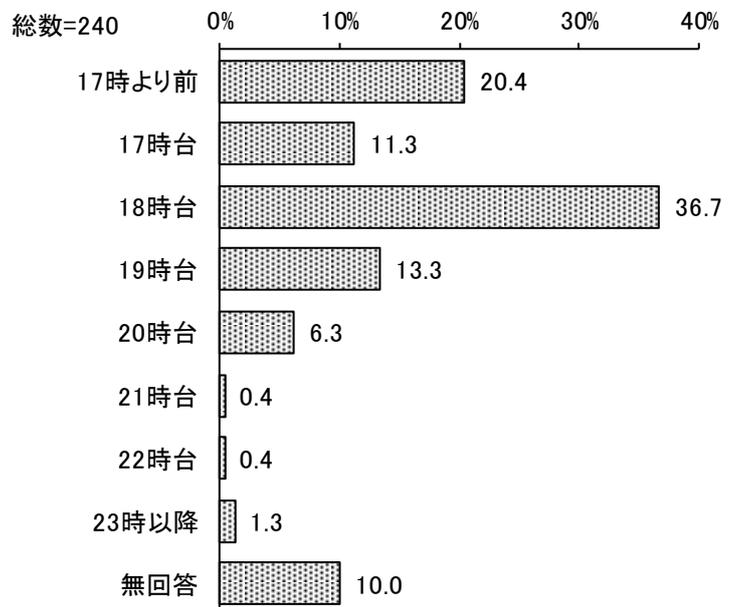
③-ア. 家を出る時刻

「8時台」が43.3%で最も多く、次いで「7時台」が25.4%、「9時台」が13.8%となっています。



③-イ. 帰宅時刻

「18時台」が36.7%で最も多く、次いで「17時より前」が20.4%、「19時台」が13.3%となっています。

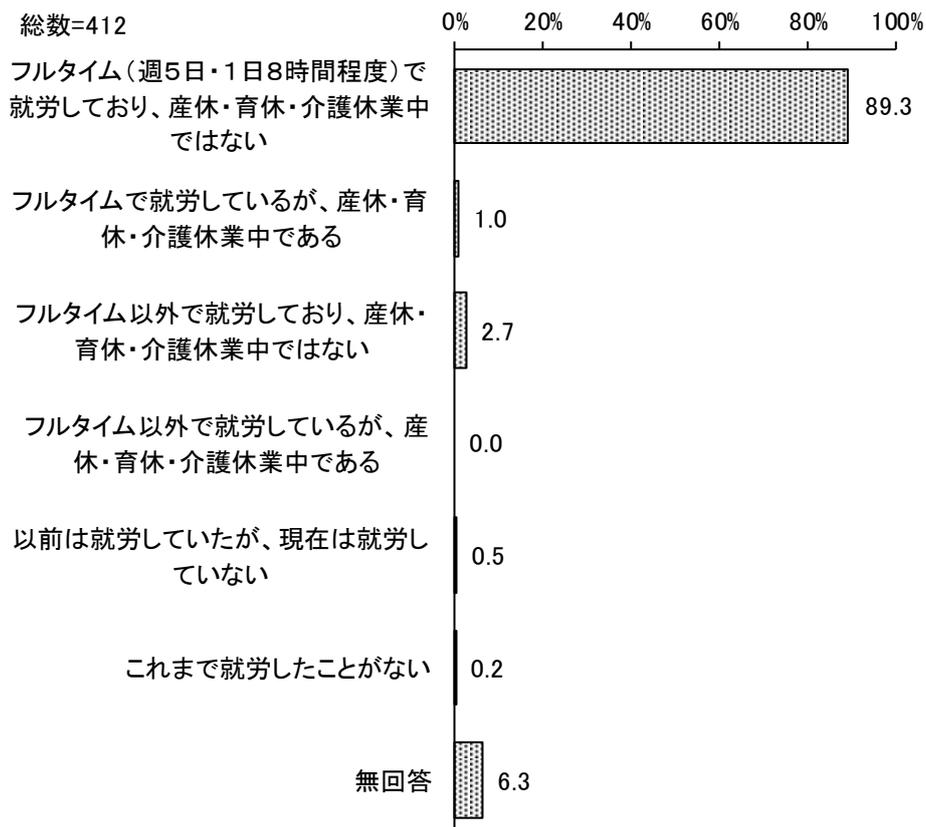


【父親】

(2) 父親 【母子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号1つに○をつけてください。

①就労状況

「フルタイム（週5日・1日8時間程度）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が89.3%で最も多く、次いで「フルタイム以外で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が2.7%、「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」が1.0%となっています。

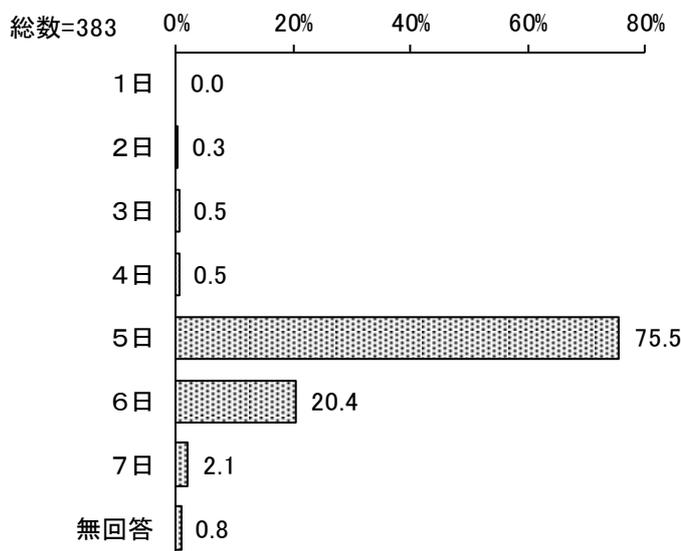


② 1週当たりの就労日数、1日当たりの就労時間

(2)-1 (2)で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が、一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(□内に数字でご記入ください。)

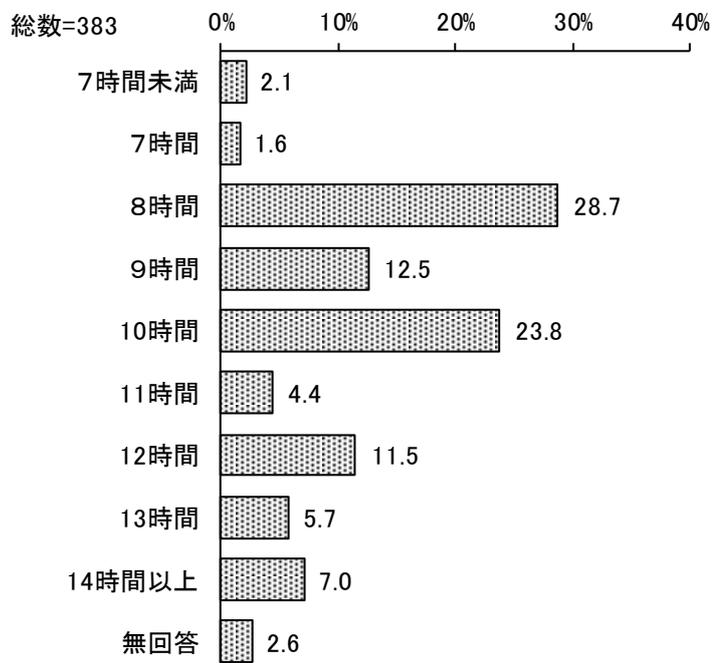
②-ア. 1週当たりの就労日数

「5日」が75.5%で最も多く、次いで「6日」が20.4%、「7日」が2.1%となっています。



②-イ. 1日当たりの就労時間

「8時間」が28.7%で最も多く、次いで「10時間」が23.8%、「9時間」が12.5%となっています。

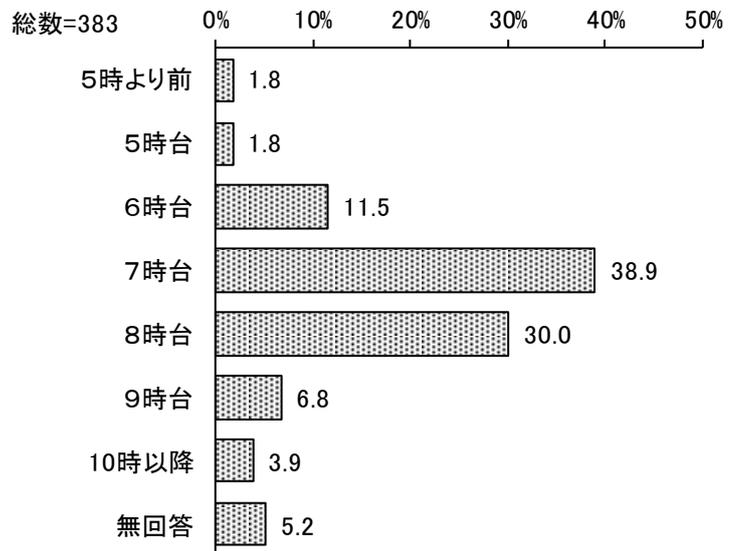


③家を出る時刻、帰宅時刻

(2)-2 (2)で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、(例)08時~18時のように、24時間制でお答えください。(□内に数字でご記入ください。)

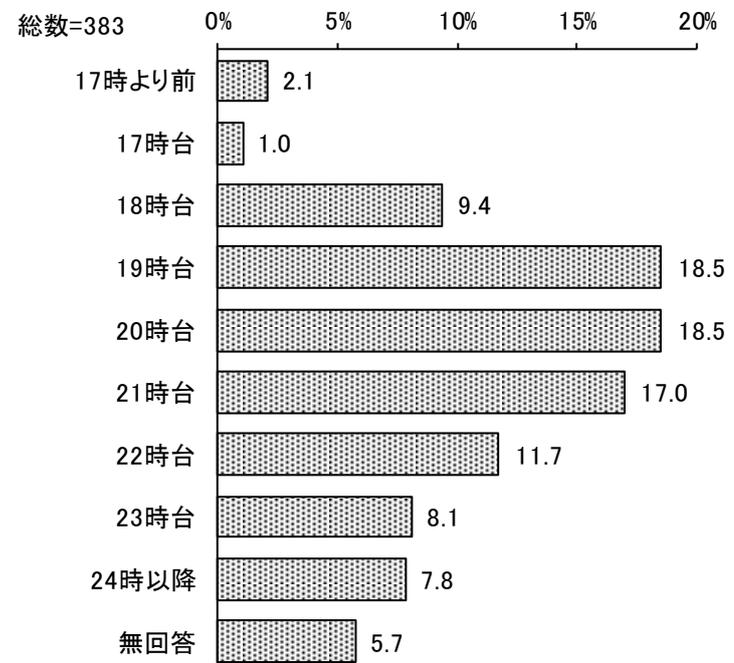
③-ア. 家を出る時刻

「7時台」が38.9%で最も多く、次いで「8時台」が30.0%、「6時台」が11.5%となっています。



③-イ. 帰宅時刻

「19時台」と「20時台」がそれぞれ18.5%で最も多く、次いで「21時台」が17.0%となっています。



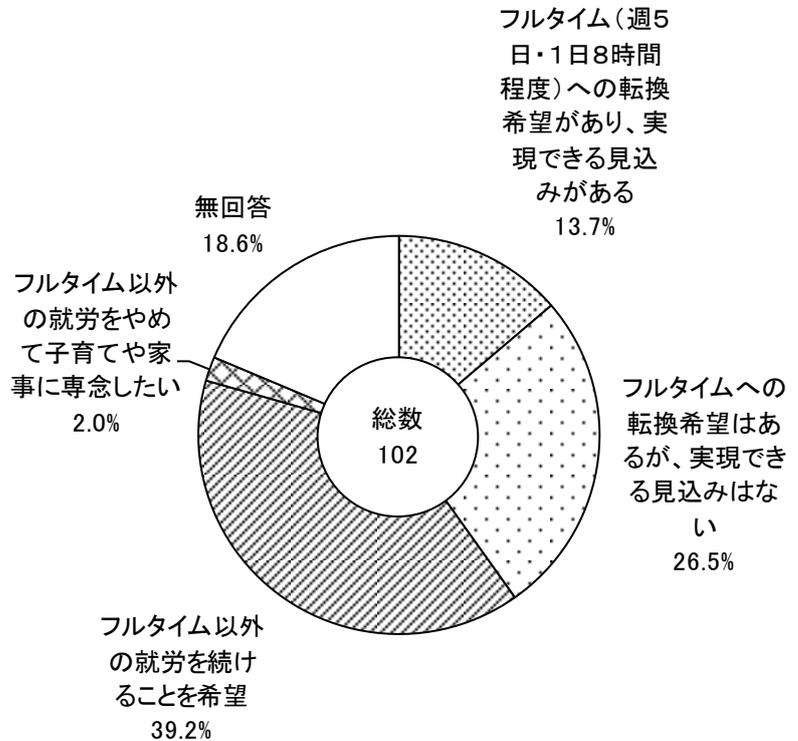
(2) フルタイムへの転換希望

問 14 問 13 の (1) または (2) で「3.4.」(フルタイム以外で就労している) に○をつけた方
 にかがいます。該当しない方は、問 15 へお進みください。

フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

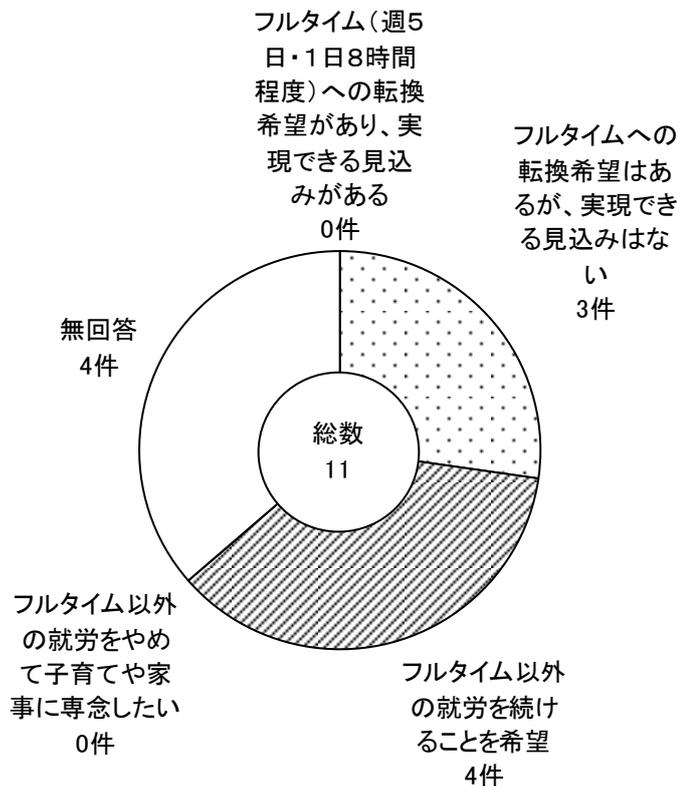
【母親】

「フルタイム以外の就労を続けることを希望」が 39.2%で最も多く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が 26.5%、「フルタイム(週5日・1日8時間程度)への転換希望があり、実現できる見込みがある」が 13.7%となっています。



【父親】

「フルタイム以外の就労を続けることを希望」が 4件で最も多く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が 3件となっています。



(3) 今後の就労希望

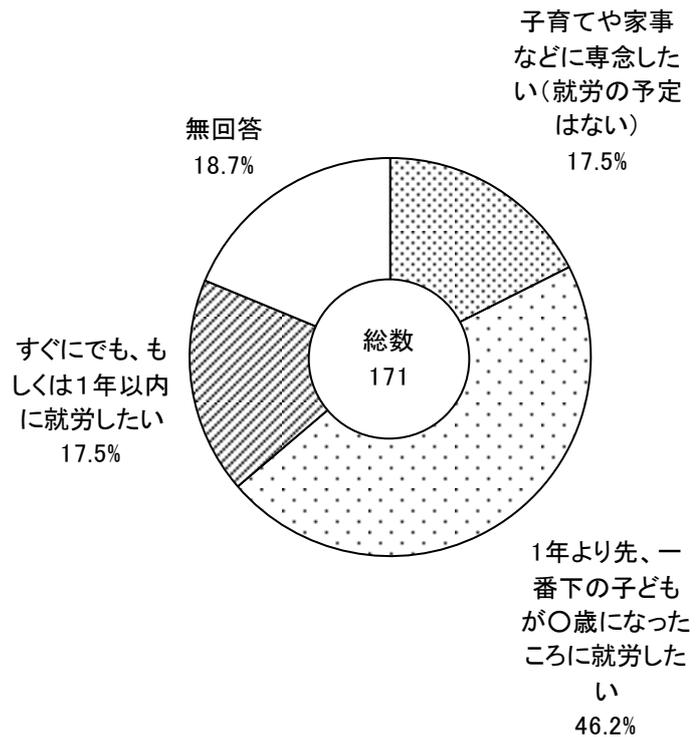
問 15 問 13 の (1) または (2) で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問 16 へお進みください。

就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する口内には数字をご記入ください。

【母親】

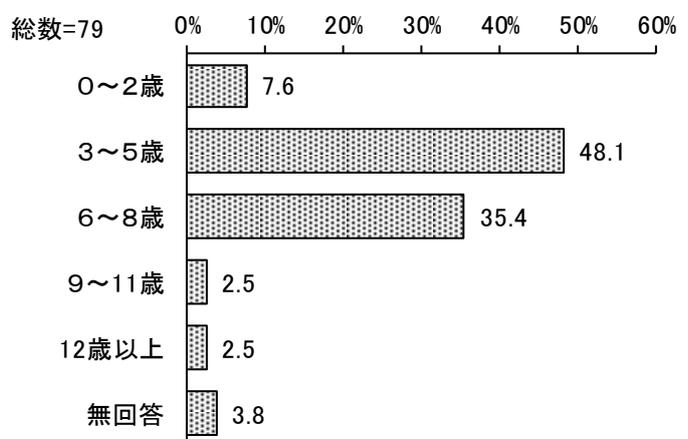
①今後の就労希望

「1年より先、一番下の子どもが○歳になったところに就労したい」が46.2%で最も多く、次いで「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」と「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」がそれぞれ17.5%となっています。



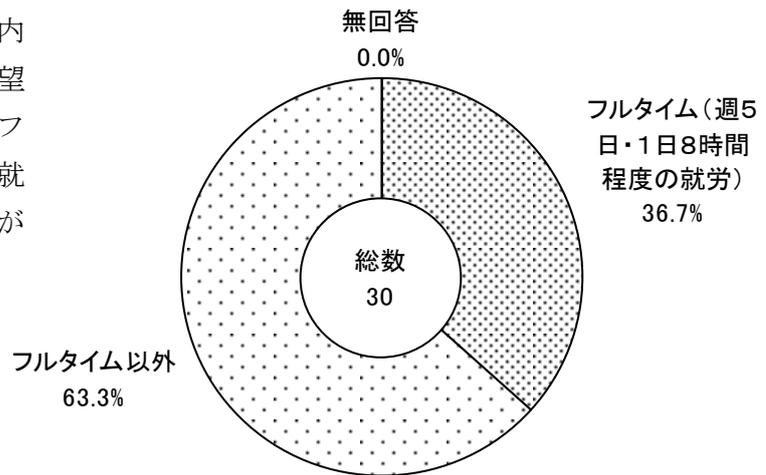
②就労しようと考えている一番下の子どもの年齢

①で「1年より先、一番下の子どもが○歳になったところに就労したい」に○をつけた方が回答した子どもの年齢は、「3～5歳」が48.1%で最も多く、次いで「6～8歳」が35.4%、「0～2歳」が7.6%となっています。



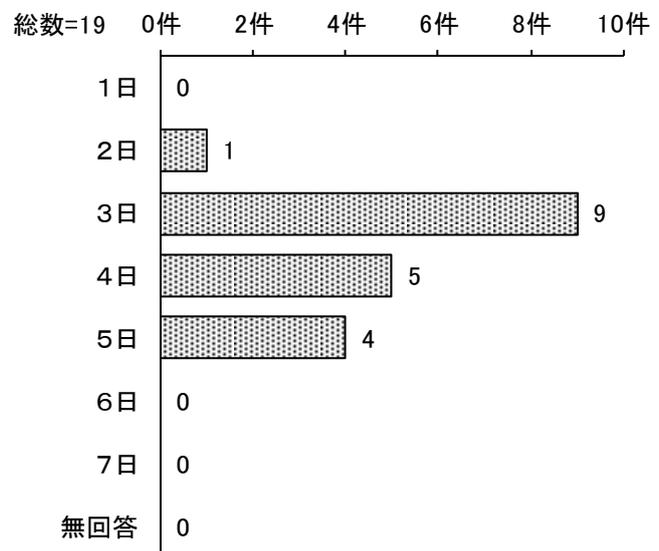
③希望する就労形態

①で「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」に○をつけた方に、希望する就労形態をうかがったところ、「フルタイム（週5日・1日8時間程度の就労）」が36.7%、「フルタイム以外」が63.3%となっています。



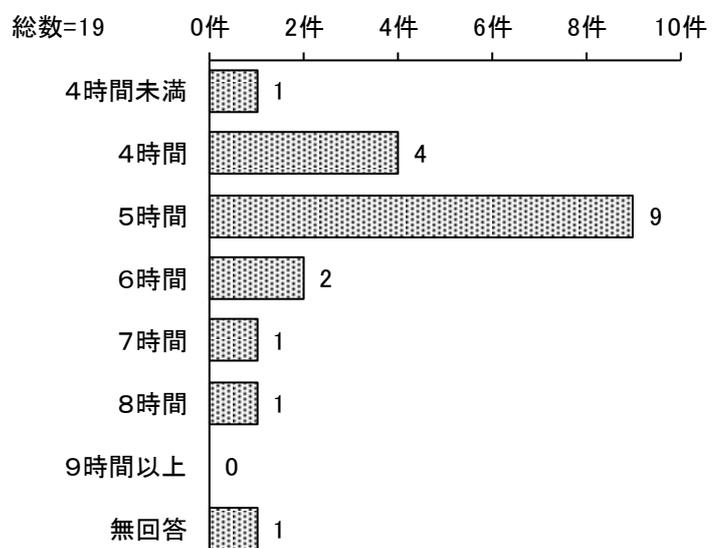
③ーア. フルタイム以外で希望する1週当たりの就労日数

③で「フルタイム以外」に○をつけた方に、希望する1週当たりの就労日数をうかがったところ、「3日」が9件で最も多く、次いで「4日」が5件、「5日」が4件となっています。



③ーイ. フルタイム以外で希望する1日当たりの就労時間

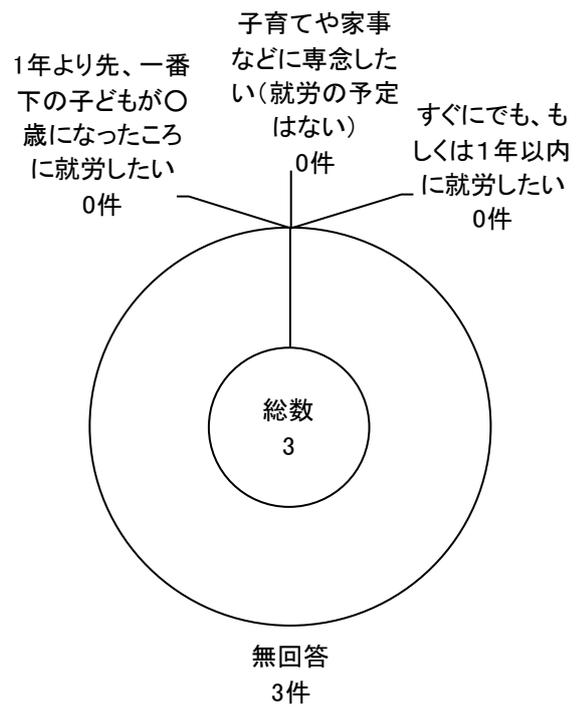
③で「フルタイム以外」に○をつけた方に、希望する1日当たりの就労時間をうかがったところ、「5時間」が9件で最も多く、次いで「4時間」が4件、「6時間」が2件となっています。



【父親】

①今後の就労希望

回答者がいませんでした（無回答 3件）。



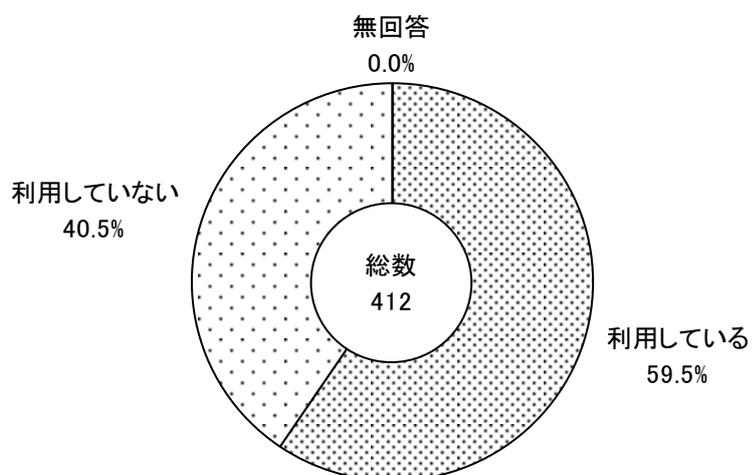
5 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

※ここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。
具体的には、幼稚園や保育所など、問 16-1 に示した事業が含まれます。

(1) 平日の定期的な事業の利用の有無

問 16 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

「利用している」は 59.5%、「利用していない」は 40.5%となっています。

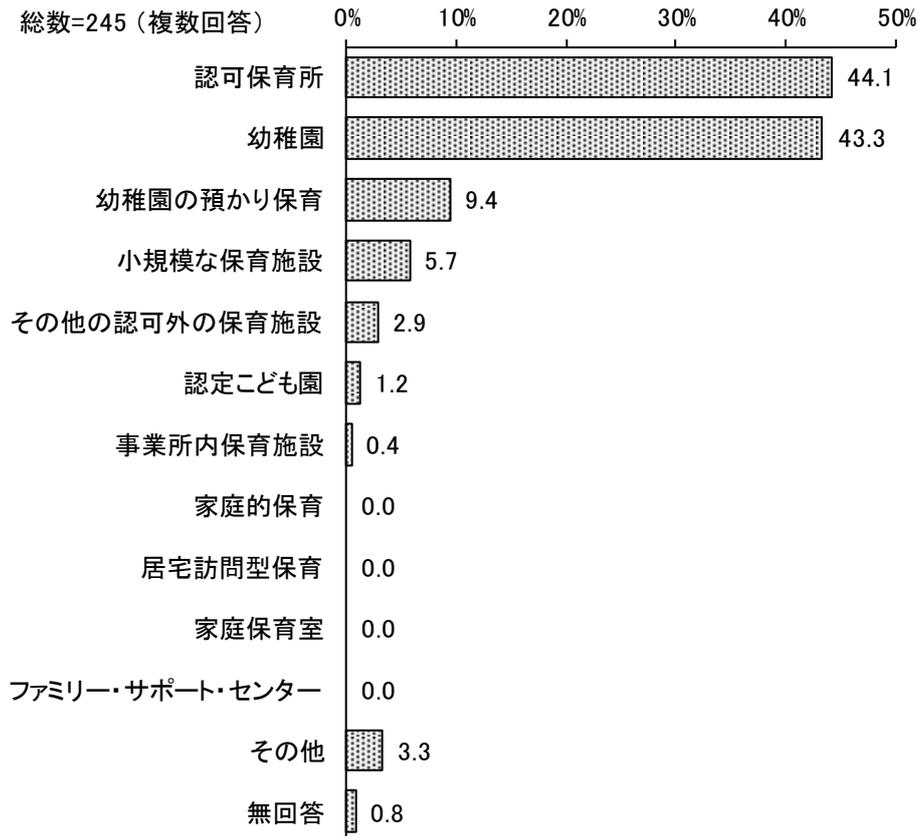


(2) 利用している事業

問 16-1 問 16-1～問 16-4 は、問 16 で「1. 利用している」に○をつけた方にかがいます。

宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「認可保育所」が 44.1%で最も多く、次いで「幼稚園」が 43.3%、「幼稚園の預かり保育」が 9.4%となっています。



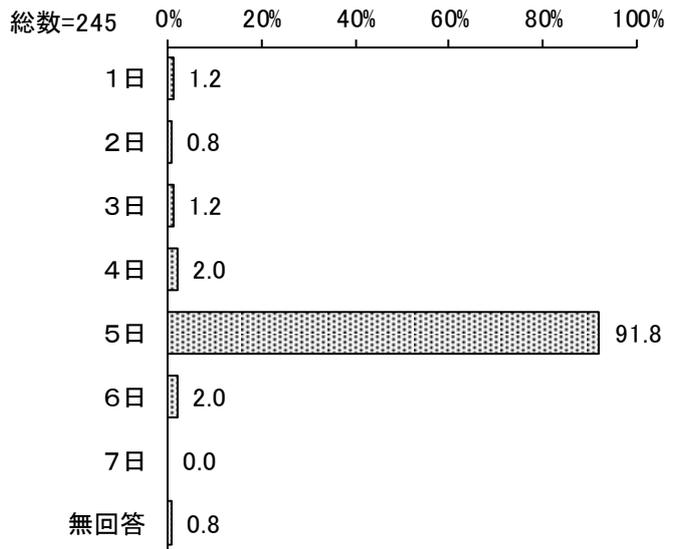
(3) 現在の利用状況、今後の利用希望

問 16-2 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。
 また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週当たり何日、1日当たり何時間（何時から何時まで）かを、口内に具体的な数字でご記入ください。時間は、(例) 09時～18時のように24時間制でご記入ください。

【現在】

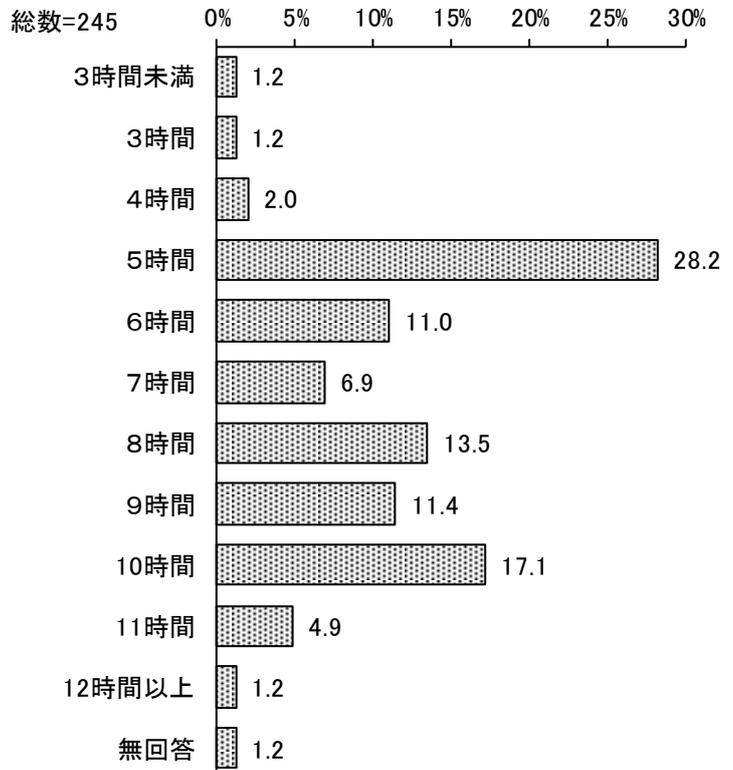
① 1週当たりの日数

「5日」が91.8%で最も多く、次いで「4日」と「6日」がそれぞれ2.0%となっています。



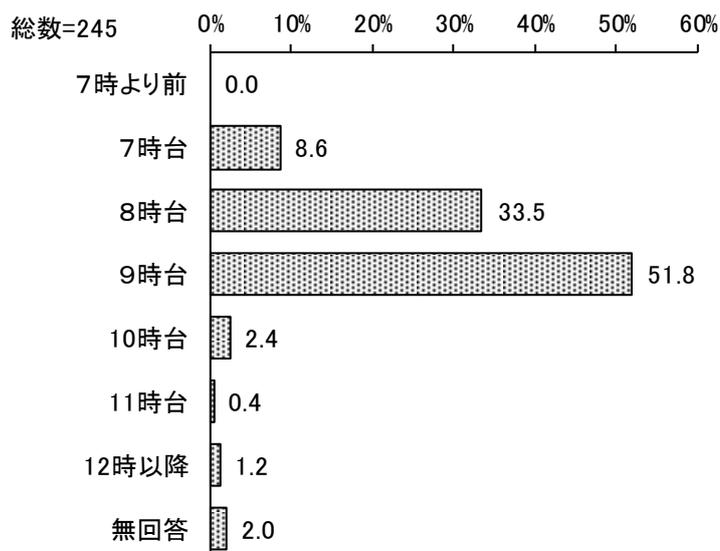
② 1日当たりの時間

「5時間」が28.2%で最も多く、次いで「10時間」が17.1%、「8時間」が13.5%となっています。



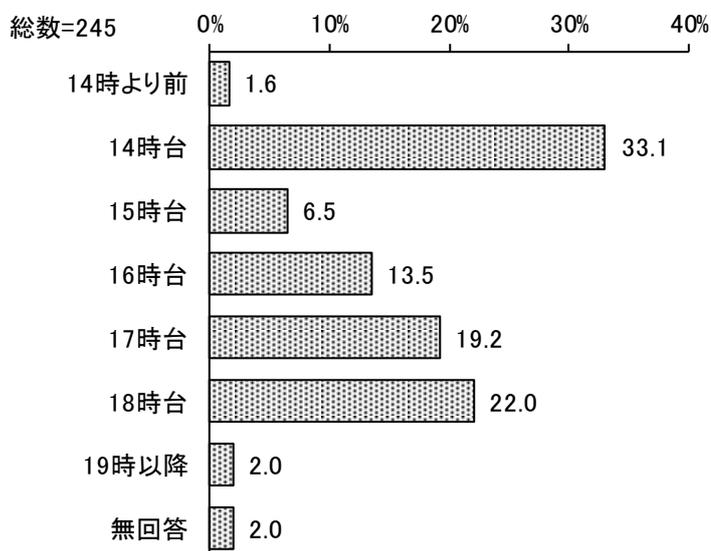
③開始時間

「9時台」が51.8%で最も多く、「8時台」が33.5%、「7時台」が8.6%となっています。



④終了時間

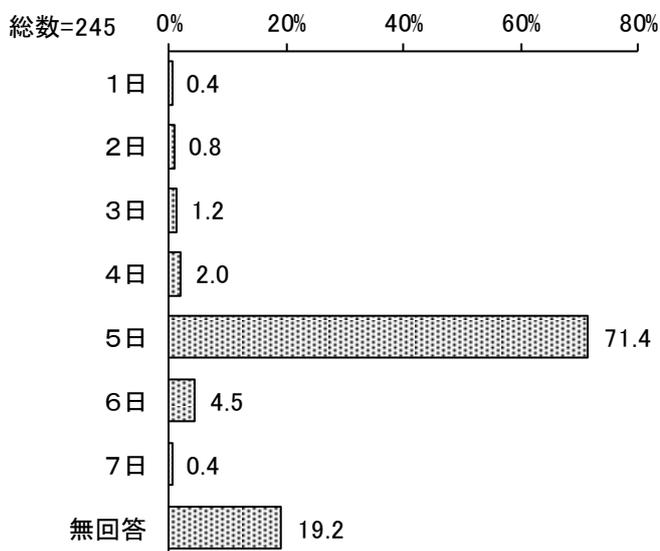
「14時台」が33.1%で最も多く、次いで「18時台」が22.0%、「17時台」が19.2%となっています。



【希望】

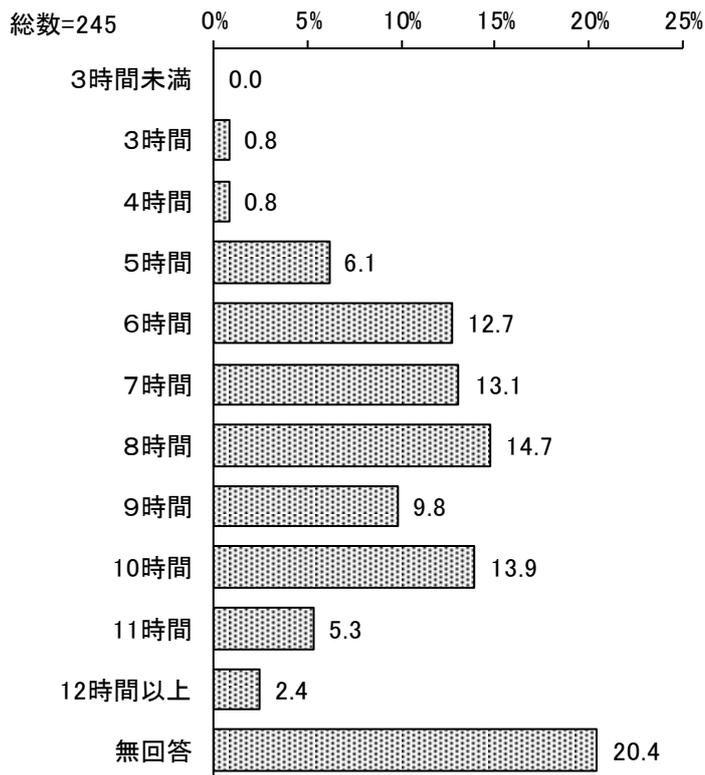
①1週当たりの日数

「5日」が71.4%で最も多く、次いで「6日」が4.5%、「4日」が2.0%となっています。



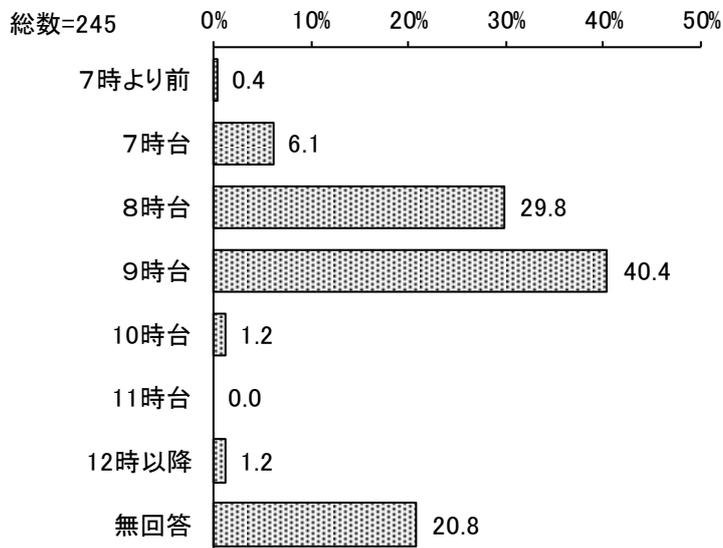
② 1日当たりの時間

「8時間」が14.7%で最も多く、次いで「10時間」が13.9%、「7時間」が13.1%となっています。



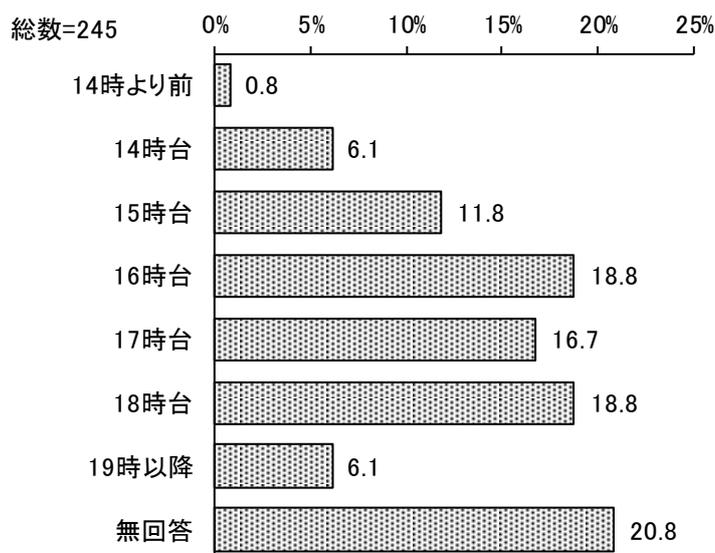
③ 開始時間

「9時台」が40.4%で最も多く、次いで「8時台」が29.8%、「7時台」が6.1%となっています。



④終了時間

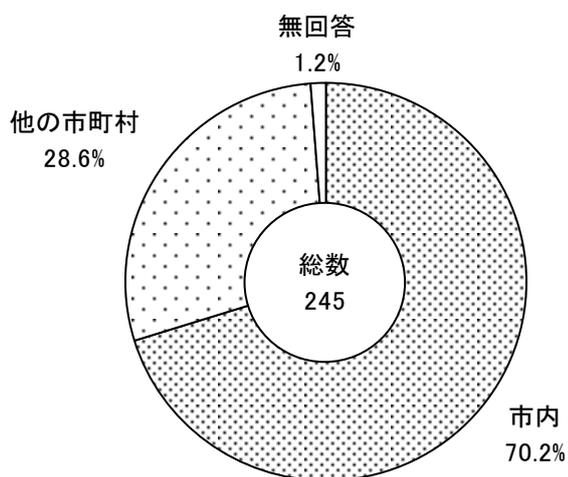
「16時台」と「18時台」がそれぞれ18.8%で最も多く、次いで「17時台」が16.7%となっています。



(4) 利用している事業の実施場所

問 16-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所について、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。「2. 他の市町村」を選んだ場合は、実施場所の市町村名を記入してください。

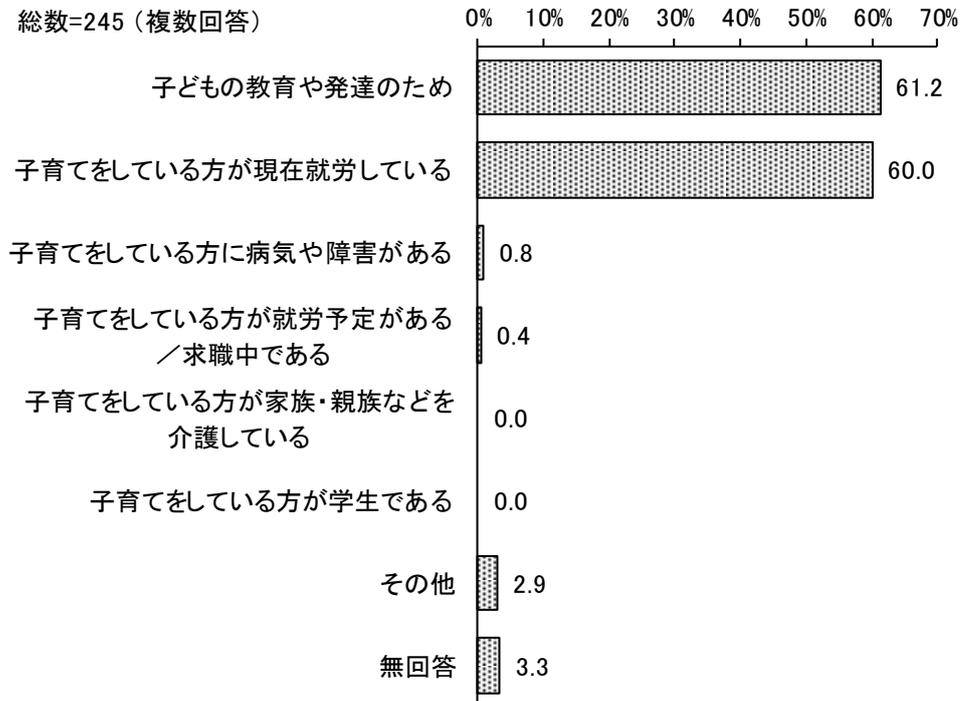
「市内」が 70.2%、「他の市町村」が 28.6%となっています。



(5) 利用している理由

問 16-4 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由についてうかがいます。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「子どもの教育や発達のため」が61.2%で最も多く、次いで「子育てをしている方が現在就労している」が60.0%となっています。

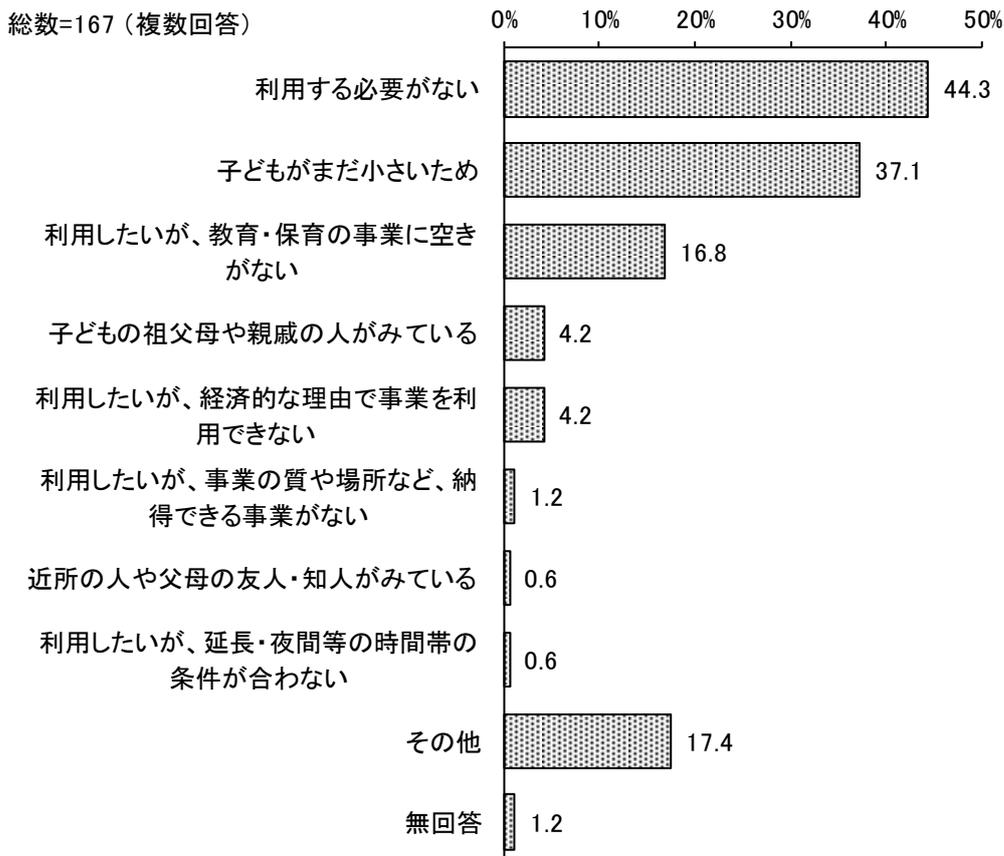


(6) 利用していない理由

問 16-5 問 16 で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。利用していない理由は何ですか。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

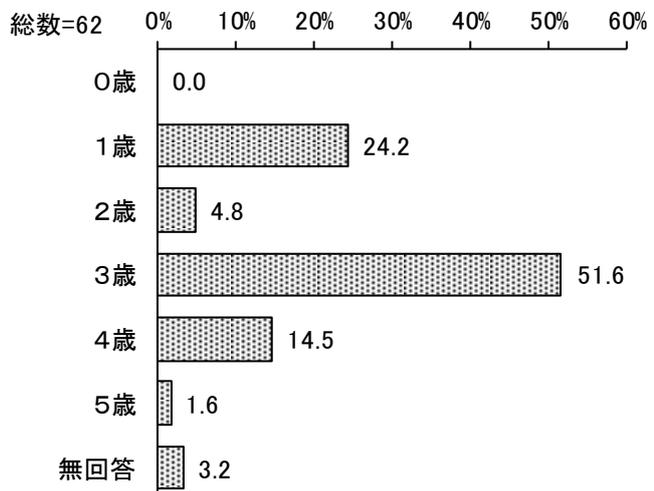
①利用していない理由

「利用する必要がない（子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないため等）」が 44.3%で最も多く、次いで「子どもがまだ小さいため（0歳くらいになったら利用しようと考えている）」が 37.1%、「利用したいが、教育・保育の事業に空きがない」が 16.8%となっています。



②利用しようと考えている子どもの年齢

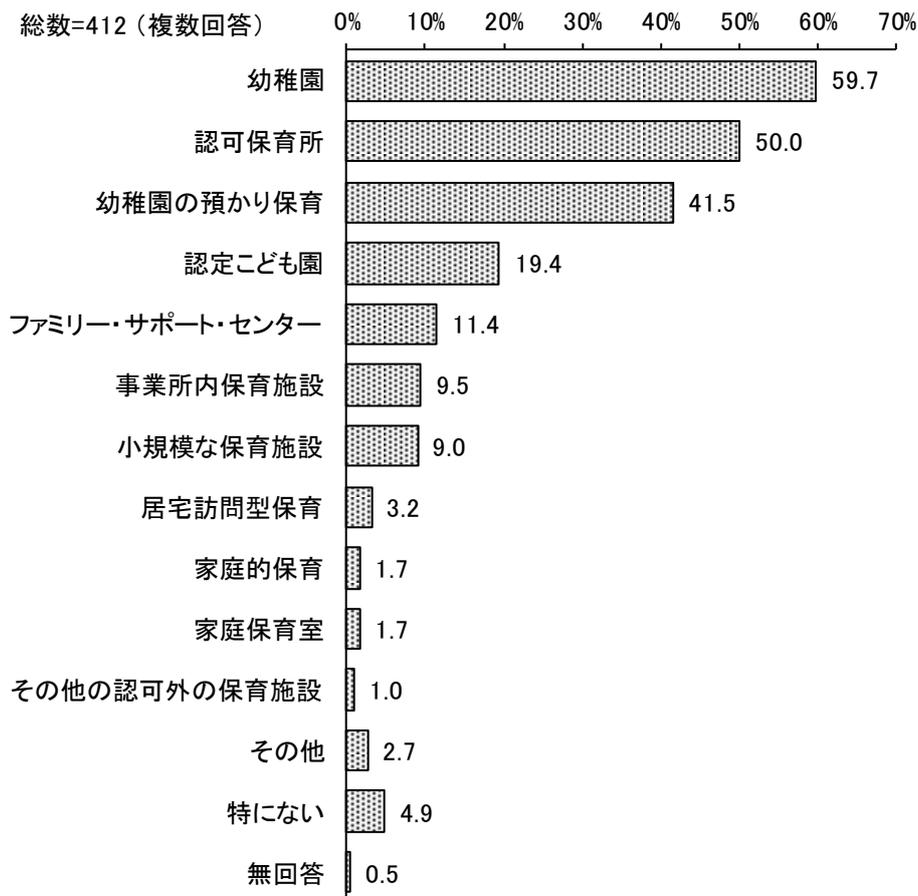
①で「子どもがまだ小さいため」に○をつけた方が回答した子どもの年齢は、「3歳」が 51.6%で最も多く、次いで「1歳」が 24.2%、「4歳」が 14.5%となっています。



(7) 平日に定期的に利用したい事業

問 17 すべての方にかがいます。現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

「幼稚園」が 59.7%で最も多く、次いで「認可保育所」が 50.0%、「幼稚園の預かり保育」が 41.5%となっています。

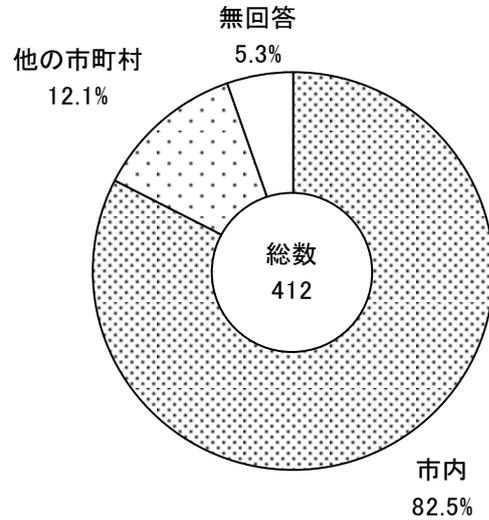


(8) 利用したい場所

問 17-1 教育・保育事業を利用したい場所について、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

「2. 他の市町村」を選んだ場合は、実施場所の市町村名を記入してください。(問 17 で「13.」に○をつけた方は、問 18 にお進みください。)

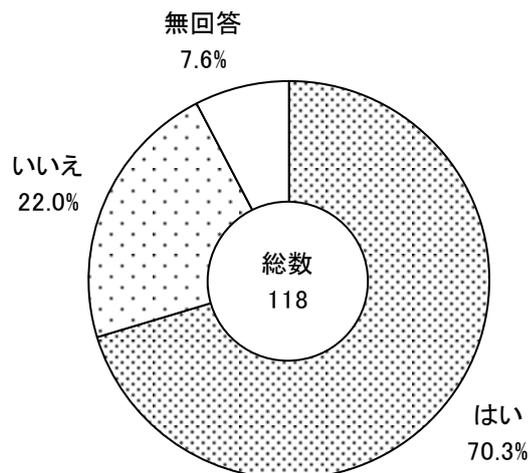
「市内」が 82.5%、「他の市町村」が 12.1%となっています。



(9) 幼稚園への強い利用希望の有無

問 17-2 問 17 で「1. 幼稚園 (通常の就園時間の利用)」または「2. 幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ「3.」～「12.」にも○をつけた方にうかがいます。特に幼稚園 (幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む) の利用を強く希望しますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

「はい」が 70.3%、「いいえ」が 22.0%となっています。



(10) 幼児教育・保育無償化後の定期的な事業の利用希望

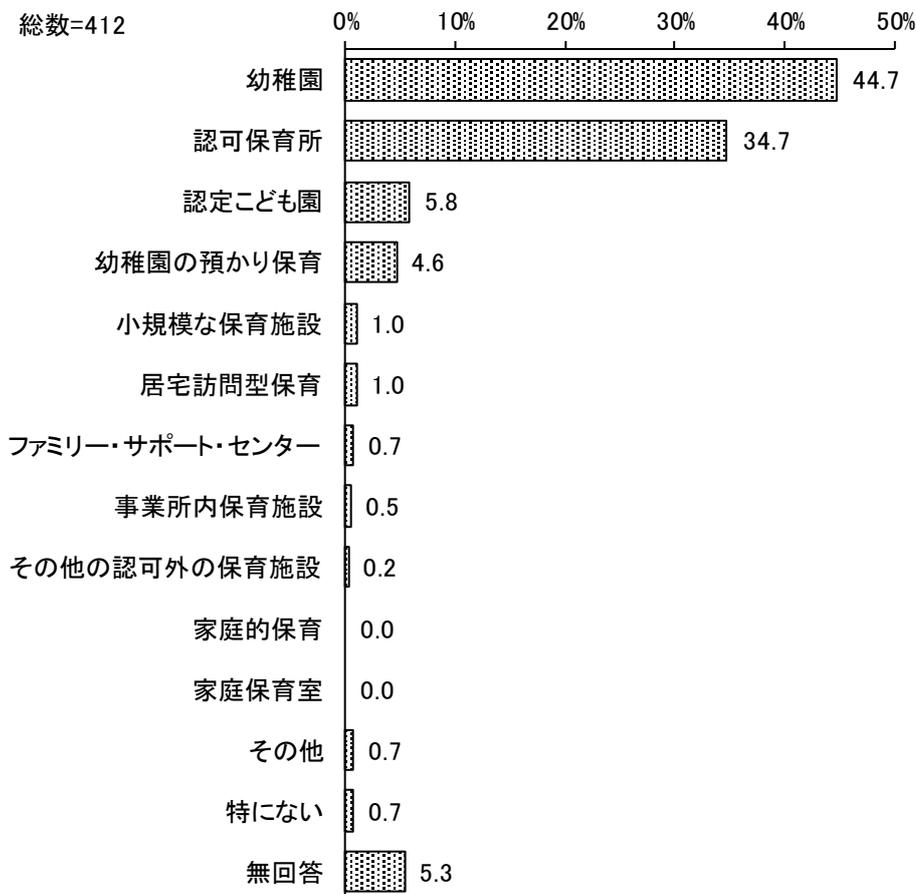
問 18 **すべての方にうかがいます。**政府は、平成 31 年（2019 年）10 月から、幼児教育・保育を無償化する方針を示しました。

【概要】

| | |
|-------------------------|---|
| 3～5歳のお子さん | <ul style="list-style-type: none"> ・認可保育所、認定こども園の費用を無償化 ・幼稚園の費用は月 2.57 万円まで無償化 ・幼稚園の一時預かりは月 1.13 万円まで無償化 ・認可外、ベビーシッター、事業所内保育等は月 3.7 万円まで無償化 |
| 0～2歳のお子さん (住民税非課税世帯) | <ul style="list-style-type: none"> ・認可保育所、認定こども園等の費用を無償化 ・認可外、ベビーシッター、事業所内保育等は月 4.2 万円まで無償化 |

幼児教育・保育の無償化が上記のとおり実施される場合、あなたが最も「定期的に利用したい」と考える教育・保育事業はどれですか。下の枠内に、問 17 の「1.」～「13.」の番号を1つご記入ください。

「幼稚園」が 44.7%で最も多く、次いで「認可保育所」が 34.7%、「認定こども園」が 5.8%となっています。



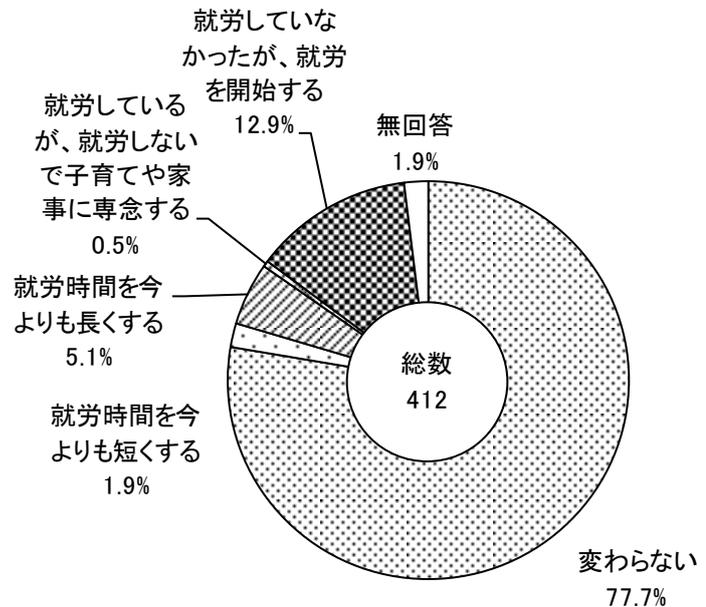
(11) 幼児教育・保育無償化後の就労状況の変化

問 18-1 幼児教育・保育の無償化が実施された場合、現在の就労状況は変わりますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

【母親】

(1) 母親 【父子家庭の場合は記入は不要です】

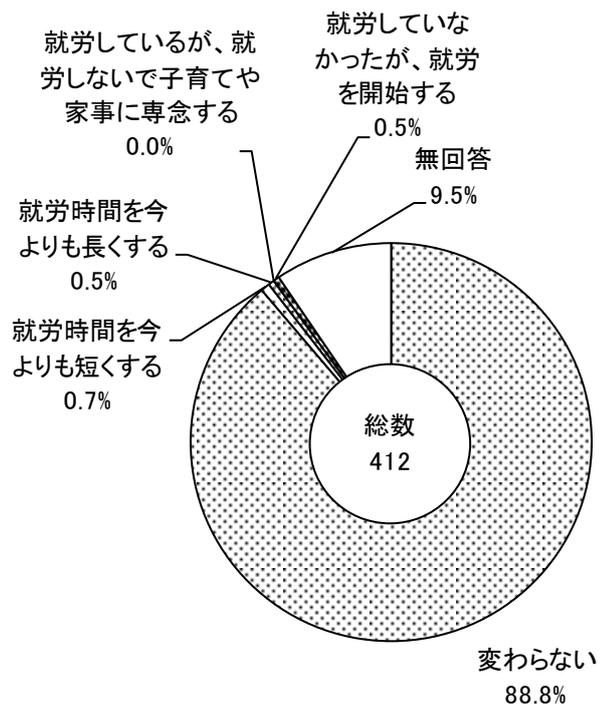
「変わらない」が 77.7%で最も多く、次いで「就労していなかったが、就労を開始する」が 12.9%、「就労時間を今よりも長くする」が 5.1%となっています。



【父親】

(2) 父親 【母子家庭の場合は記入は不要です】

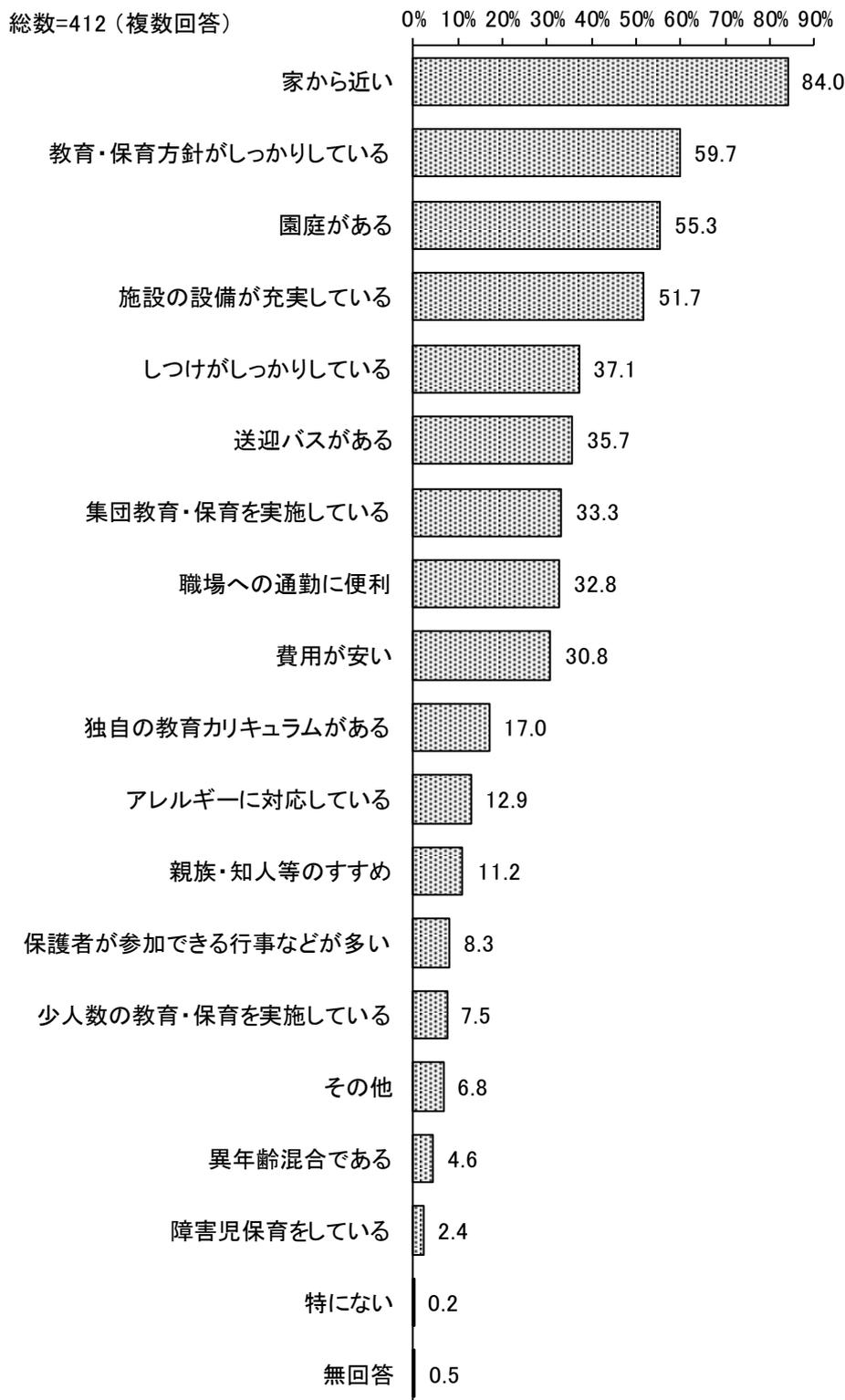
「変わらない」が 88.8%で最も多くなっています。



(12) 幼児教育・保育無償化後の事業所を選ぶ際に重視すること

問 18-2 問 18 で希望する教育・保育の事業所を選ぶ際に、どのようなことを重視しますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「家から近い」が 84.0%で最も多く、次いで「教育・保育方針がしっかりしている」が 59.7%、「園庭がある」が 55.3%となっています。



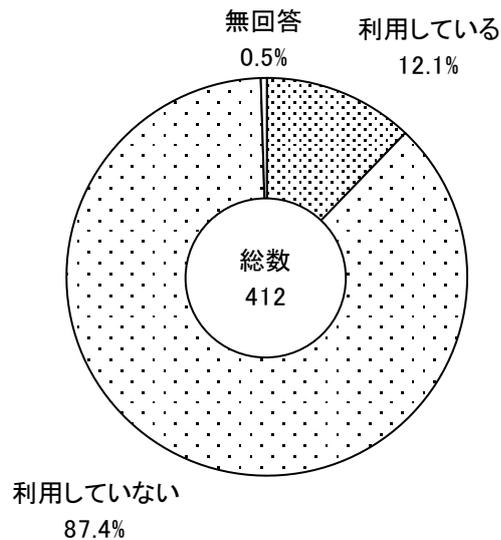
6 地域の子育て支援事業の利用状況について

(1) 地域子育て支援拠点事業の利用状況

問 19 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、蕨市では、地域子育て支援センターとして、「こっこびよ」、「プチプチ」、「バンビー」があります）を利用していますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。利用している場合は、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください。

①利用状況

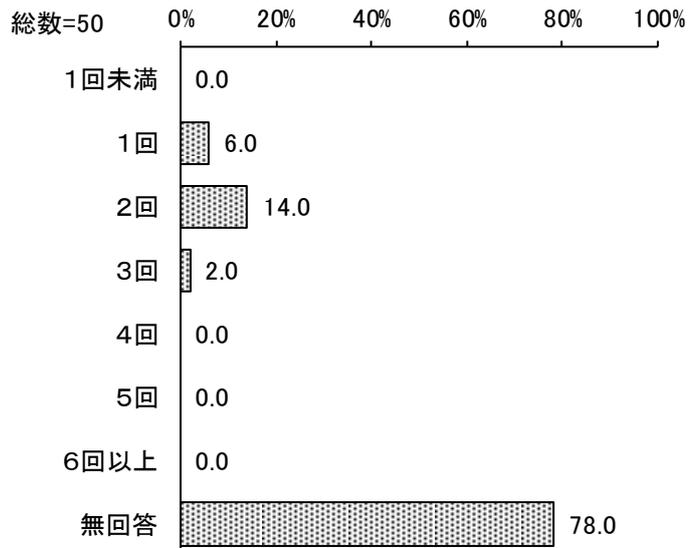
「利用している」が 12.1%、「利用していない」が 87.4%となっています。



② 1週当たりもしくは1ヶ月当たりの利用回数

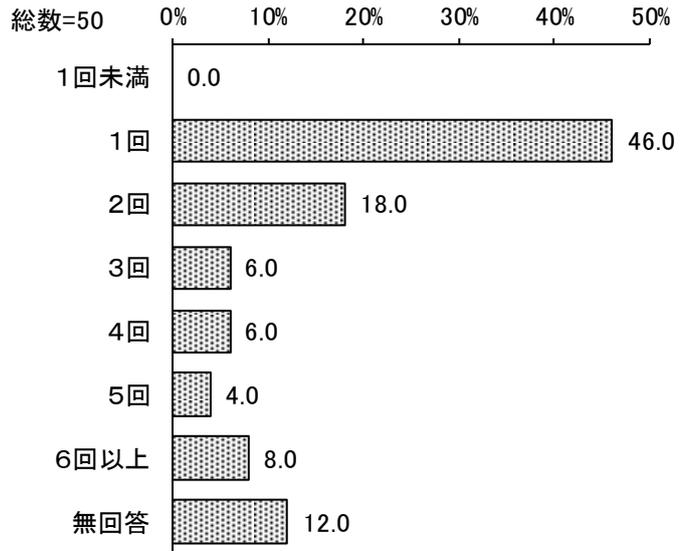
ア. 1週当たりの利用回数

①で「利用している」に○をつけた方が回答した利用回数は、「2回」が 14.0%で最も多く、次いで「1回」が 6.0%、「3回」が 2.0%となっています。



イ. 1ヶ月当たりの利用回数

①で「利用している」に○をつけた方が回答した利用回数は、「1回」が46.0%で最も多く、次いで「2回」が18.0%、「6回以上」が8.0%となっています。

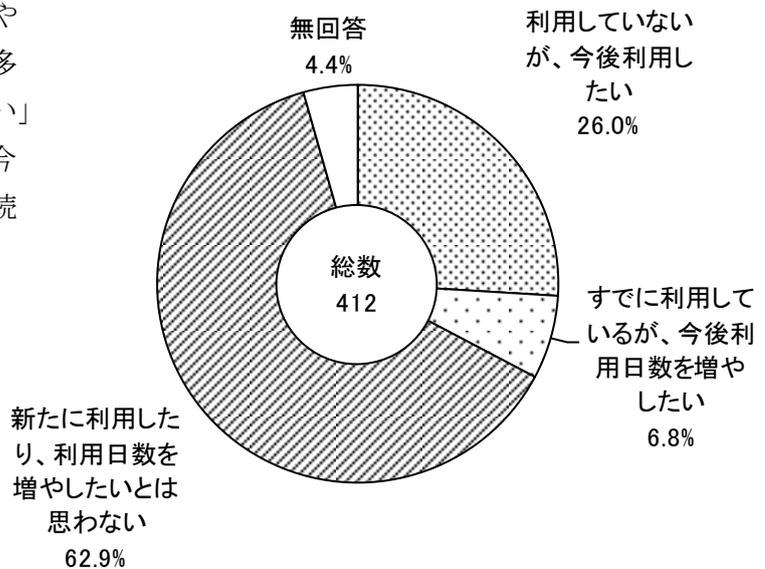


(2) 地域子育て支援拠点事業の利用意向

問 20 地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。当てはまる番号 1 つに○をつけて、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください。

①利用意向

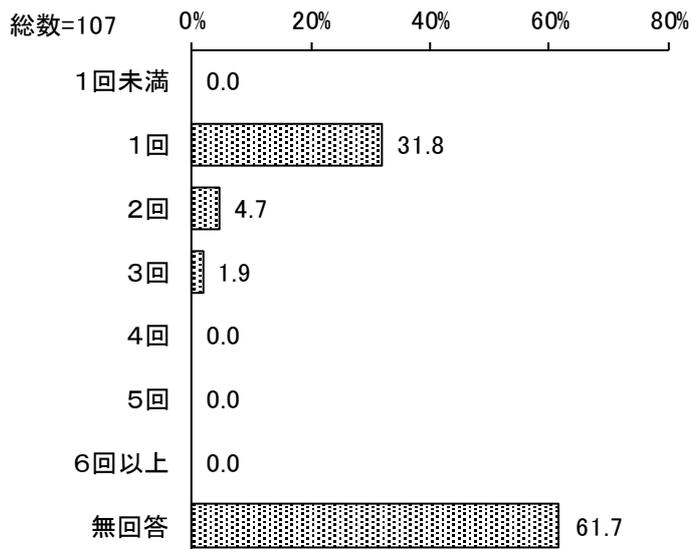
「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が62.9%で最も多く、「利用していないが、今後利用したい」が26.0%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」が6.8%で続きます。



②「利用していないが、今後利用したい」の1週当たりもしくは1ヶ月当たりの利用回数

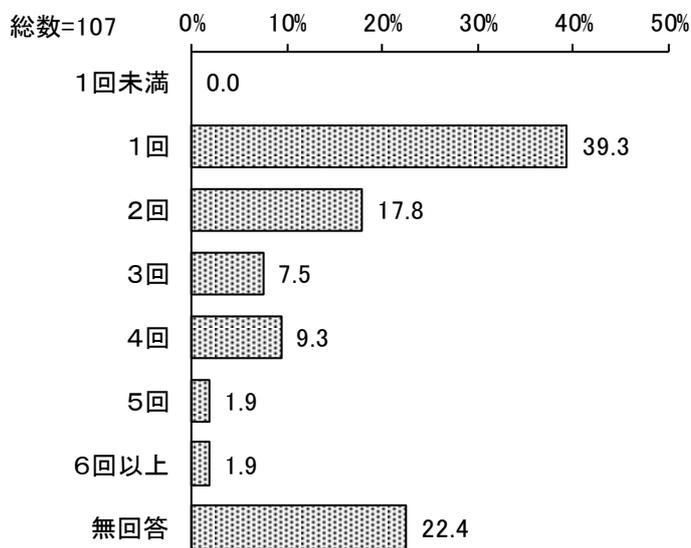
ア. 1週当たりの利用回数

①で「利用していないが、今後利用したい」に○をつけた方が回答した利用回数は、「1回」が31.8%で最も多く、次いで「2回」が4.7%、「3回」が1.9%となっています。



イ. 1ヶ月当たりの利用回数

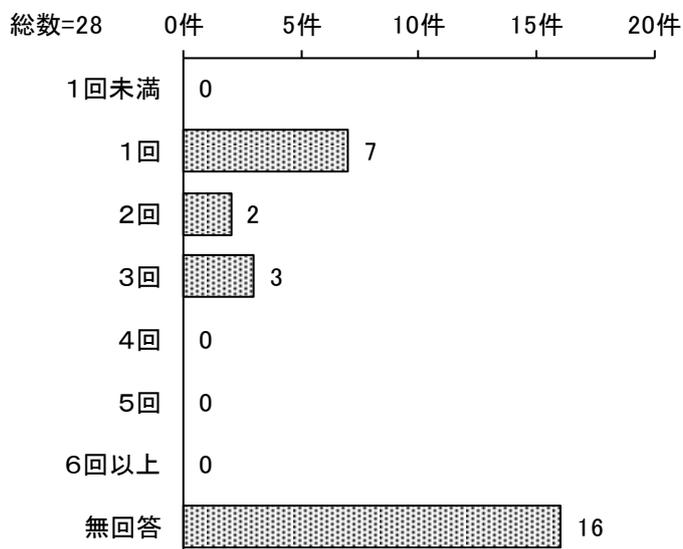
①で「利用していないが、今後利用したい」に○をつけた方が回答した利用回数は、「1回」が39.3%で最も多く、次いで「2回」が17.8%、「4回」が9.3%となっています。



③「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」の1週当たりもしくは1ヶ月当たりの利用回数

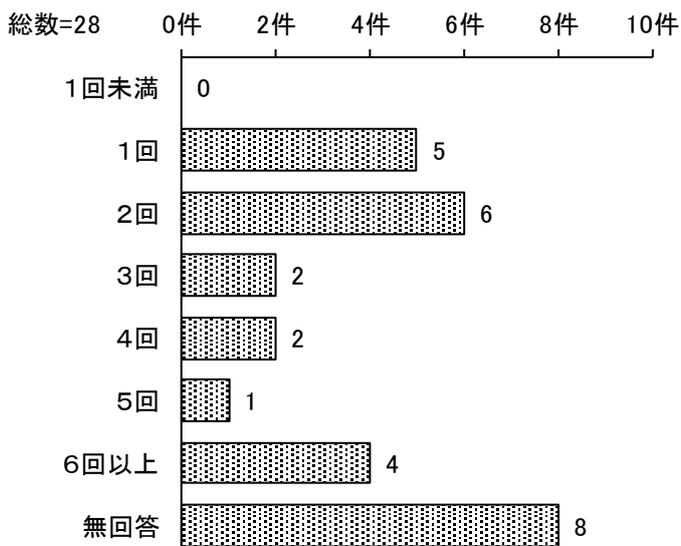
ア. 1週当たりの利用回数

①で「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」に○をつけた方が回答した更に利用したい回数は、「1回」が7件で最も多く、次いで「3回」が3件、「2回」が2件となっています。



イ. 1ヶ月当たりの利用回数

①で「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」に○をつけた方が回答した更に利用したい回数は、「2回」が6件で最も多く、次いで「1回」が5件、「6回以上」が4件となっています。



(3) 子育て支援事業の認知度・利用状況・利用意向

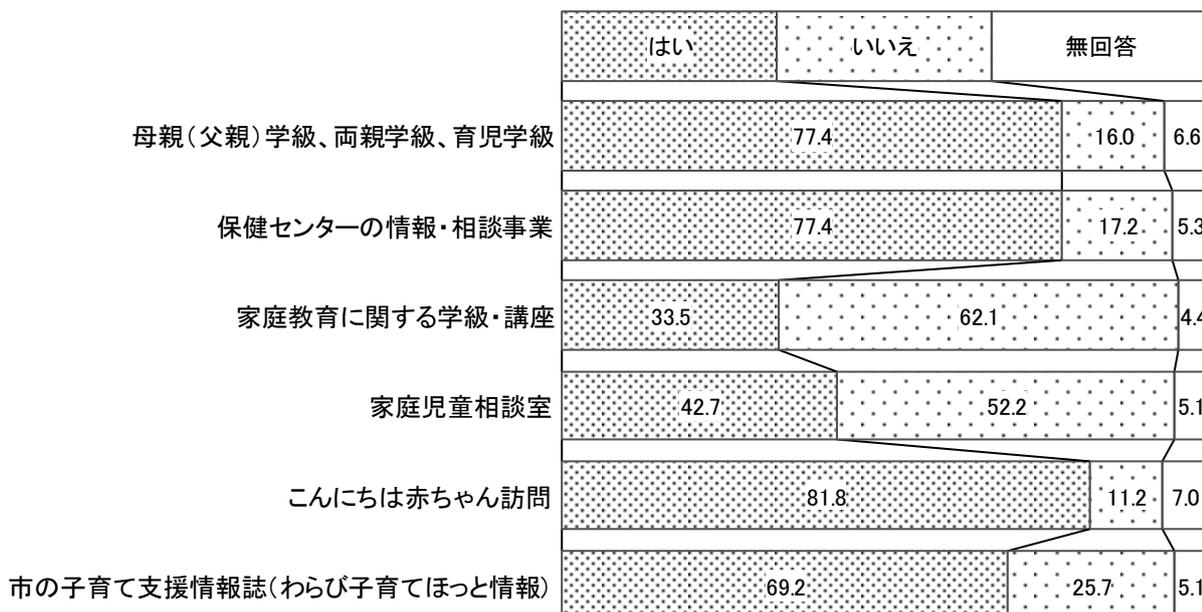
問21 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑥の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。なお、事業によっては、お住まいの地域で実施されていないものもあります。

A. 認知度

「知っている」という回答は、「こんにちは赤ちゃん訪問」が81.8%で最も多く、次いで「母親（父親）学級、両親学級、育児学級」と「保健センターの情報・相談事業」がそれぞれ77.4%となっています。

総数=412

単位:%

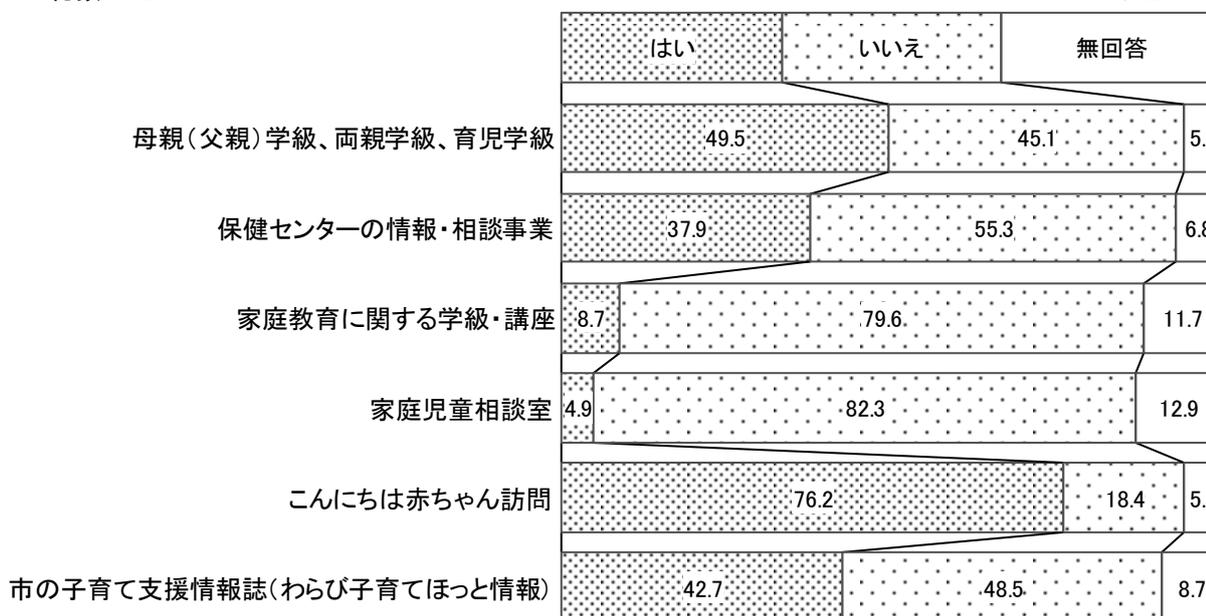


B. 利用状況

「これまでに利用したことがある」という回答は、「こんにちは赤ちゃん訪問」が76.2%で最も多く、次いで「母親（父親）学級、両親学級、育児学級」が49.5%、「市の子育て支援情報誌（わらび子育てほっと情報）」が42.7%となっています。

総数=412

単位: %

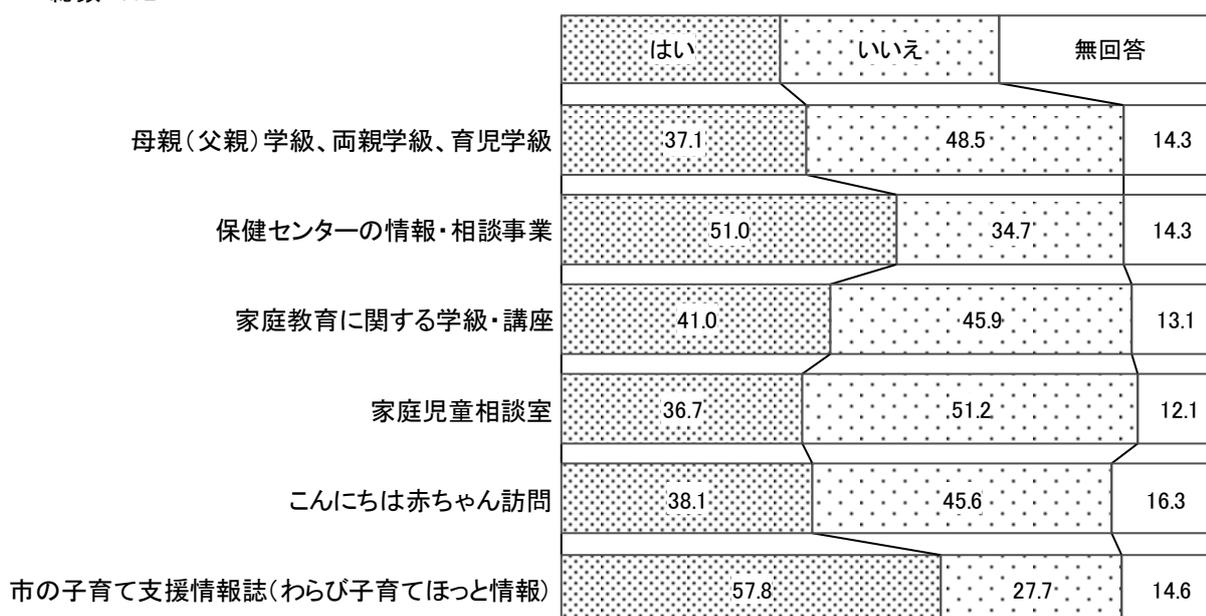


C. 利用意向

「今後利用したい」という回答は、「市の子育て支援情報誌（わらび子育てほっと情報）」が57.8%で最も多く、次いで「保健センターの情報・相談事業」が51.0%、「家庭教育に関する学級・講座」が41.0%となっています。

総数=412

単位: %



7 土曜・休日や長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望について

(1) 土曜日と日曜日・祝日の利用希望

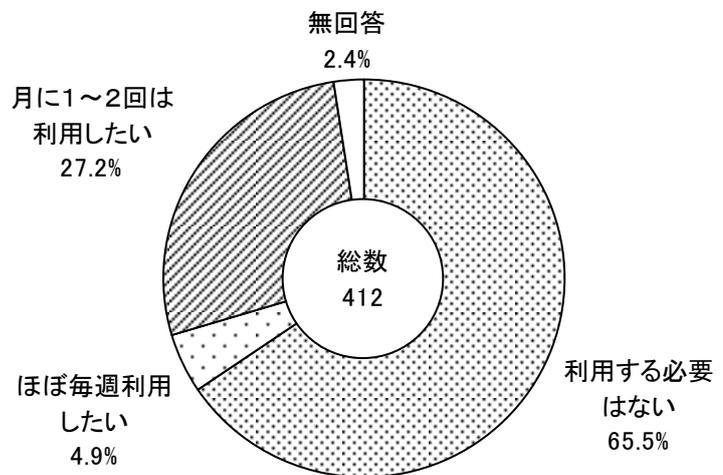
問 22 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例) 09時～18時のように24時間制でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。

※教育・保育事業とは、幼稚園、保育所、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

【土曜日】

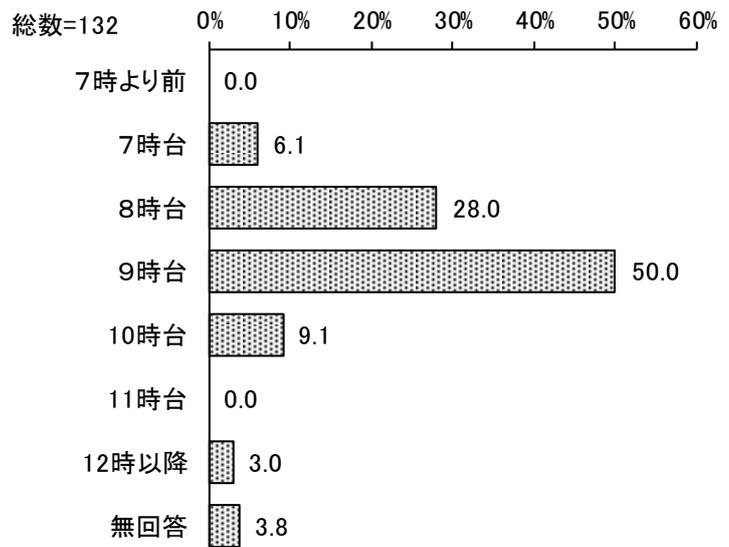
①利用希望

「利用する必要はない」が65.5%で最も多く、次いで「月に1～2回は利用したい」が27.2%、「ほぼ毎週利用したい」が4.9%となっています。



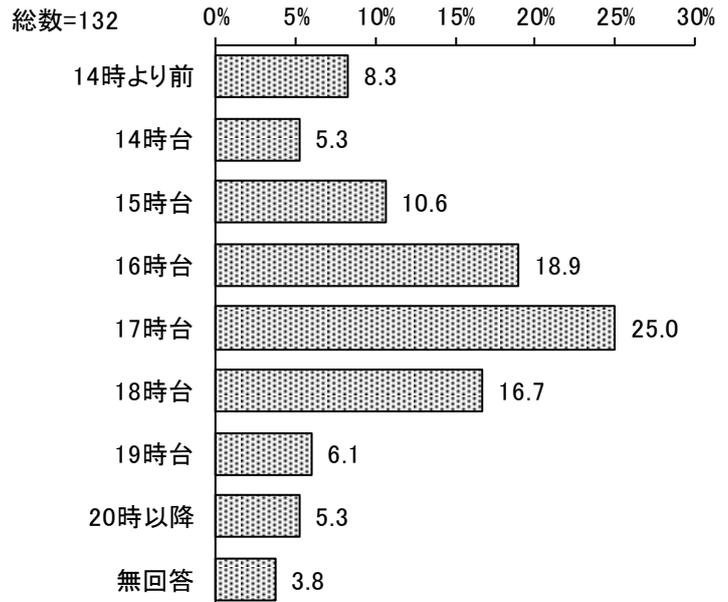
②利用したい時間帯（開始時間）

「利用したい」と回答した方の希望する開始時間は、「9時台」が50.0%で最も多く、次いで「8時台」が28.0%、「10時台」が9.1%となっています。



③利用したい時間帯（終了時間）

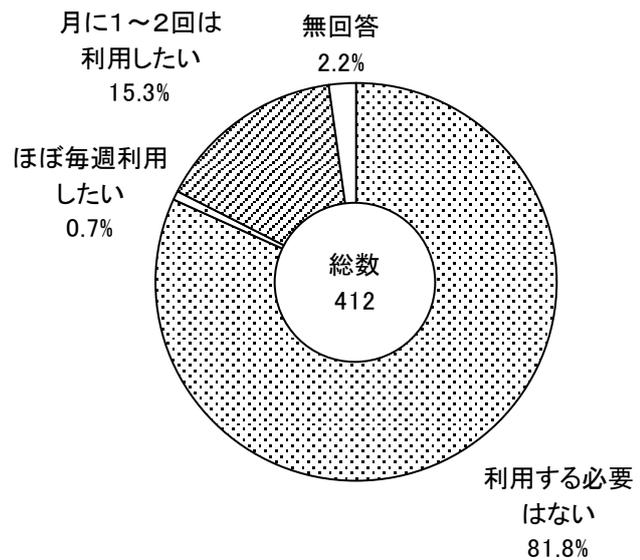
「利用したい」と回答した方の希望する終了時間は、「17時台」が25.0%で最も多く、次いで「16時台」が18.9%、「18時台」が16.7%となっています。



【日曜日・祝日】

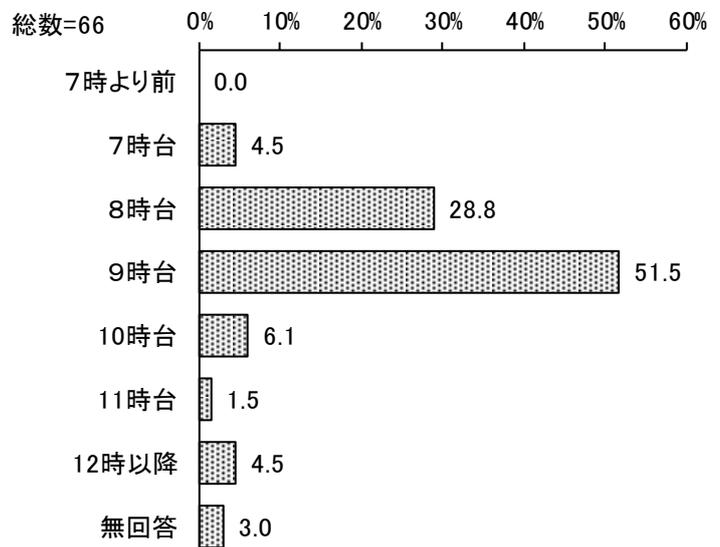
①利用希望

「利用する必要はない」が81.8%で最も多く、次いで「月に1～2回は利用したい」が15.3%、「ほぼ毎週利用したい」が0.7%となっています。



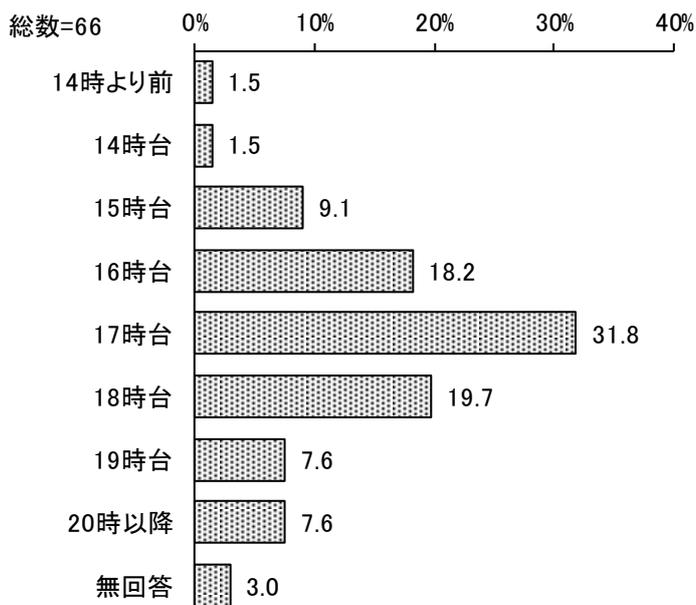
②利用したい時間帯（開始時間）

「利用したい」と回答した方の希望する開始時間は、「9時台」が51.5%で最も多く、次いで「8時台」が28.8%、「10時台」が6.1%となっています。



③利用したい時間帯（終了時間）

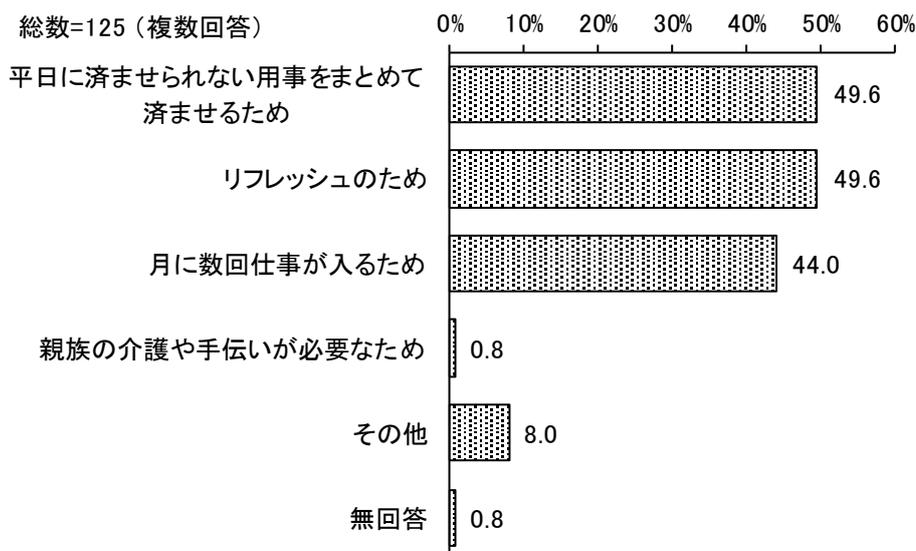
「利用したい」と回答した方の希望する終了時間は、「17 時台」が 31.8%で最も多く、次いで「18 時台」が 19.7%、「16 時台」が 18.2%となっています。



(2) 土曜日と日曜日・祝日にたまに利用したい理由

問 22-1 問 22 の (1) もしくは (2) で、「3. 月に 1～2 回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」と「リフレッシュのため」がそれぞれ 49.6%で最も多く、次いで「月に数回仕事が入るため」が 44.0%となっています。

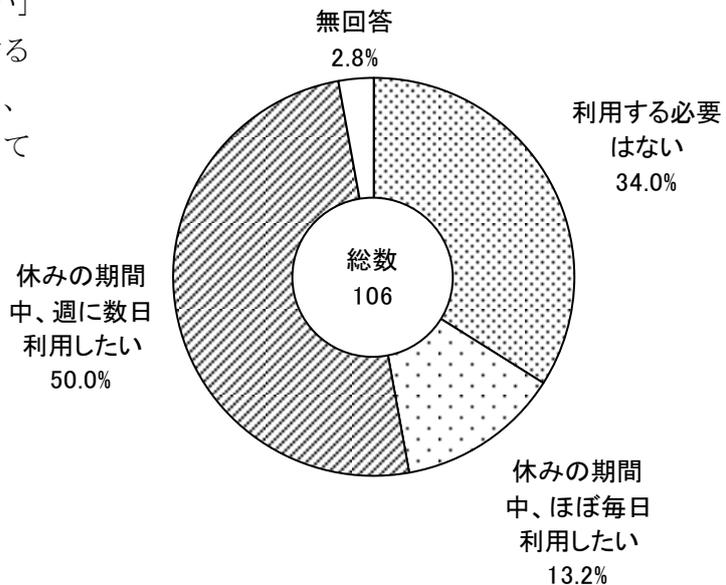


(3) 幼稚園の利用者の長期休暇中の利用希望

問 23 「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例)09時～18時のように24時間制でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。

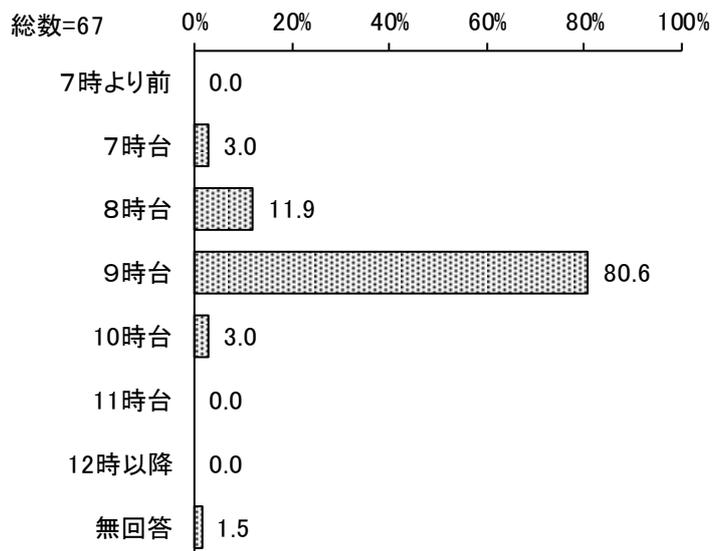
①利用希望

「休みの期間中、週に数日利用したい」が50.0%で最も多く、次いで「利用する必要はない」が34.0%、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が13.2%となっています。



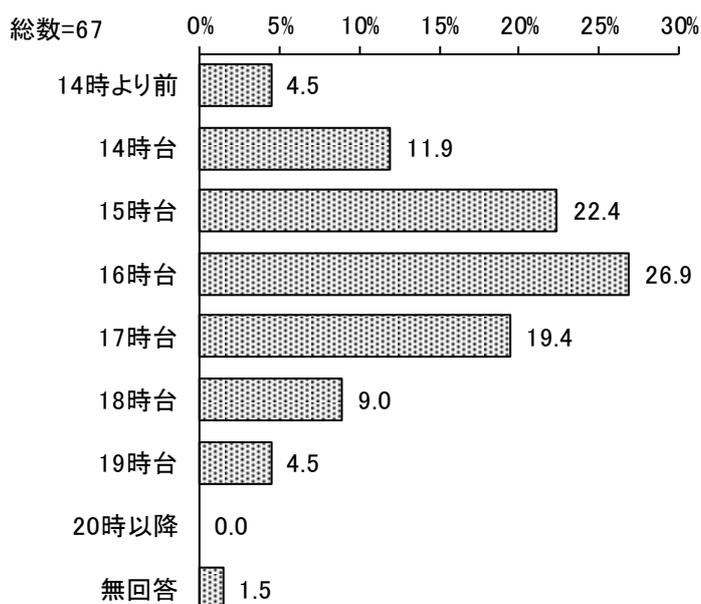
②利用したい時間帯（開始時間）

「利用したい」と回答した方の希望する開始時間は、「9時台」が80.6%で最も多く、次いで「8時台」が11.9%、「7時台」と「10時台」がそれぞれ3.0%となっています。



③利用したい時間帯（終了時間）

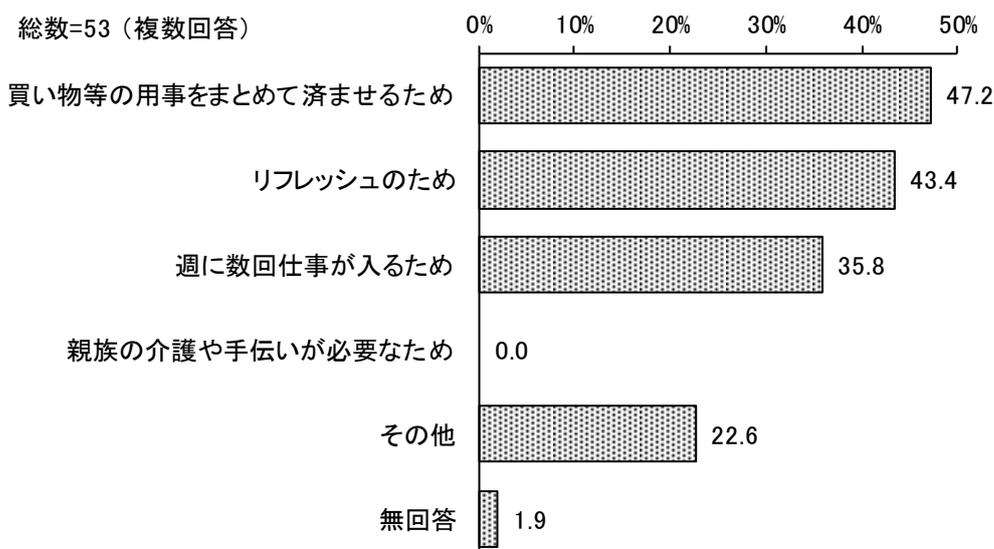
「利用したい」と回答した方の希望する終了時間は、「16時台」が26.9%で最も多く、次いで「15時台」が22.4%、「17時台」が19.4%となっています。



（4）長期休暇中にたまに利用したい理由

問 23-1 問 23 で、「3. 休みの期間中、週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「買い物等の用事をまとめて済ませるため」が47.2%で最も多く、次いで「リフレッシュのため」が43.4%、「週に数回仕事が入るため」が35.8%となっています。



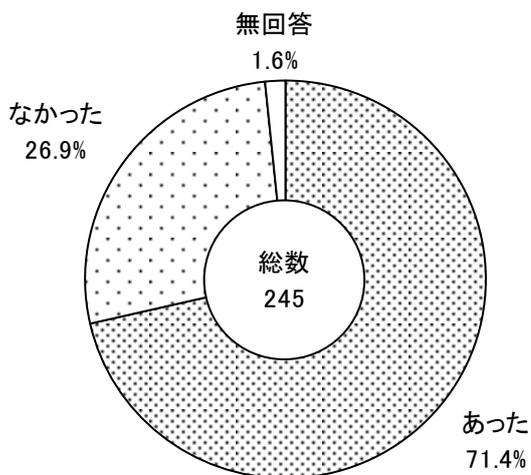
8 子どもの病気の際の対応について

(1) 病気やケガで事業を利用できなかったことの有無

問 24 平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた保護者の方（問 16 で 1 に○をつけた方）にうかがいます。利用していらっしゃらない方は、問 25 にお進みください。

この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。

「あった」が 71.4%、「なかった」が 26.9%となっています。

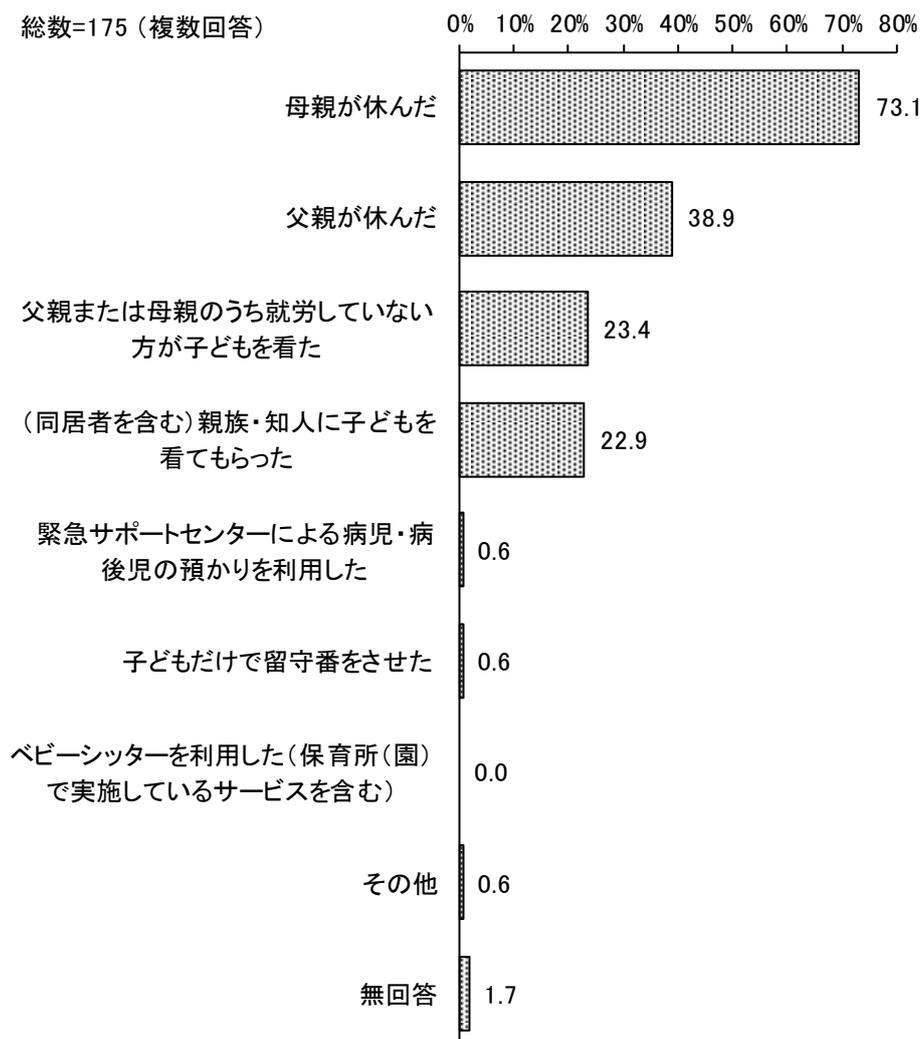


(2) 利用できなかったときの対処方法

問 24-1 宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください）。

①対処方法

「母親が休んだ」が73.1%で最も多く、次いで「父親が休んだ」が38.9%、「父親または母親のうち就労していない方が子どもを見た」が23.4%となっています。



②対処方法別の日数

「父親が休んだ」では「2日」が22.1%で最も多く、次いで「3日」が19.1%、「1日」が16.2%となっています。

「母親が休んだ」では「3日」が18.0%で最も多く、次いで「5日」と「10日」がそれぞれ14.8%となっています。

「(同居者を含む) 親族・知人に子どもを看てもらった」では「2日」が27.5%で最も多く、次いで「5日」が20.0%、「3日」が15.0%となっています。

「父親または母親のうち就労していない方が子どもを看た」では「10日」が24.4%で最も多く、次いで「5日」が17.1%、「11～15日」が14.6%となっています。

| | 全体 | 1日 | 2日 | 3日 | 4日 | 5日 | 6日 | 7日 | 8日 | 9日 |
|------------------------------|--------------|------------|------------|------------|----------|------------|----------|-----------|------------|----------|
| 父親が休んだ | 68 100.0 | 11 16.2 | 15 22.1 | 13 19.1 | 5 7.4 | 11 16.2 | - | 2 2.9 | - | - |
| 母親が休んだ | 128 100.0 | 5 3.9 | 16 12.5 | 23 18.0 | 4 3.1 | 19 14.8 | 4 3.1 | 8 6.3 | 4 3.1 | - |
| (同居者を含む) 親族・知人に子どもを看てもらった | 40 100.0 | 4 10.0 | 11 27.5 | 6 15.0 | 2 5.0 | 8 20.0 | - | 1 2.5 | - | - |
| 父親または母親のうち就労していない方が子どもを看た | 41 100.0 | - | 2 4.9 | 3 7.3 | - | 7 17.1 | - | 5 12.2 | 1 2.4 | 1 2.4 |
| 父親または母親のうち就労していない方が子どもを看た | - | * | * | * | * | * | * | * | * | * |
| 緊急サポートセンターによる病児・病後児の預かりを利用した | 1 100.0 | - | 1 100.0 | - | - | - | - | - | - | - |
| 子どもだけで留守番をさせた | 1 100.0 | - | 1 100.0 | - | - | - | - | - | - | - |
| その他 | 1 100.0 | - | - | - | - | - | - | - | 1 100.0 | - |

| | 10日 | 11～15日 | 16～20日 | 21日以上 | 無回答 |
|------------------------------|------------|-----------|----------|----------|----------|
| 父親が休んだ | 7 10.3 | 1 1.5 | 2 2.9 | 1 1.5 | - |
| 母親が休んだ | 19 14.8 | 8 6.3 | 8 6.3 | 5 3.9 | 5 3.9 |
| (同居者を含む) 親族・知人に子どもを看てもらった | 5 12.5 | 1 2.5 | - | 1 2.5 | 1 2.5 |
| 父親または母親のうち就労していない方が子どもを看た | 10 24.4 | 6 14.6 | 3 7.3 | 1 2.4 | 2 4.9 |
| 父親または母親のうち就労していない方が子どもを看た | - | * | * | * | * |
| 緊急サポートセンターによる病児・病後児の預かりを利用した | - | - | - | - | - |
| 子どもだけで留守番をさせた | - | - | - | - | - |
| その他 | - | - | - | - | - |

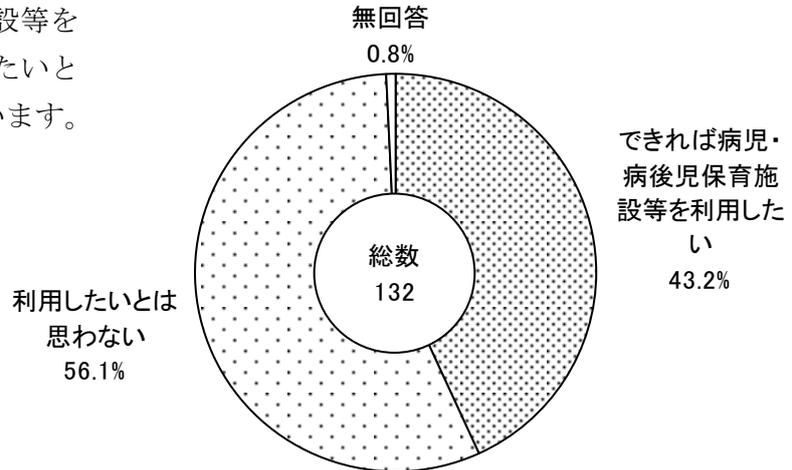
(3) 病児・病後児のための保育施設等の利用希望

問 24-1 で「ア.」「イ.」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問 24-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。
 当てはまる番号 1 つに ○ をつけ、日数についても口内に 数字 でご記入ください。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかります。

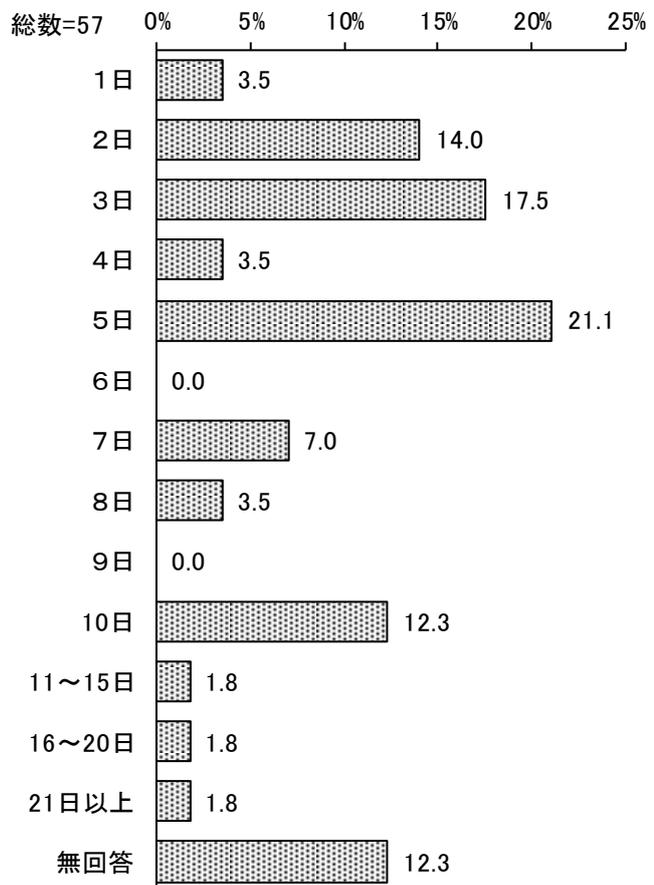
①利用希望

「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が 43.2%、「利用したいとは思わない」は 56.1%となっています。



②利用希望日数

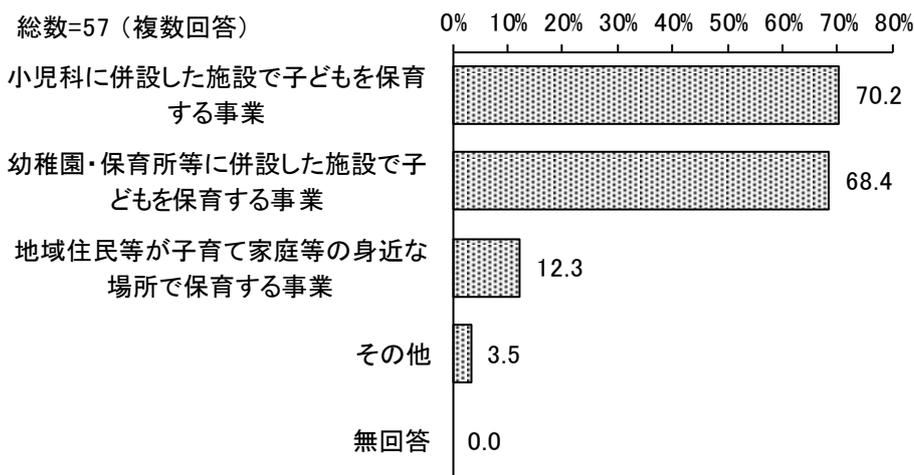
利用したいと思われた方の利用希望に数は、「5日」が 21.1%で最も多く、次いで「3日」が 17.5%、「2日」が 14.0%となっています。



(4) 病児・病後児保育施設等の望ましい事業形態

問 24-3 問 24-2 で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

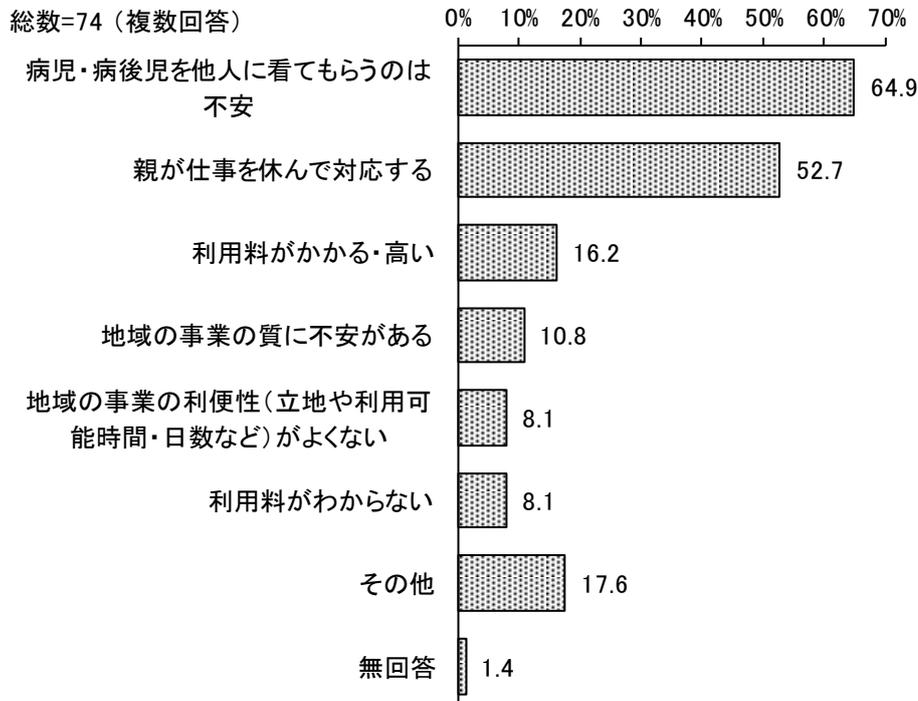
「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が 70.2%で最も多く、次いで「幼稚園・保育所等に併設した施設で子どもを保育する事業」が 68.4%、「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業（例：緊急サポートセンター等）」が 12.3%となっています。



(5) 病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない理由

問 24-4 問 24-2 で「2. 利用したいと思わない」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」が 64.9%で最も多く、次いで「親が仕事を休んで対応する」が 52.7%、「利用料がかかる・高い」が 16.2%となっています。



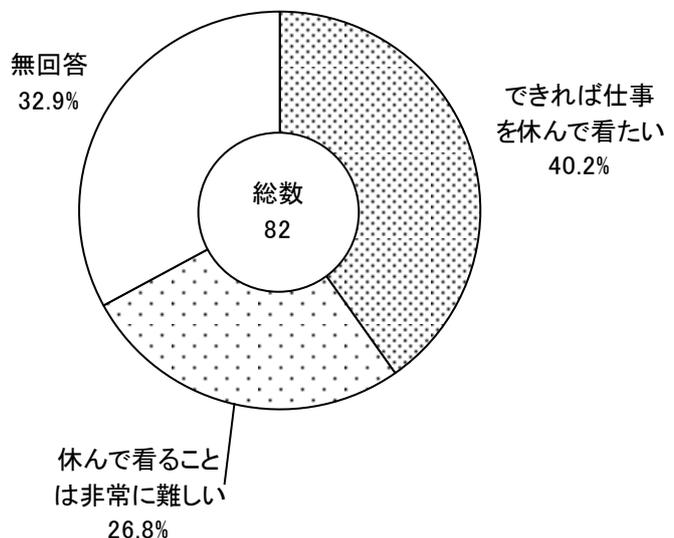
(6) 看護のための休暇取得に対する意向

問 24-1 で「ウ。」から「ク。」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問 24-5 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけ、「ウ。」から「ク。」の日数のうち仕事を休んで見たかった日数についても数字でご記入ください。

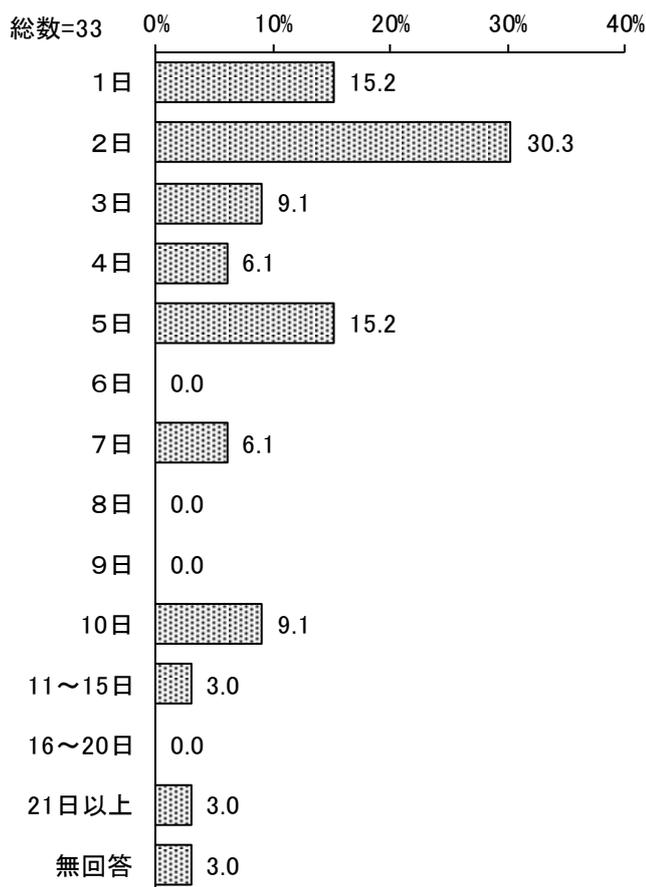
①看病のための休暇取得に対する意向

「できれば仕事を休んで看たい」は 40.2%、「休んで看することは非常に難しい」は 26.8%となっています。



②仕事を休んで見たかった日数

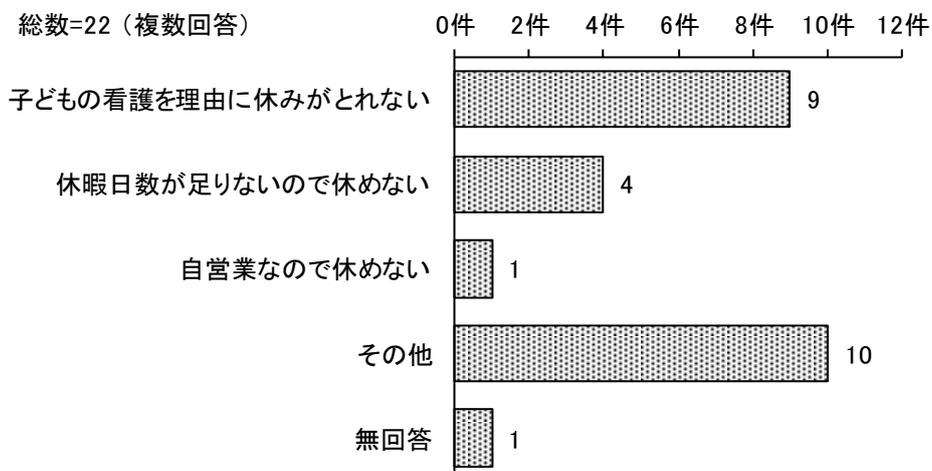
「できれば仕事を休んで看たい」と回答した方が見たかった日数は、「2日」が30.3%で最も多く、次いで「1日」と「5日」がそれぞれ15.2%となっています。



(7) 看護のための休暇取得が難しい理由

問 24-6 問 24-5 で「2. 休んで看ることは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「子どもの看護を理由に休みがとれない」が9件で最も多く、次いで「休暇日数が足りないので休めない」が4件、「自営業なので休めない」が1件となっています。



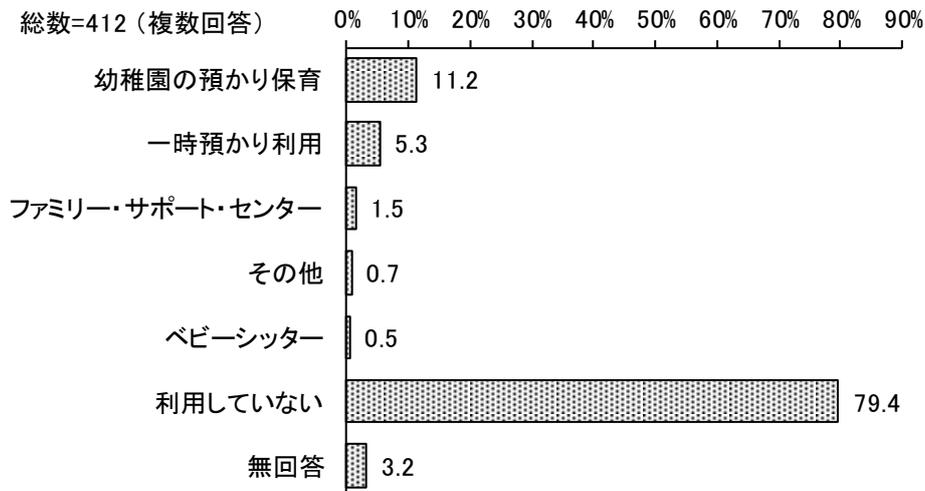
9 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かりなどの利用について

(1) 不定期で利用している事業

問 25 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不
定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号す
べてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も口内に数字でご記入ください。

①利用している事業

「幼稚園の預かり保育」が11.2%で最も多く、次いで「一時預かり利用」が5.3%、「ファミリー・サポート・センター」が1.5%となっています。一方、「利用していない」は79.4%となっています。



②利用している事業の日数

「幼稚園の預かり保育」では「10日」が17.4%で最も多く、次いで「3日」、「16～20日」、「21日以上」がそれぞれ13.0%となっています。

| | 全体 | 1日 | 2日 | 3日 | 4日 | 5日 | 6日 | 7日 | 8日 | 9日 |
|-----------------|-------------|-----------|----------|-----------|----------|-----------|----------|----------|----|----|
| 一時預かり | 22 100.0 | 3 13.6 | 2 9.1 | 3 13.6 | 1 4.5 | 4 18.2 | 1 4.5 | - | - | - |
| 幼稚園の預かり保育 | 46 100.0 | 1 2.2 | 3 6.5 | 6 13.0 | 1 2.2 | 5 10.9 | 4 8.7 | 1 2.2 | - | - |
| ファミリー・サポート・センター | 6 100.0 | 2 33.3 | - | 2 33.3 | - | - | - | - | - | - |
| ベビーシッター | 2 100.0 | 1 50.0 | - | - | - | 1 50.0 | - | - | - | - |
| その他 | 3 100.0 | - | - | - | - | 1 33.3 | - | - | - | - |

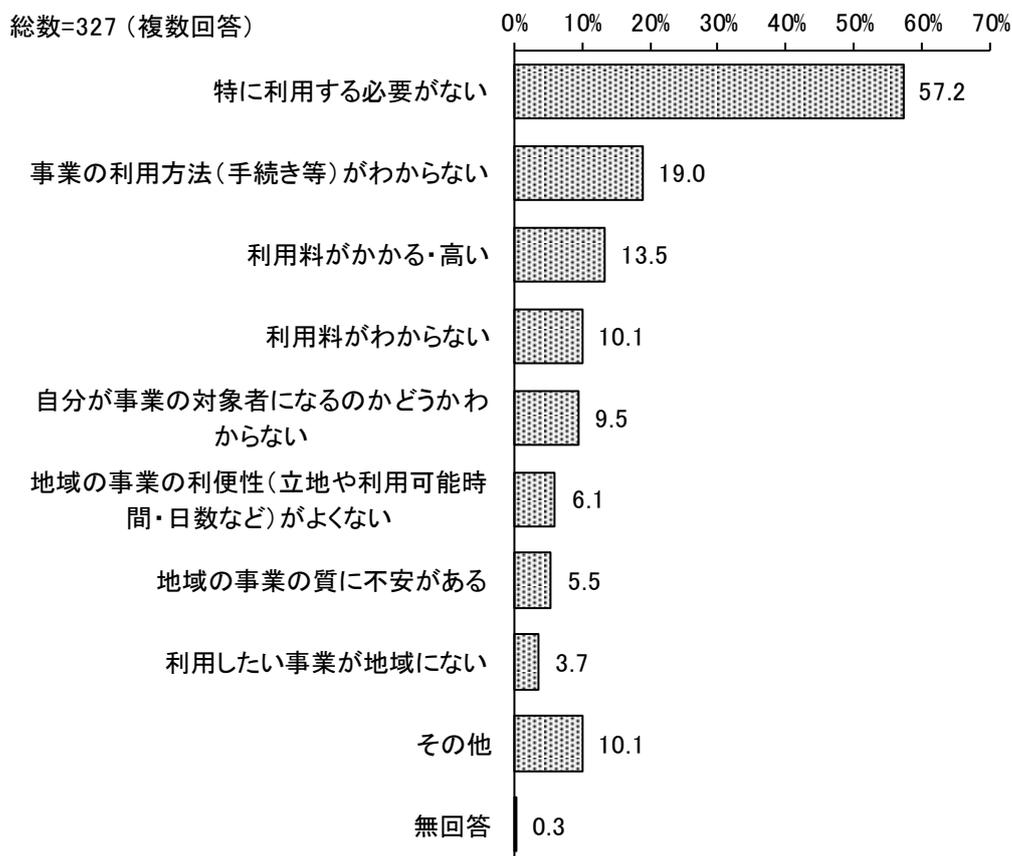
| | 10日 | 11～15日 | 16～20日 | 21日以上 | 無回答 |
|-----------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 一時預かり | 3 13.6 | 3 13.6 | 2 9.1 | - | - |
| 幼稚園の預かり保育 | 8 17.4 | 2 4.3 | 6 13.0 | 6 13.0 | 3 6.5 |
| ファミリー・サポート・センター | - | - | - | - | 2 33.3 |
| ベビーシッター | - | - | - | - | - |
| その他 | - | - | 1 33.3 | - | 1 33.3 |

(2) 利用していない理由

問 25 で「6. 利用していない」と回答した方にうかがいます。

問 25-1 現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「特に利用する必要がない」が 57.2%で最も多く、次いで「事業の利用方法（手続き等）がわからない」が 19.0%、「利用料がかかる・高い」が 13.5%となっています。

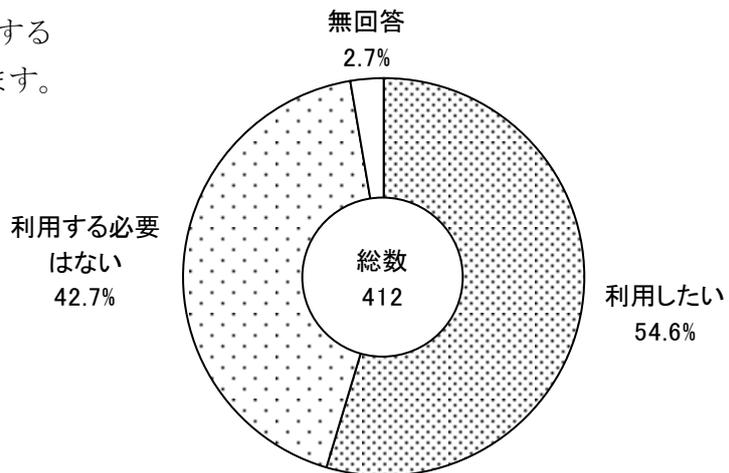


(3) 不特定の事業の利用希望

問 26 **すべての方にうかがいます。**宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を口内に数字でご記入ください。）。なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

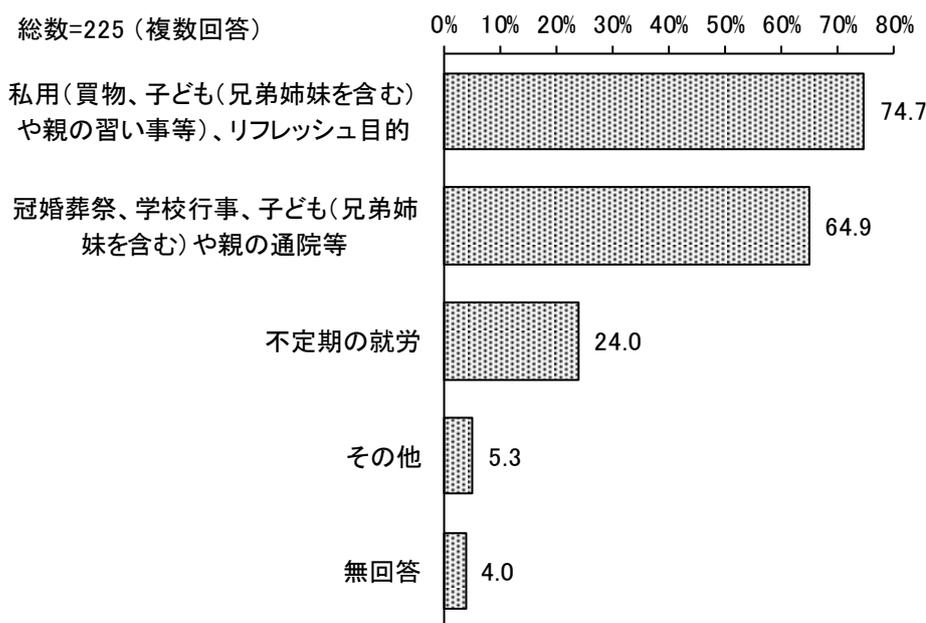
①利用希望

「利用したい」は 54.6%、「利用する必要はない」は 42.7%となっています。



②利用目的

「利用したい」と回答した方の利用目的は、「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」が 74.7%で最も多く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」が 64.9%、「不特定の就労」が 24.0%となっています。



③利用したい日数の合計と目的別の日数

「利用したい」と回答した方の日数の合計は、「11～15日」が16.4%で最も多く、次いで「10日」が16.0%、「16～20日」が12.9%となっています。

目的別にみると、「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」では「11～15日」が22.0%で最も多く、次いで「10日」が20.2%、「5日」が14.9%となっています。「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」では「5日」が22.6%で最も多く、次いで「10日」が18.5%、「11～15日」が15.1%となっています。「不規則の就労」では「10日」が20.4%で最も多く、次いで「21～30日」が13.0%、「3日」と「5日」がそれぞれ9.3%となっています。

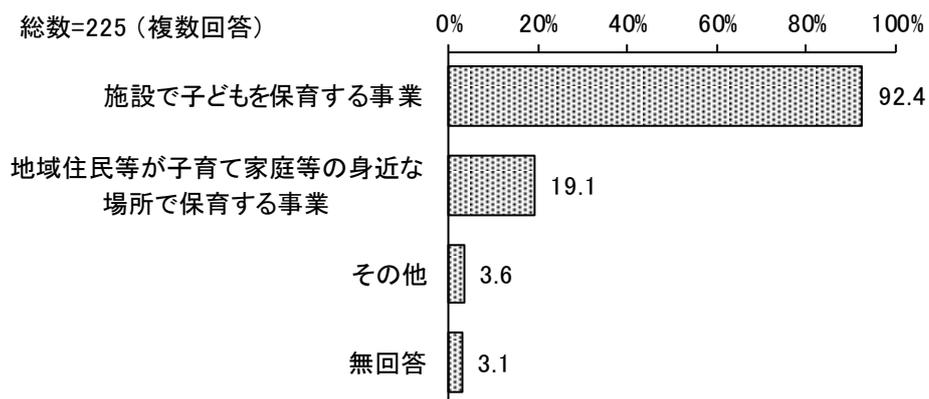
| | 全体 | 1日 | 2日 | 3日 | 4日 | 5日 | 6日 | 7日 | 8日 | 9日 |
|-------------------------------------|--------------|----------|------------|-----------|----------|------------|----------|----------|----------|----------|
| 利用したい日数の合計 | 225 100.0 | 2 0.9 | 8 3.6 | 9 4.0 | 3 1.3 | 16 7.1 | 2 0.9 | 5 2.2 | 2 0.9 | 3 1.3 |
| 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的 | 168 100.0 | 2 1.2 | 9 5.4 | 6 3.6 | 5 3.0 | 25 14.9 | 7 4.2 | 1 0.6 | 4 2.4 | - |
| 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等 | 146 100.0 | 9 6.2 | 16 11.0 | 14 9.6 | 2 1.4 | 33 22.6 | 9 6.2 | 3 2.1 | - | - |
| 不規則の就労 | 54 100.0 | 2 3.7 | 1 1.9 | 5 9.3 | 1 1.9 | 5 9.3 | 4 7.4 | 2 3.7 | 1 1.9 | - |
| その他 | 12 100.0 | - | - | 1 8.3 | - | 1 8.3 | 1 8.3 | - | - | - |

| | 10日 | 11～15日 | 16～20日 | 21～25日 | 26～30日 | 31日 | 81日以上 | 無回答 |
|-------------------------------------|------------|------------|------------|------------|-----------|----------|----------|-----------|
| 利用したい日数の合計 | 36 16.0 | 37 16.4 | 29 12.9 | 28 12.4 | 18 8.0 | 8 3.6 | 7 3.1 | 12 5.3 |
| 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的 | 34 20.2 | 37 22.0 | 9 5.4 | 15 8.9 | 8 4.8 | - | - | 6 3.6 |
| 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等 | 27 18.5 | 22 15.1 | 2 1.4 | 3 2.1 | 2 1.4 | - | - | 4 2.7 |
| 不規則の就労 | 11 20.4 | 2 3.7 | 4 7.4 | 7 13.0 | 4 7.4 | 2 3.7 | 2 3.7 | 1 1.9 |
| その他 | 4 33.3 | 1 8.3 | 1 8.3 | - | 1 8.3 | - | - | 2 16.7 |

(4) 不定期で預ける施設の望ましい事業形態

問 26-1 問 26 で「1. 利用したい」に○をつけた方にかがいます。問 26 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「施設で子どもを保育する事業（例：幼稚園・保育所等）」が 92.4%で最も多く、次いで「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）」が 19.1%となっています。

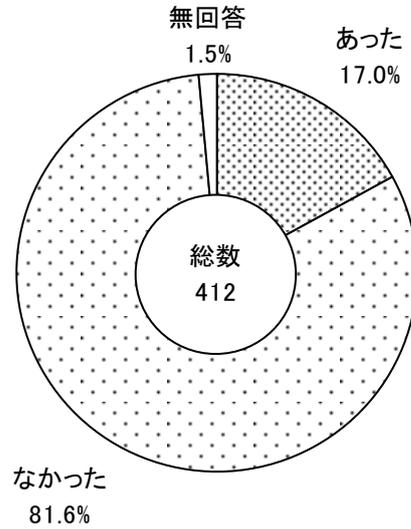


(5) 宿泊を伴う一時預かりの状況

問 27 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください。

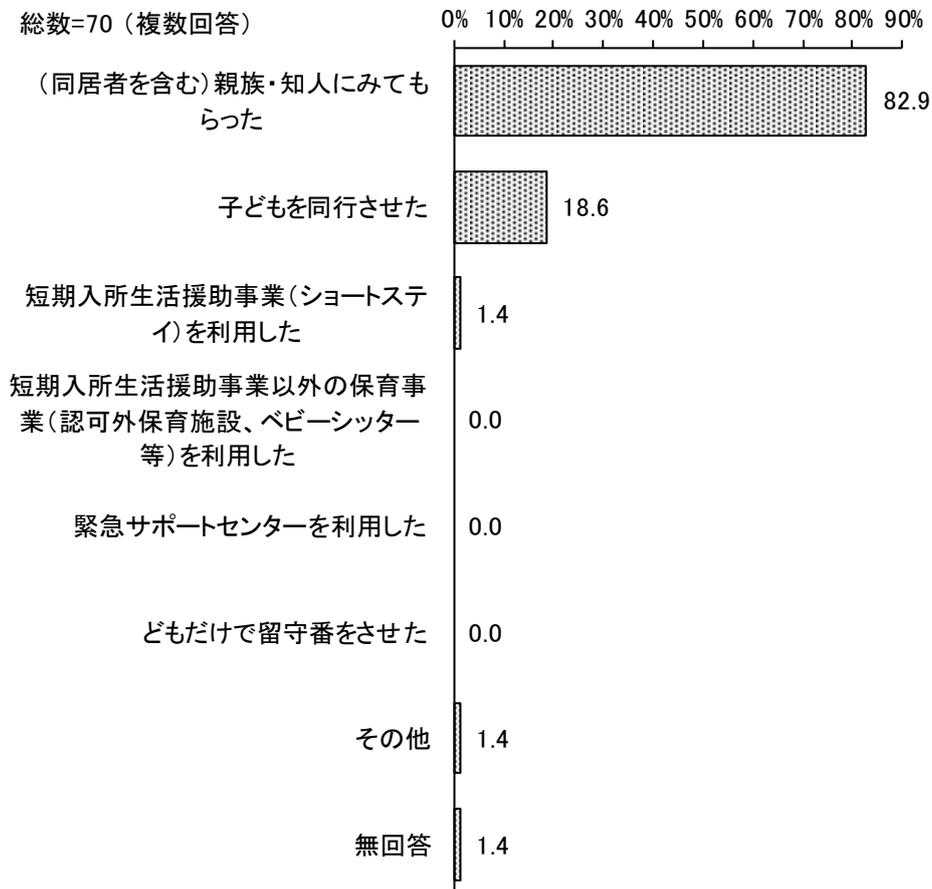
① 宿泊を伴う一時預かりの有無

「あった」は 17.0%、「なかった」は 81.6%となっています。



② 対処方法

「あった」と回答した方の対処方法は、「(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」が 82.9%で最も多く、次いで「子どもを同行させた」が 18.6%、「短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した」が 1.4%となっています。



③対処方法別の日数

「(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」では「1泊」が24.1%で最も多く、次いで「3泊」が19.0%、「5泊」が13.8%となっています。

| | 全体 | 1泊 | 2泊 | 3泊 | 4泊 | 5泊 | 6泊 | 7泊 | 8泊 | 9泊 |
|-------------------------------------|-------------|------------|------------|------------|----------|-----------|----------|----------|--------|--------|
| (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった | 58 100.0 | 14 24.1 | 6 10.3 | 11 19.0 | 1 1.7 | 8 13.8 | 2 3.4 | 3 5.2 | - | - |
| 短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した | 1 100.0 | - | 1 100.0 | - | - | - | - | - | - | - |
| 短期入所生活援助事業以外の保育事業(認可外保育施設、ベビーシッター等) | - * | - * | - * | - * | - * | - * | - * | - * | - * | - * |
| 緊急サポートセンターを利用した | - * | - * | - * | - * | - * | - * | - * | - * | - * | - * |
| 子どもを同行させた | 13 100.0 | 2 15.4 | 3 23.1 | 3 23.1 | - | - | - | - | - | - |
| どもだけで留守番をさせた | - * | - * | - * | - * | - * | - * | - * | - * | - * | - * |
| その他 | 1 100.0 | - | - | - | - | - | - | - | - | - |

| | 10泊 | 11~15泊 | 16~20泊 | 21泊以上 | 無回答 |
|-------------------------------------|------------|----------|--------|----------|-----------|
| (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった | 5 8.6 | 2 3.4 | - | 4 6.9 | 2 3.4 |
| 短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した | - | - | - | - | - |
| 短期入所生活援助事業以外の保育事業(認可外保育施設、ベビーシッター等) | - * | - * | - * | - * | - * |
| 緊急サポートセンターを利用した | - * | - * | - * | - * | - * |
| 子どもを同行させた | 1 7.7 | - | - | - | 4 30.8 |
| どもだけで留守番をさせた | - * | - * | - * | - * | - * |
| その他 | 1 100.0 | - | - | - | - |

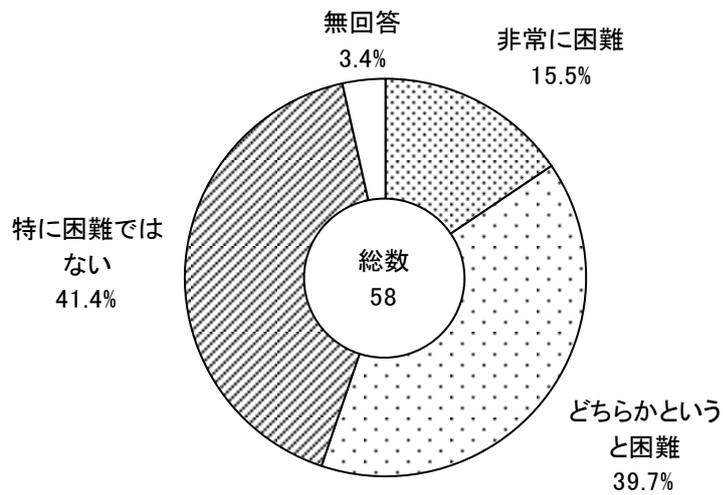
(6) 親族・知人にみてもらった場合の困難度

問 27 で「1. あった ア. (同居者を含む)親族・知人にみてもらった」と答えた方にうかがいます。

⇒ア. 以外を選択した方は 問 28 へ

問 27-1 その場合の困難度はどの程度でしたか。当てはまる番号 1つに○をつけてください。

「特に困難ではない」が 41.4%で最も多く、次いで「どちらかという困難」が 39.7%、「非常に困難」が 15.5%となっています。



10 小学校就学後の放課後の過ごし方について

⇒ 5歳未満の方は、問32へ

(1) 放課後に過ごさせたい場所（低学年）

問28 宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また、留守家庭児童指導室〔学童保育〕の場合には、利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。時間は（例）18時のように24時間制でご記入ください。

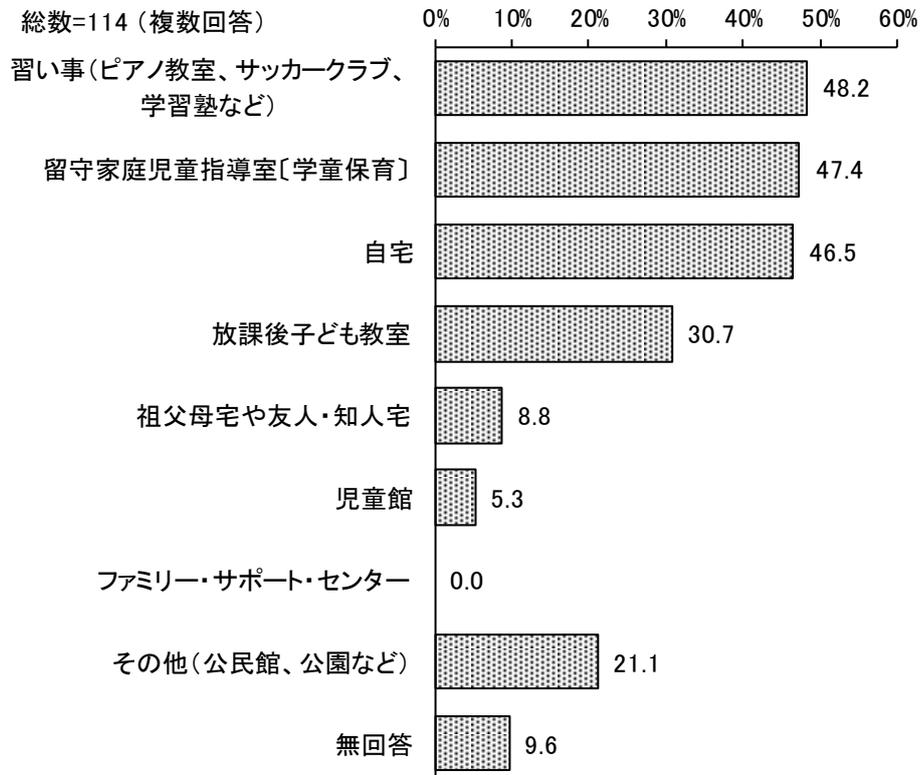
「留守家庭児童指導室」…学童保育などと呼ばれています。保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

所得に応じ、月額0～4,000円 そのほか、おやつ代（1,500円～2,000円）がかかります。

「放課後子ども教室」…市内7つの小学校で、毎週月曜日の放課後に開催しています。地域の方と交流をしながら、遊びやスポーツ、学習、体験活動を行います。

①放課後に過ごさせたい場所

「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が48.2%で最も多く、次いで「留守家庭児童指導室〔学童保育〕」が47.4%、「自宅」が46.5%となっています。



②週当たりの日数

「自宅」では「5日」が35.8%で最も多く、次いで「1日」が18.9%、「2日」が15.1%となっています。

「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」では「1日」が47.3%で最も多く、次いで「2日」が38.2%、「3日」が12.7%となっています。

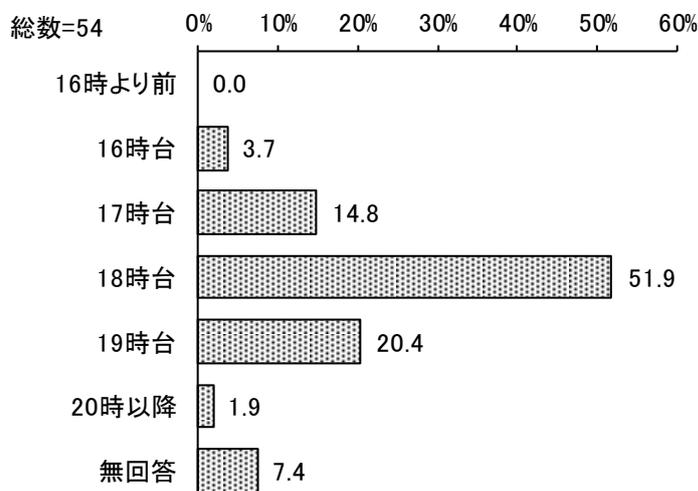
「放課後子ども教室」では「1日」が85.7%で最も多く、次いで「2日」が5.7%、「3日」と「5日」がそれぞれ2.9%となっています。

「留守家庭児童指導室〔学童保育〕」では「5日」が57.4%で最も多く、次いで「4日」が16.7%、「2日」が11.1%となっています。

| | 全体 | 1日 | 2日 | 3日 | 4日 | 5日 | 6日 | 7日 | 無回答 |
|--------------------------|-------------|------------|------------|-----------|-----------|------------|----------|----------|-----------|
| 自宅 | 53 100.0 | 10 18.9 | 8 15.1 | 6 11.3 | 5 9.4 | 19 35.8 | - | 3 5.7 | 2 3.8 |
| 祖父母宅や友人・知人宅 | 10 100.0 | 8 80.0 | 2 20.0 | - | - | - | - | - | - |
| 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など） | 55 100.0 | 26 47.3 | 21 38.2 | 7 12.7 | - | 1 1.8 | - | - | - |
| 児童館 | 6 100.0 | 3 50.0 | 1 16.7 | 1 16.7 | - | - | - | - | 1 16.7 |
| 放課後子ども教室 | 35 100.0 | 30 85.7 | 2 5.7 | 1 2.9 | - | 1 2.9 | - | - | 1 2.9 |
| 留守家庭児童指導室〔学童保育〕 | 54 100.0 | 3 5.6 | 6 11.1 | 4 7.4 | 9 16.7 | 31 57.4 | 1 1.9 | - | - |
| ファミリー・サポート・センター | - * | - * | - * | - * | - * | - * | - * | - * | - * |
| その他（公民館、公園など） | 24 100.0 | 6 25.0 | 8 33.3 | 5 20.8 | 2 8.3 | 3 12.5 | - | - | - |

③留守家庭児童指導室〔学童保育〕の希望終了時間

「18時台」が51.9%で最も多く、次いで「19時台」が20.4%、「17時台」が14.8%となっています。



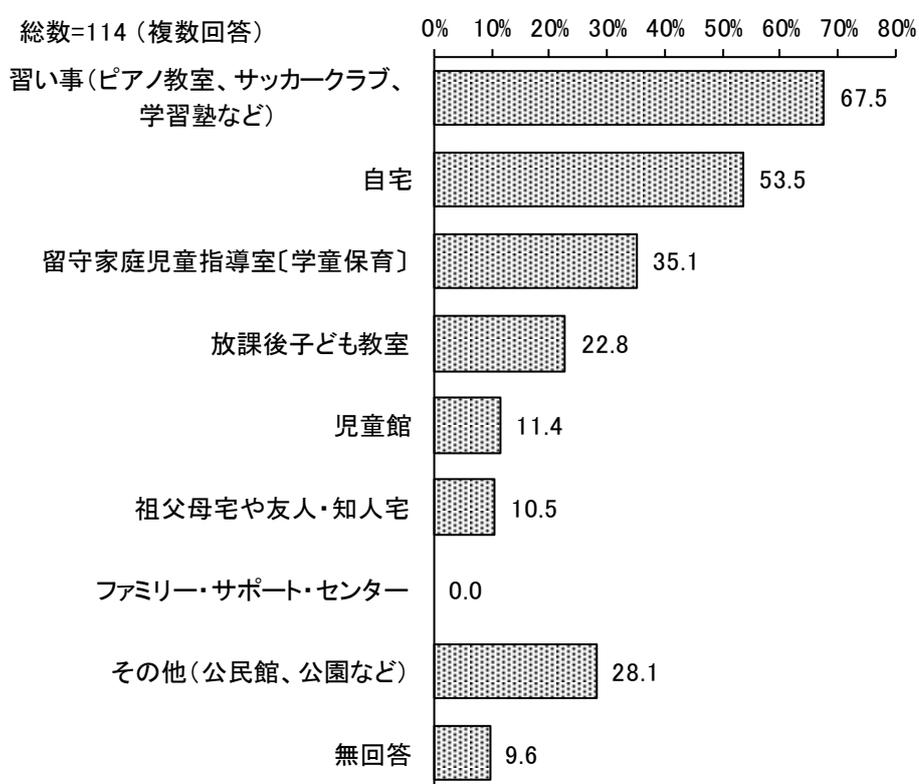
(2) 放課後に過ごさせたい場所 (高学年)

問 29 宛名のお子さんについて、小学校高学年(4～6年生)になったら、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週当たり日数を数字でご記入ください。また、留守家庭児童指導室〔学童保育〕の場合には利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。時間は、(例)18時のように24時間制でご記入ください。

※先のことになります。現在お持ちのイメージでお答えください。

①放課後に過ごさせたい場所

「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」が67.5%で最も多く、次いで「自宅」が53.5%、「留守家庭児童指導室〔学童保育〕」が35.1%となっています。



②週当たりの日数

「自宅」では「5日」が31.1%で最も多く、次いで「1日」が23.0%、「2日」が18.0%となっています。

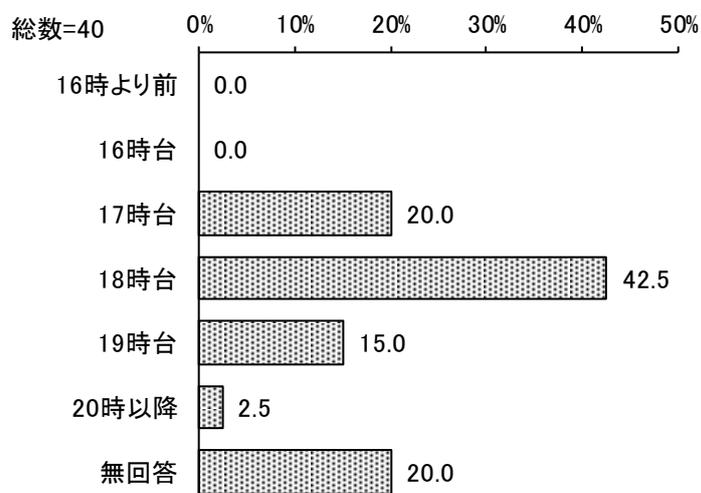
「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」では「2日」が51.9%で最も多く、次いで「3日」が26.0%、「1日」が19.5%となっています。

「留守家庭児童指導室〔学童保育〕」では「5日」が42.5%で最も多く、次いで「3日」が22.5%、「2日」が12.5%となっています。

| | 全体 | 1日 | 2日 | 3日 | 4日 | 5日 | 6日 | 7日 | 無回答 |
|--------------------------|-------------|------------|------------|------------|-----------|------------|----------|----------|----------|
| 自宅 | 61 100.0 | 14 23.0 | 11 18.0 | 9 14.8 | 8 13.1 | 19 31.1 | - | - | - |
| 祖父母宅や友人・知人宅 | 12 100.0 | 6 50.0 | 6 50.0 | - | - | - | - | - | - |
| 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など） | 77 100.0 | 15 19.5 | 40 51.9 | 20 26.0 | 1 1.3 | 1 1.3 | - | - | - |
| 児童館 | 13 100.0 | 7 53.8 | 3 23.1 | 3 23.1 | - | - | - | - | - |
| 放課後子ども教室 | 26 100.0 | 22 84.6 | 3 11.5 | - | - | - | - | - | 1 3.8 |
| 留守家庭児童指導室〔学童保育〕 | 40 100.0 | 4 10.0 | 5 12.5 | 9 22.5 | 3 7.5 | 17 42.5 | 1 2.5 | 1 2.5 | - |
| ファミリー・サポート・センター | - * | - * | - * | - * | - * | - * | - * | - * | - * |
| その他（公民館、公園など） | 32 100.0 | 12 37.5 | 5 15.6 | 6 18.8 | 2 6.3 | 6 18.8 | - | - | 1 3.1 |

③留守家庭児童指導室〔学童保育〕の希望終了時間

「18時台」が42.5%で最も多く、次いで「17時台」が20.0%、「19時台」が15.0%となっています。



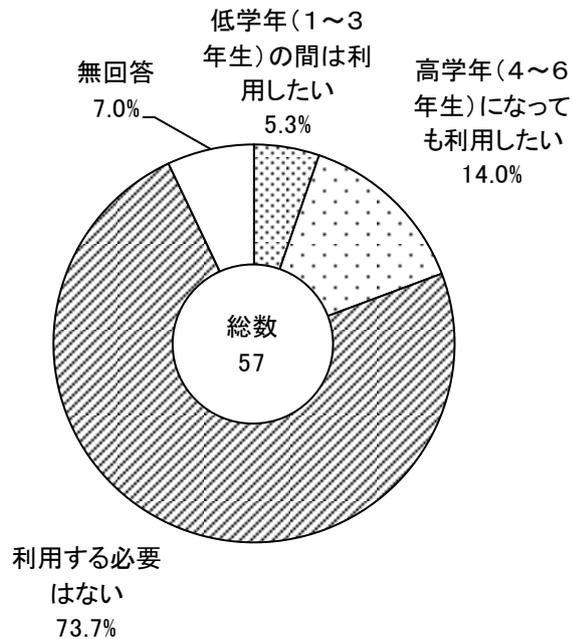
(3) 土曜日、日曜日・祝日の留守家庭児童指導室の利用希望

問 30 問 28 または問 29 で「6. 留守家庭児童指導室〔学童保育〕」に○をつけた方にうかがいます。宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、留守家庭児童指導室の利用希望はありますか。(1)(2)それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、口内に(例)09時～18時のように24時間制でご記入ください。

【土曜日】

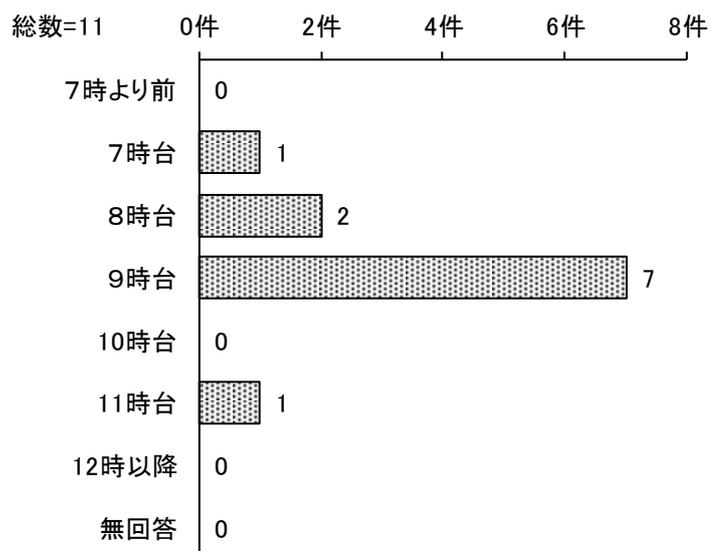
①利用希望

「利用する必要はない」が73.7%で最も多く、次いで「高学年(4～6年生)になっても利用したい」が14.0%、「低学年(1～3年生)の間は利用したい」が5.3%となっています。



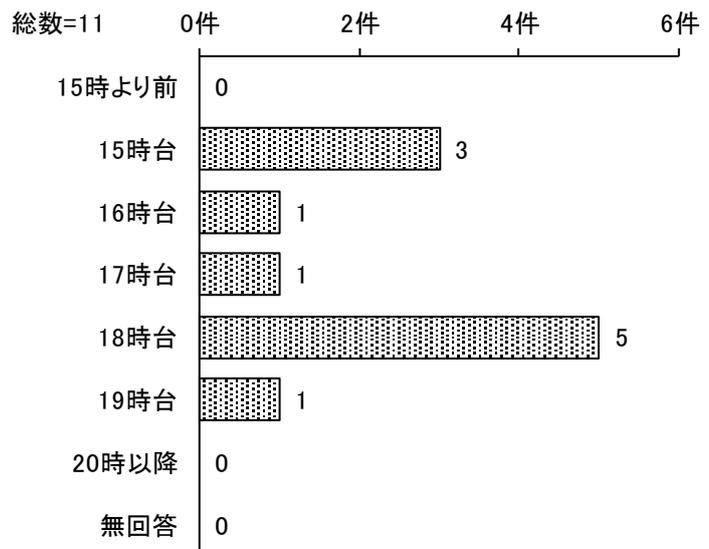
②利用したい時間帯(開始時間)

「利用したい」と回答した方の希望する開始時間は、「9時台」が7件で最も多く、次いで「8時台」が2件、「7時台」と「11時台」がそれぞれ1件となっています。



③利用したい時間帯（終了時間）

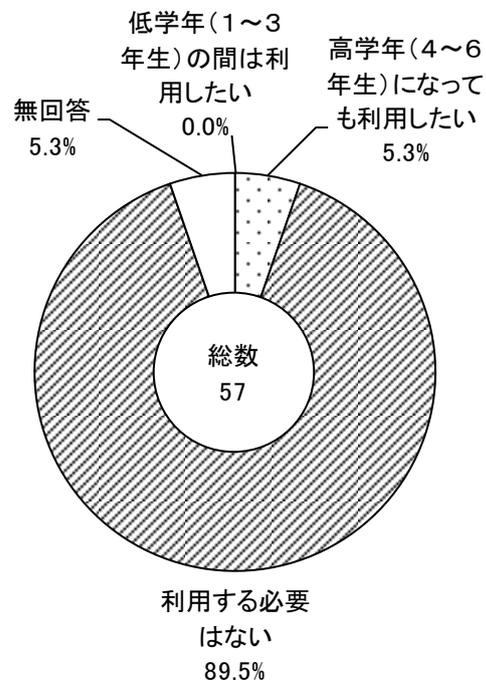
「利用したい」と回答した方の希望する終了時間は、「18時台」が5件で最も多く、次いで「15時台」が3件、「16時台」、「17時台」、「19時台」がそれぞれ1件となっています。



【日曜日・祝日】

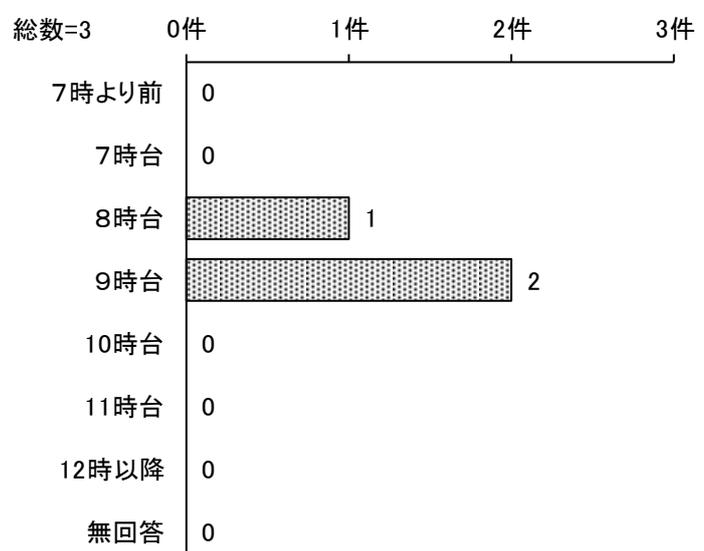
①利用希望

「利用する必要はない」が89.5%で最も多く、次いで「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が5.3%となっています。



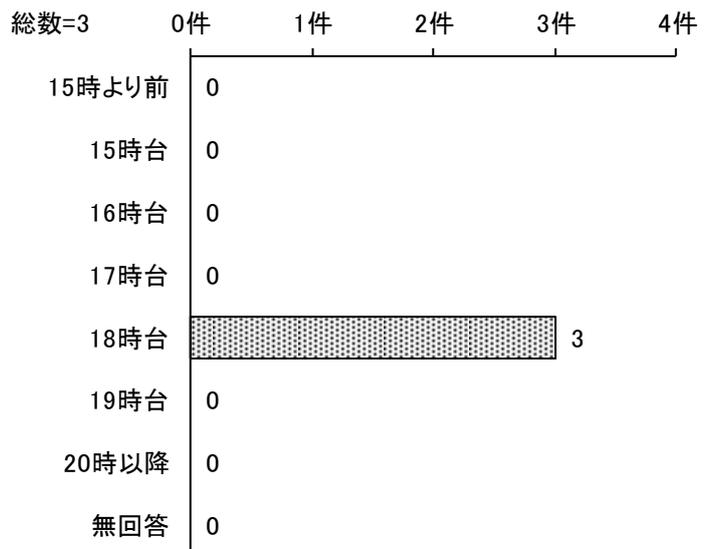
②利用したい時間帯（開始時間）

「利用したい」と回答した方の希望する開始時間は、「9時台」が2件で最も多く、次いで「8時台」が1件となっています。



③利用したい時間帯（終了時間）

「利用したい」と回答した方の希望する終了時間は、「18時台」が3件となっています。

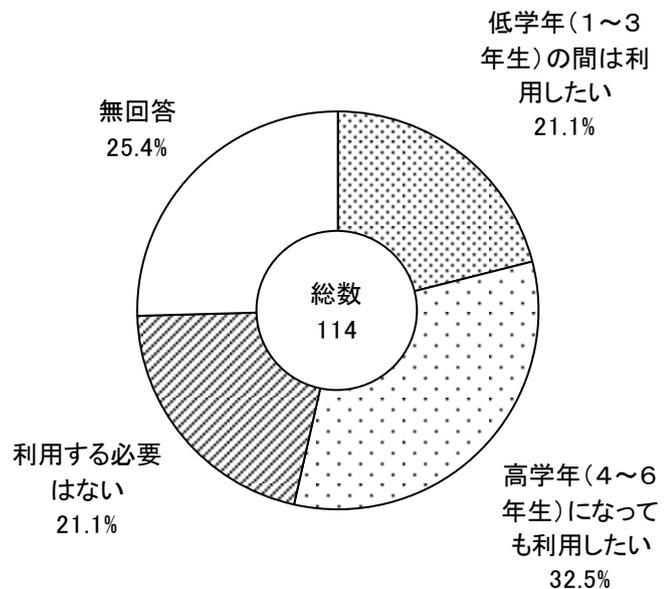


(4) 長期休暇期間中の留守家庭児童指導室の利用希望

問31 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の留守家庭児童指導室の利用希望はありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、□内に（例）09時～18時 のように24時間制でご記入ください。

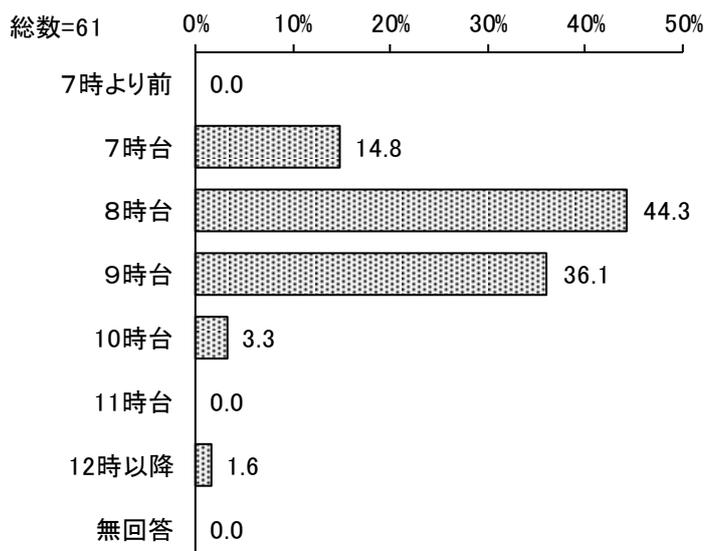
①利用希望

「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が32.5%で最も多く、次いで「低学年（1～3年生）の間は利用したい」と「利用する必要はない」がそれぞれ21.1%となっています。



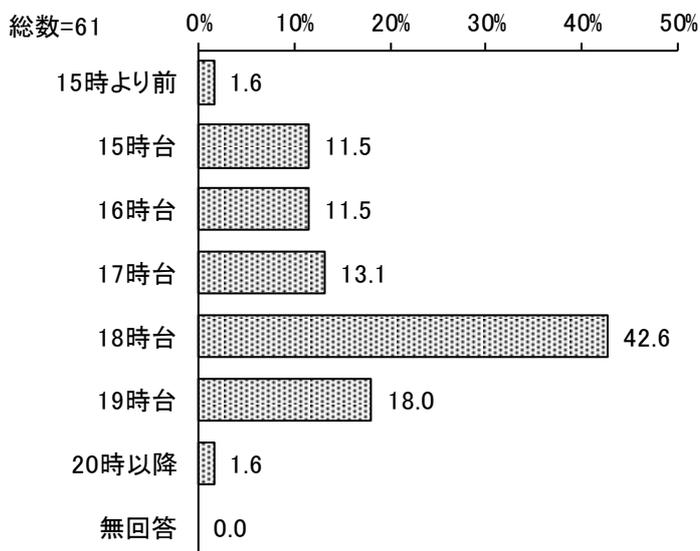
②利用したい時間帯（開始時間）

「利用したい」と回答した方の希望する開始時間は、「8時台」が44.3%で最も多く、次いで「9時台」が36.1%、「7時台」が14.8%となっています。



③利用したい時間帯（終了時間）

「利用したい」と回答した方の希望する終了時間は、「18時台」が42.6%で最も多く、次いで「19時台」が18.0%、「17時台」が13.1%となっています。



11 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

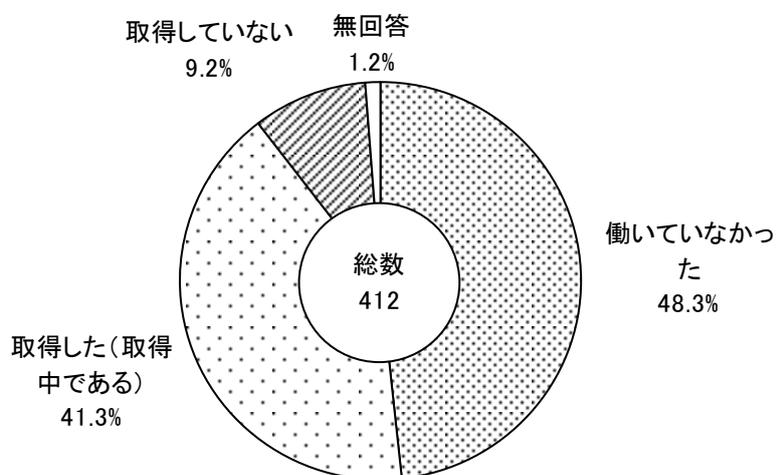
(1) 育児休業の取得状況

問 32 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また、取得していない方はその理由の番号をすべてご記入ください。

【母親】

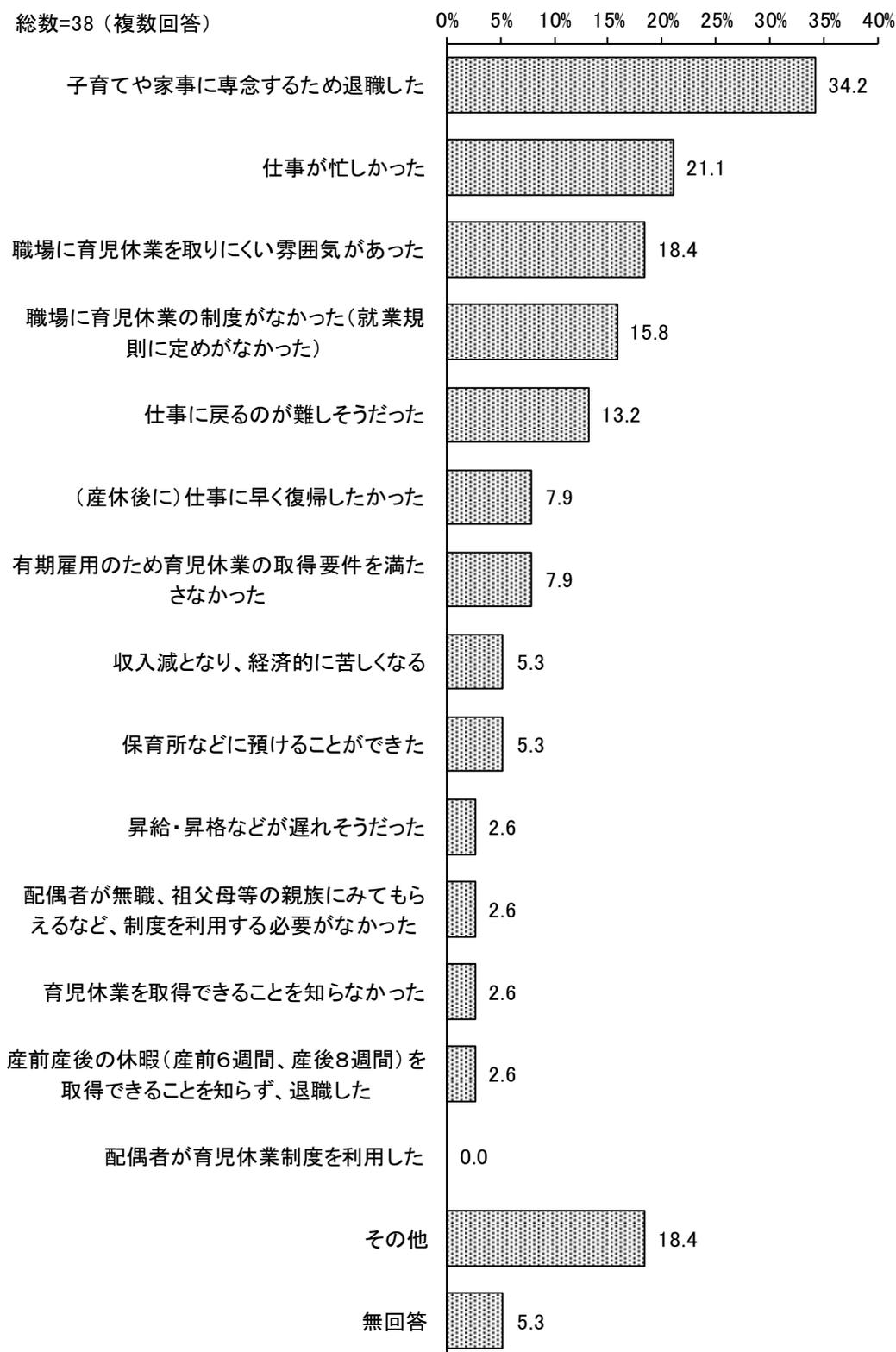
①育児休業の取得状況

「働いていなかった」が48.3%で最も多く、次いで「取得した(取得中である)」が41.3%、「取得していない」が9.2%となっています。



②取得していない理由

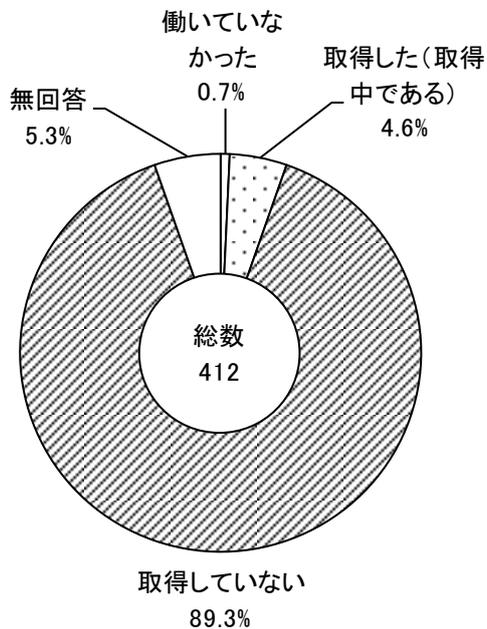
「子育てや家事に専念するため退職した」が34.2%で最も多く、次いで「仕事が忙しかった」が21.1%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が18.4%となっています。



【父親】

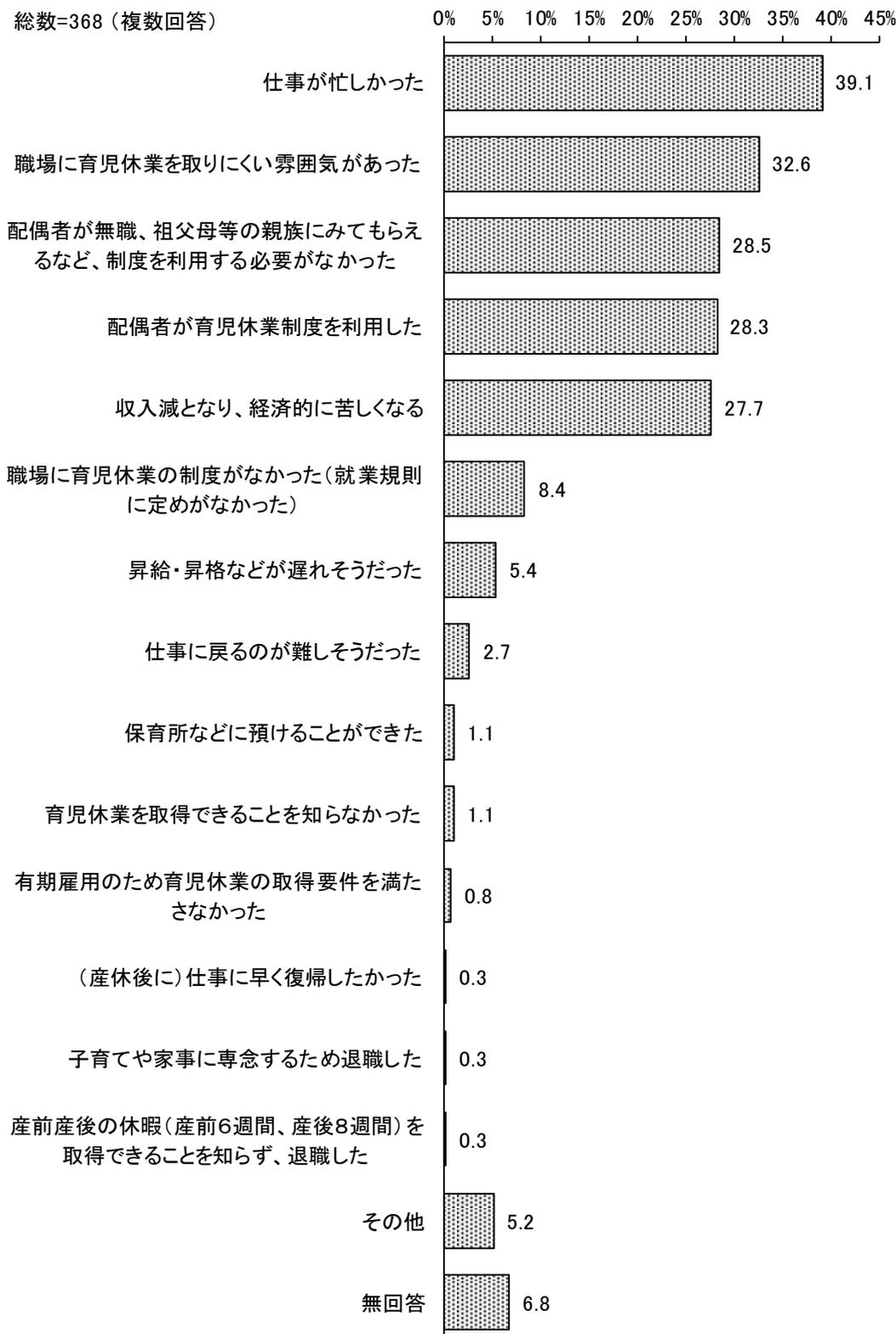
①育児休業の取得状況

「取得していない」が89.3%で最も多く、次いで「取得した（取得中である）」が4.6%、「働いていなかった」が0.7%となっています。



②取得していない理由

「仕事が忙しかった」が39.1%で最も多く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が32.6%、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」が28.5%となっています。

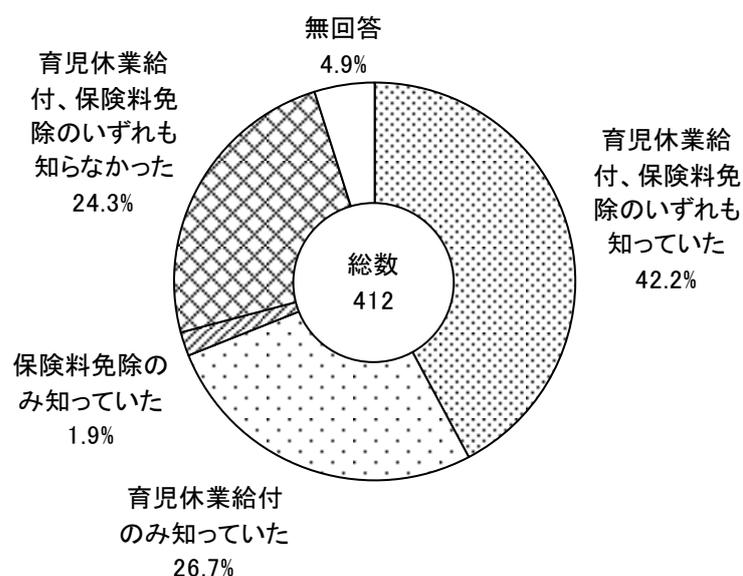


(2) 育児休業給付や保険料免除の仕組みの認知度

問 32-1 子どもが原則1歳（保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は1歳6月）になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等の期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「育児休業給付」…育児・介護休業法による育児休業をする従業員に対して雇用保険より給付される給付金。

「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」が42.2%で最も多く、次いで「育児休業給付のみ知っていた」が26.7%、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」が24.3%となっています。



(3) 育児休業取得後の職場復帰の状況

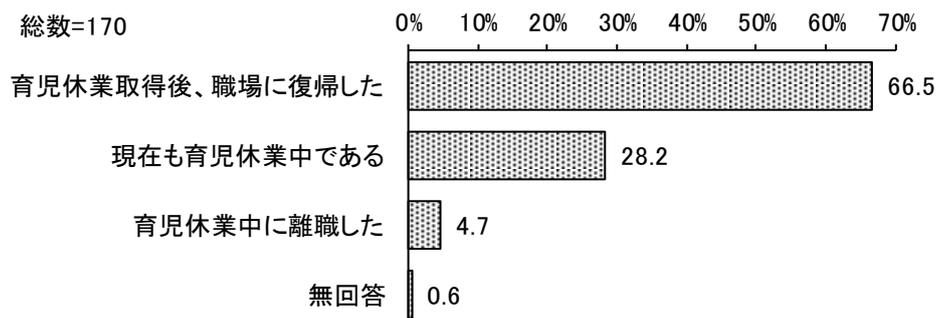
問 32 で「2. 取得した（取得中である）」と回答した方にかがいます。

⇒ 該当しない方は、問 33 へ

問 32-2 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

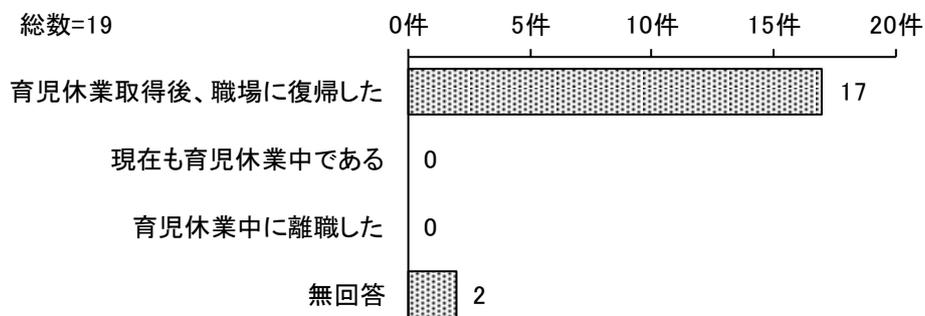
【母親】

「育児休業取得後、職場に復帰した」が 66.5%で最も多く、次いで「現在も育児休業中である」が 28.2%、「育児休業中に離職した」が 4.7%となっています。



【父親】

「育児休業取得後、職場に復帰した」が 17 件で最も多くなっています。



(4) 職場復帰した時期

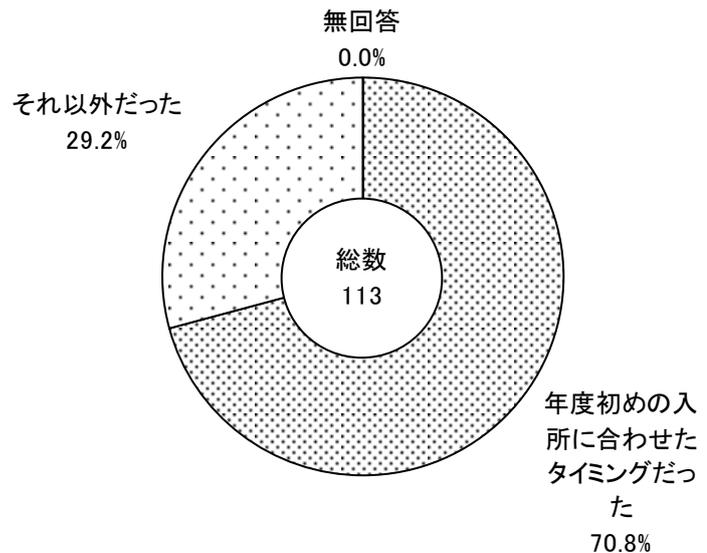
問 32-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問 32-3 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所等の入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらか1つに○をつけてください。

※年度初めでの認可保育所入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1.」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1.」を選択してください。

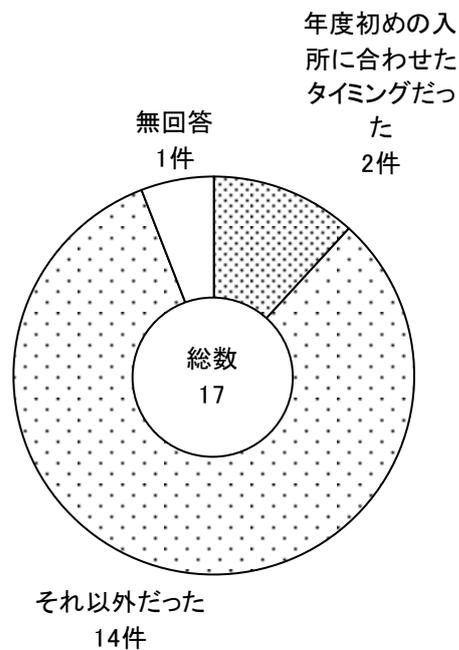
【母親】

「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が70.8%、「それ以外だった」が29.2%となっています。



【父親】

「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が2件、「それ以外だった」が14件となっています。



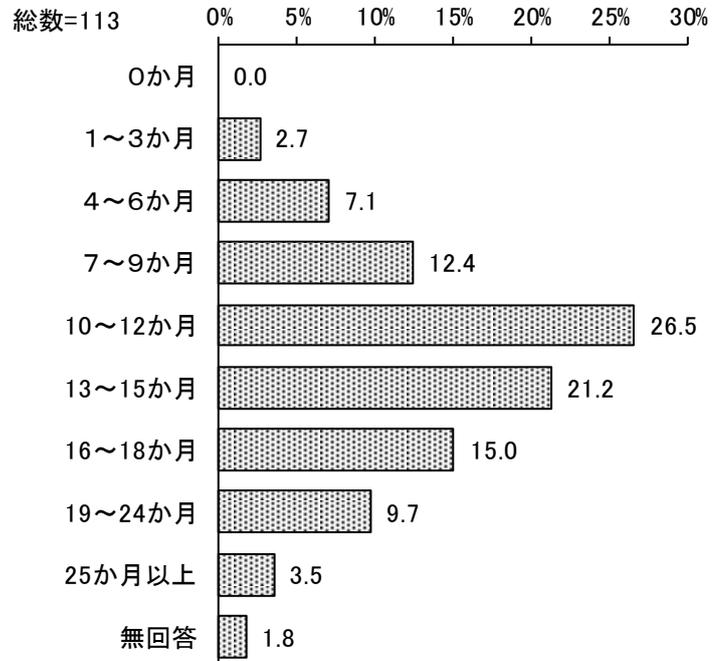
(5) 職場復帰時の子どもの年齢（実際と希望）

問 32-4 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。□内に数字でご記入ください。

【母親】

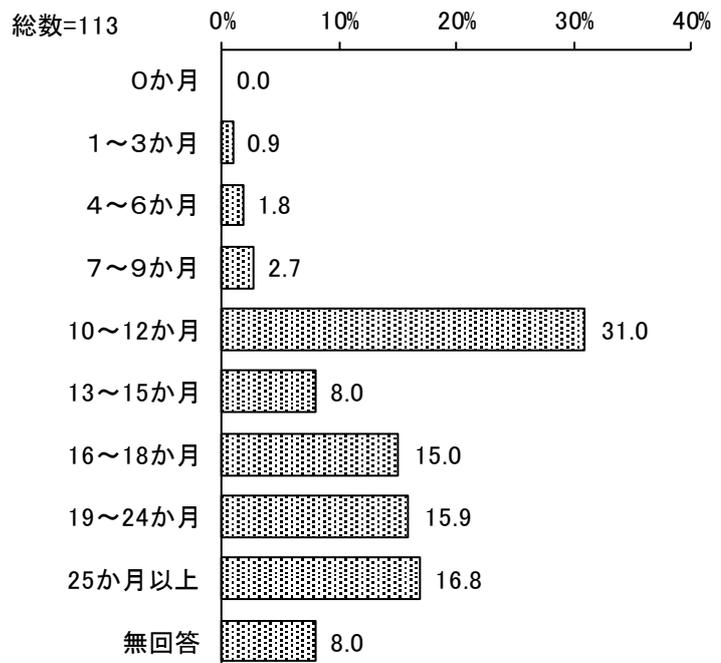
①実際の取得期間

「10～12 か月」が 26.5%で最も多く、次いで「13～15 か月」が 21.2%、「16～18 か月」が 15.0%となっています。



②希望

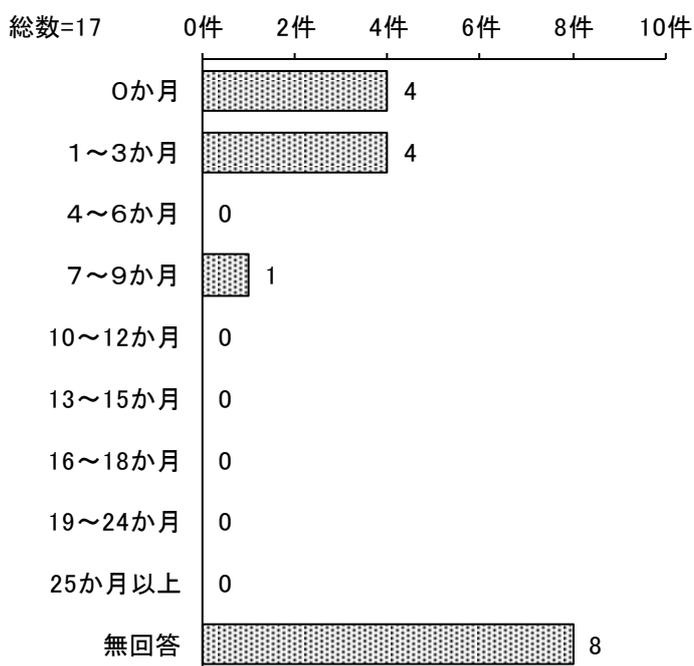
「10～12 か月」が 31.0%で最も多く、次いで「25 か月以上」が 16.8%、「19～24 か月」が 15.9%となっています。



【父親】

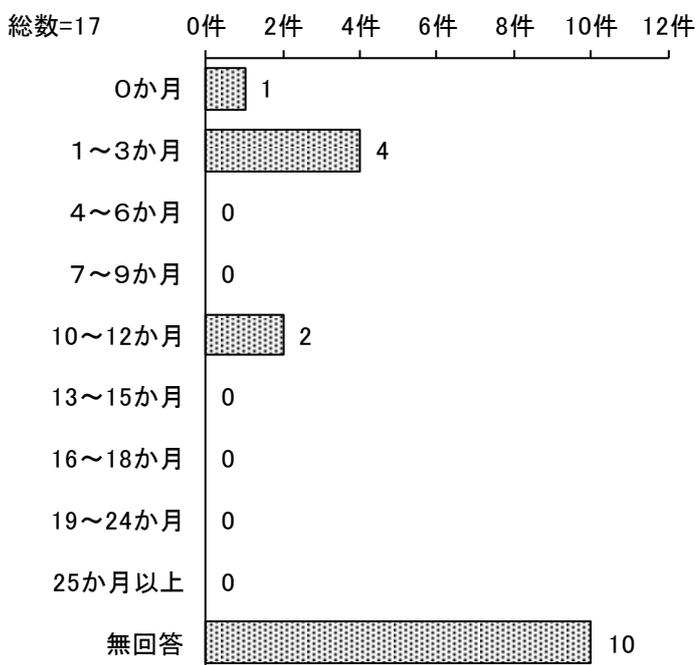
①実際の取得期間

「0か月」と「1～3か月」がそれぞれ4件で最も多く、次いで「7～9か月」が1件となっています。



②希望

「1～3か月」が4件で最も多く、「10～12か月」が2件、「0か月」が1件となっています。

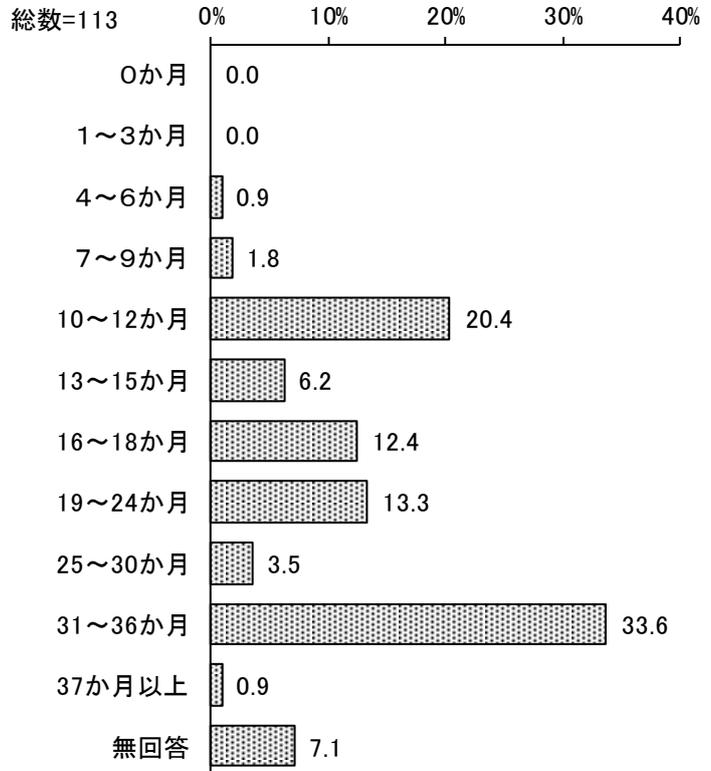


(6) 3歳まで休暇を取得できる制度があった場合の意向

問 32-5 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。□内に数字でご記入ください。

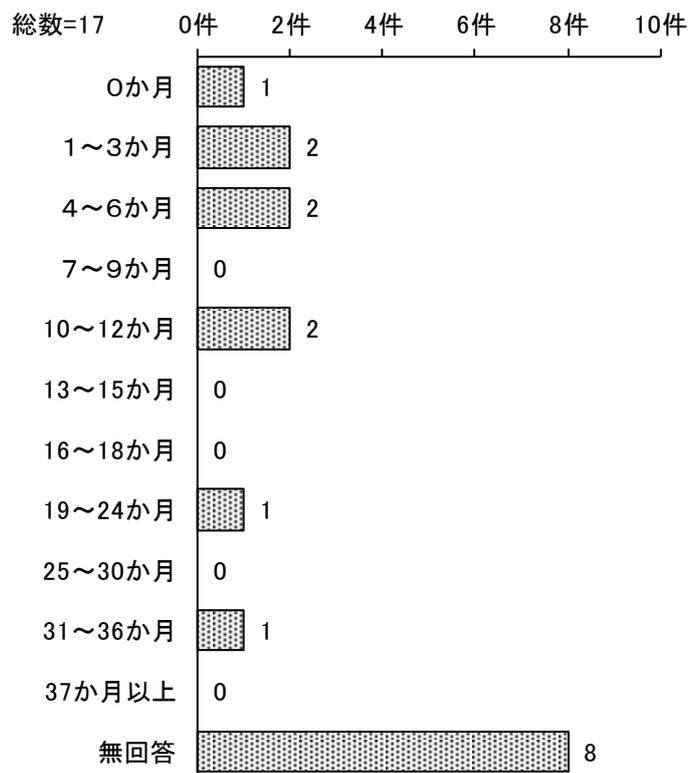
【母親】

「31～36か月」が33.6%で最も多く、次いで「10～12か月」が20.4%、「19～24か月」が13.3%となっています。



【父親】

「1～3か月」、「4～6か月」、「10～12か月」がそれぞれ2件で最も多くなっています。



(7) 希望の時期に職場復帰しなかった理由

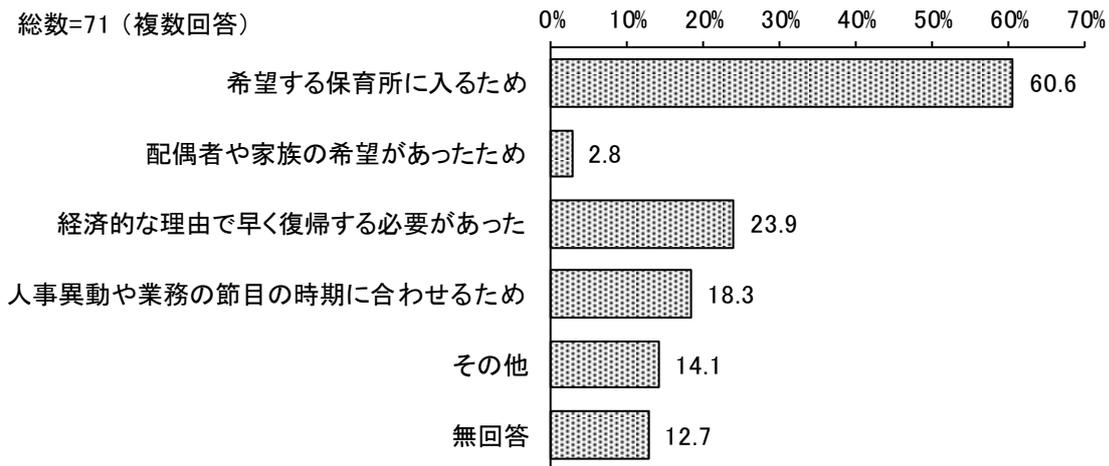
問 32-4 で実際の復帰と希望が異なる方にかがいます。

問 32-6 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

(1) 「希望」より早く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

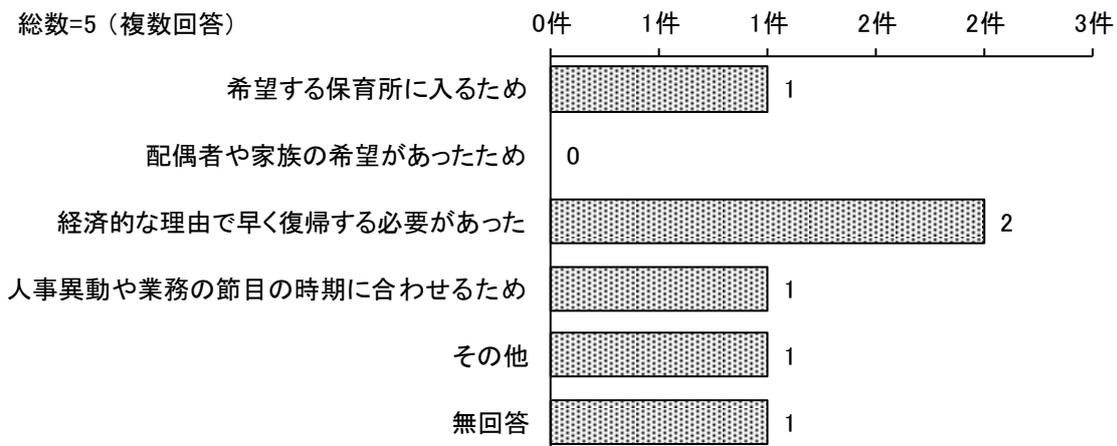
【母親】

「希望する保育所に入るため」が 60.6%で最も多く、次いで「経済的な理由で早く復帰する必要があった」が 23.9%、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が 18.3%となっています。



【父親】

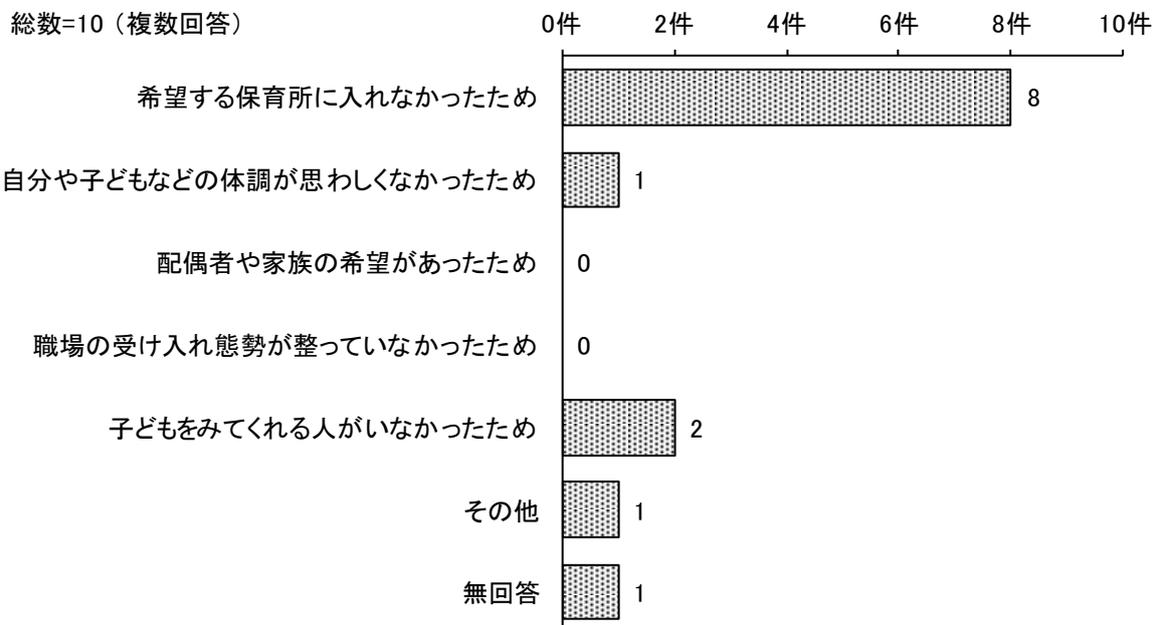
「経済的な理由で早く復帰する必要があった」が 2件で最も多く、次いで「希望する保育所に入るため」、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」がそれぞれ 1件となっています。



(2) 「希望」より遅く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

【母親】

「希望する保育所に入れなかったため」が8件で最も多く、次いで「子どもをみってくれる人がいなかったため」が2件、「自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため」が1件となっています。



【父親】

対象者がいませんでした。

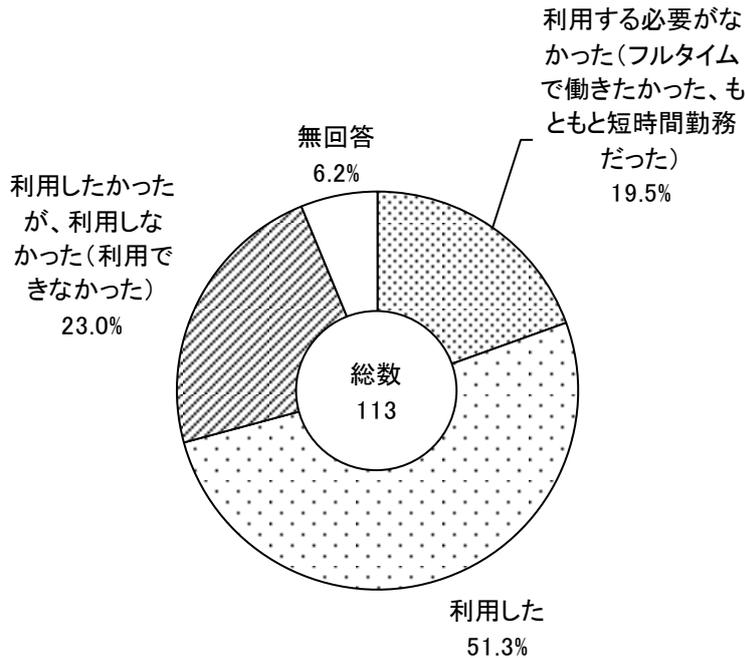
(8) 短時間勤務制度の利用状況

問 32-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問 32-7 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

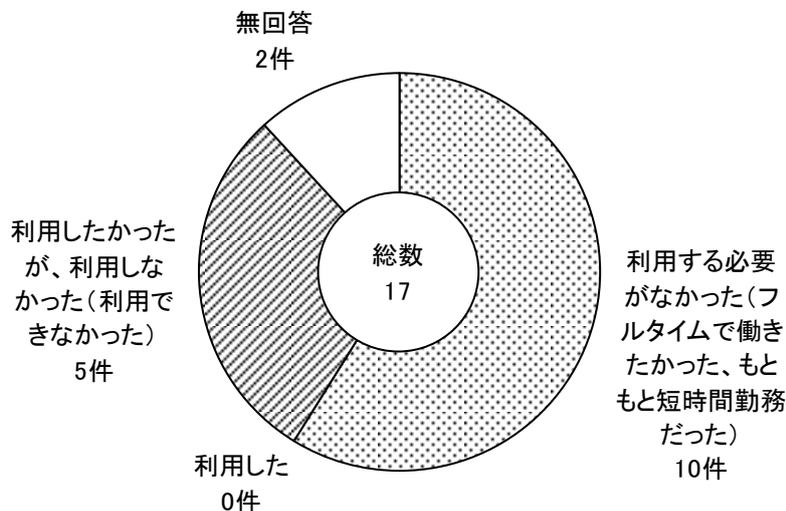
【母親】

「利用した」が 51.3%で最も多く、次いで「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」が 23.0%、「利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）」が 19.5%となっています。



【父親】

「利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）」が 10 件で最も多く、次いで「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」が 5 件となっています。



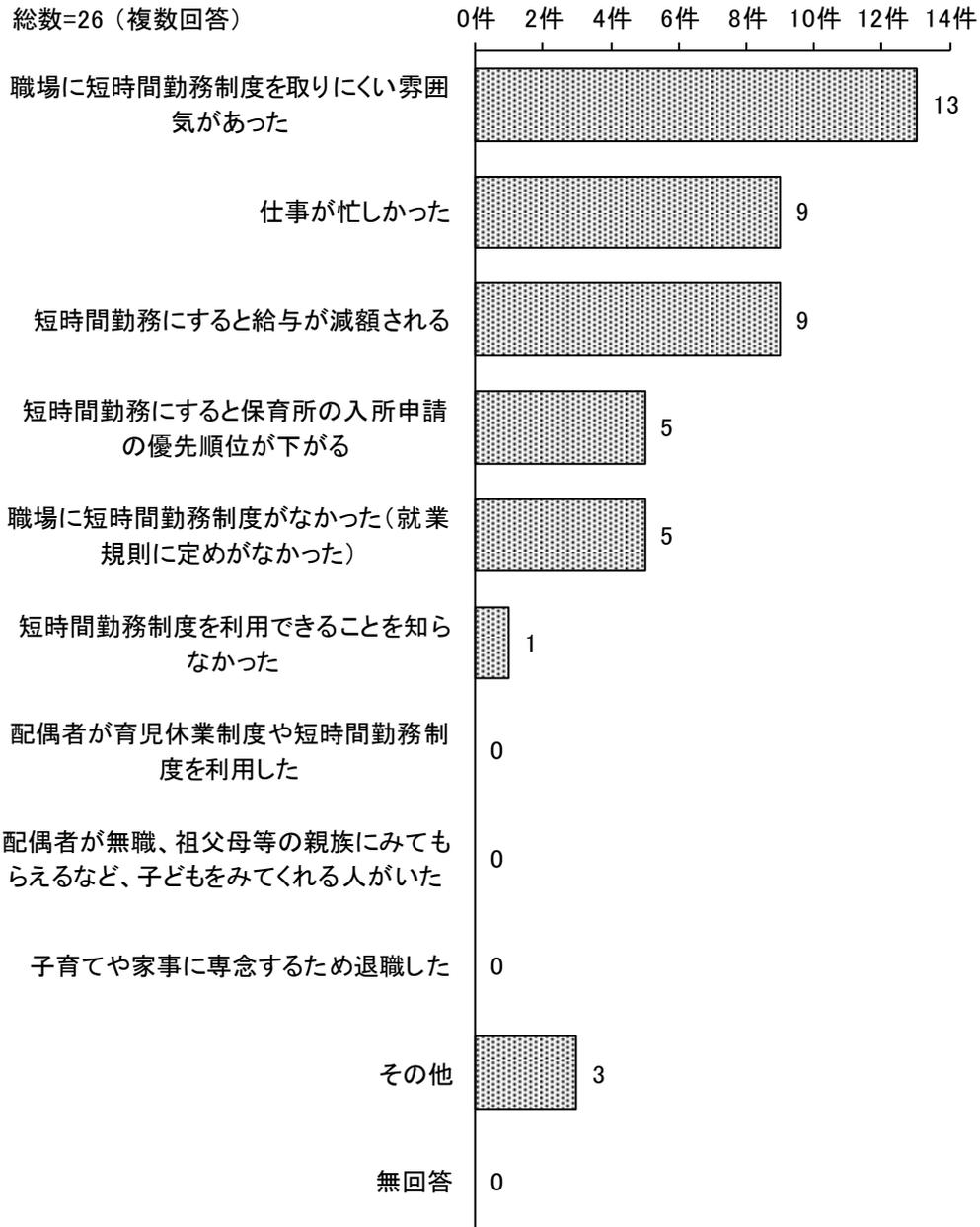
(9) 短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由

問 32-7 で「3. 利用したかったが、利用しなかった」と回答した方にうかがいます。

問 32-8 短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由は何ですか。当てはまる理由 すべてに○をつけてください。

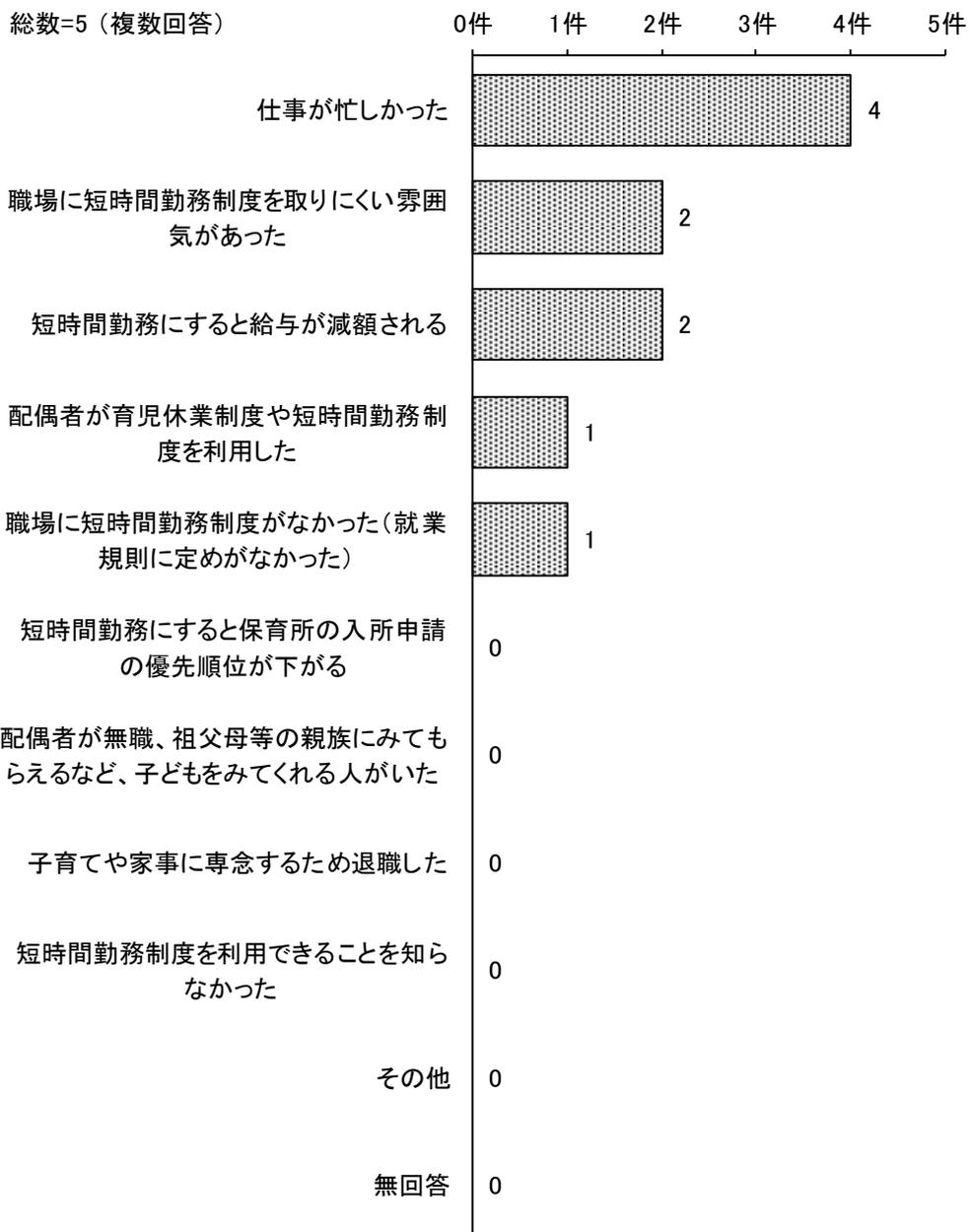
【母親】

「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が 13 件で最も多く、次いで「仕事が忙しかった」と「短時間勤務にすると給与が減額される」がそれぞれ 9 件となっています。



【父親】

「仕事が忙しかった」が4件で最も多く、次いで「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」と「短時間勤務にすると給与が減額される」がそれぞれ2件となっています。



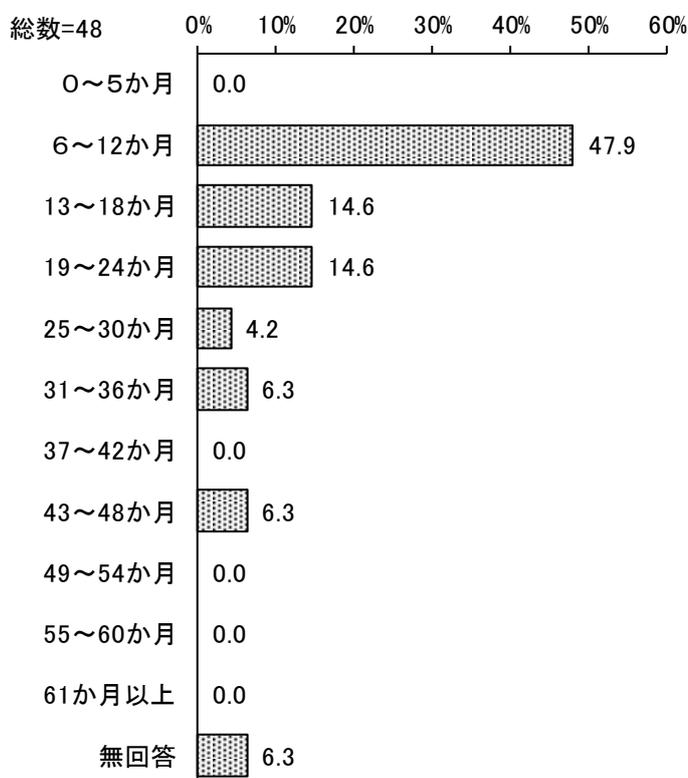
(10) 子どもの年齢と育児休業の取得意向

問 32-2 で「2. 現在も育児休業中である」と回答した方にうかがいます。

問 32-9 お子さんが何歳何ヶ月のときまで育児休業を取得しますか。□内に数字でご記入ください。

【母親】

「6～12 か月」が 47.9%で最も多く、次いで「13～18 か月」と「19～24 か月」がそれぞれ 14.6%となっています。



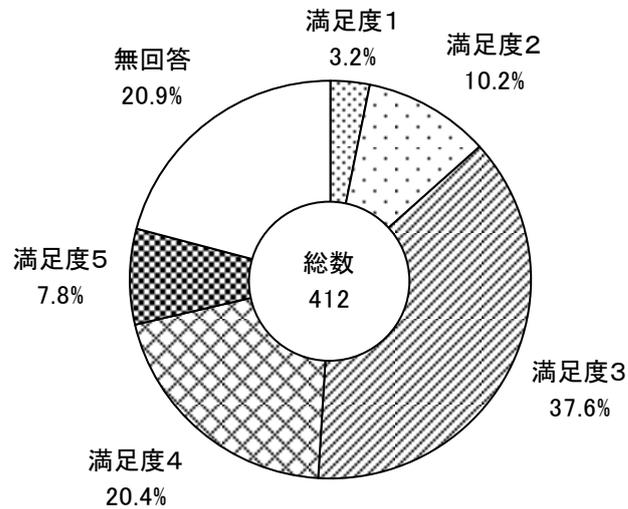
【父親】

対象者がいませんでした。

(11) 住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度

問 33 **すべての方にうかがいます。** お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号に1つに○をつけてください。

「満足度3」が37.6%で最も多く、次いで「満足度4」が20.4%、「満足度2」が10.2%となっています。



※満足度は、「満足度1」が最も低く、「満足度5」が最も高い。

(12) 自由意見

問 34 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

有効回収数 412 票中 160 票に記述がありました（1 票の中に複数の分野にまたがる回答もあるため、各項目の回答件数の合計は 160 件より多くなっています）。以下に回答内容の中から一部を抜粋・調整し、掲載しました。

<主な回答内容>

○相談・情報提供について（9 件）

- ・家庭のこと、子どものことなど、何でも相談できるしやすい機関があると、子育て中のストレスが減る気がします。実際、友達などには言いにくいこともあったり、実の親でも難しいことも。他人であれ、誰かに吐き出せたらと思うことがよくあります。
- ・子育てに悩んでいる時に相談できる窓口がわかりづらい。健診時に相談するしか思いつかない。
- ・保育園、幼稚園を比べられる情報が知りたいです。
- ・地域子育て支援センターに行ってみたいが、初めて行く人間にはハードルが高く感じる。

○講座・イベント・集いの場について（23 件）

- ・シングルマザーのみの集まりなどもあると良いなと思います。なかなか相談しづらかったり、友達ができづらかったり、そういう人たちだけの集まりが（集まれる場）があれば分かり合えることも増えるし、友人も出来やすかったりすると思います。父がいないことが悲しく、辛い中でシングルになった人もいなくはないと思うので、少しでも今後の何かに役立てばと思います。
- ・雨の日等は、児童館、公民館で運動できるようなスペースが欲しいです。
- ・小中学校等の空き教室も利用して子どもを遊ばせられたら良いなと思います。子どもにとってお年寄りの方と触れ合うことが少ないので、そういった方や逆に中高生と触れ合う機会があっても良いのかなと思います。そのような場所でママ友作りもできますし、毎日子どもをどこで遊ばせようかと悩むこともあるので、遊び場の一つとなれば助かります。
- ・児童館のイベントに上の子が 3 歳、下の子が 0 歳代の時に非常に助けられました、スタッフさんもどの児童館でも親切で優しい方が多かったです。
- ・仕事に復帰しているので平日はなかなか時間が取れませんが、土日を利用して地域のママ達ともっと仲良くなりたいという希望はありますが、公民館や児童館の楽しそうな行事は平日しかありません。土日を利用できる市の行事がもっと頻繁にあれば良いなと感じています。
- ・もっと託児付きの子育て支援講座があったり、父親向けの子育て学級も義務化して、積極的に子育てする社会や意識を変えて欲しい。

○一時的保育について（12 件）

- ・保育園の一時預かりの枠が少なすぎて緊急時や用事の時に使えないことが多すぎる。結局、無認可に預けていますが、高額になりすぎるので預けることをためらい、仕事を入れられない。無認可の一時保育にも支援があったら良かった。
- ・市の保育園の一時預かりを利用したいと思い、希望日の 1 か月前（申し込み受付開始日）の午前

中に電話をしたがすぐに定員に達していたため、希望の場所には預けることができなかったので、もう少し定員を増やすなど確実に利用できるようにしていただければありがたいです。

○ファミリー・サポート・センターについて（2件）

- ・ファミリー・サポート・センターが使いやすくなると良いと思います。
- ・ファミサポにしても最初の子どもの面談が必要なため、登録はしていても実際に使えなかったりということがあります。

○病児・病後児保育について（8件）

- ・病児保育や小学生になってからも病気の時に預かってもらえるところを増やして欲しい。緊急サポートセンター等短時間ならなんとかなるが、料金が高い。

○経済的支援について（14件）

- ・育児休業取得するのを諦めて仕事を退職したような人にも、何か給付や支援などがあれば良いと思います。育児休業手当までじゃなくても、多少の手当てがあったら助かります。
- ・中学校、高等学校に通う頃、子どもへの費用がかかるので、何か良い制度があれば良いなと思っています。塾代も高額だと先輩ママたちに聞くので、そういったことも少子化に拍車がかかっているのではないかと思います。
- ・幼児教育、保育無償化する方針ができたため、その分の費用を習い事などに使えて、とてもありがたいと思います。

○定期的な教育・保育事業について（46件）

- ・もっと保育園を増やして欲しい。
- ・0～3歳の保育所が、待機が多く入りづらい。
- ・保育園が保育メインなのはわかるが、働いていても本当は幼稚園に入れたいと考えている人もゼロではないと思うので、こども園のような教育という部分にも力を入れて欲しいです。
- ・保育園の0歳児クラスの保育予約制について、とても良い制度だと思うので、公立だけでなく、全ての保育園で取り入れて欲しい。
- ・幼稚園や保育園の無償化は嬉しいですが、それよりも待機児童を減らすことに費用を使って欲しいと思います。
- ・保育料無償化よりも保育所の環境整備に力を入れて欲しい。
- ・保育園の審査基準で8時間以上（勤務時間）が満点というのが、休憩時間を抜かれてしまうので7時間45分勤務になるので、その15分が厳しいです。
- ・塚越地区には外国人が増加しています。外国人園児などに対応する職員を増やすことによって、先生方も目が行き届き、日本人の子ども達も充実した生活が送れるのではないのでしょうか。
- ・小規模保育園を増やすのではなく、認可保育園の数を増やして欲しい。子どもを広い園庭のある保育園に通わせたいです。
- ・認可保育所の数がまだまだ足りない。もっと増やして欲しい。入れなかった子どもに対して個別にサポートをして欲しい。3歳以下の保育料が高い。認可外保育の情報も一元管理をして欲しい。
- ・育休手当を延長しようと思うと保育園の申し込みが必要になるが、入る必要がないのに申請しな

- ければいけないのが無意味に感じる。本当に入園したい人が申し込むべきだし、育休が2年まで認められているのであれば、満1歳での保育園入園不可の証明がなくても手当を支給して欲しい。
- ・こども園の設立、もしくは延長保育で18時頃まで見てくれる幼稚園を増やして欲しい。働きながらも幼稚園へ通わせられる環境の充実。

○放課後児童クラブについて（20件）

- ・小学校の留守家庭児童指導室は、ちゃんと勉強を教えていただけることや、宿題はちゃんとやらせることなどしていただくと親として安心ができます。
- ・長期休暇中の留守家庭児童指導室に、毎日お弁当を持参させるのは大変なので、希望者には業者の弁当の申し込み体制を取っていただくと助かります。
- ・学童保育の利用時間に不安があります。夏休み等の利用時間の朝の開始の時間を早くしてほしいです（仕事に間に合わない）。

○母子保健について（7件）

- ・全てが初めての経験の親にとって、こんにちは赤ちゃん訪問はとてもありがたいものでした。子供のことだけではなく、親の心配事などにも親身になって聞いていただき、とても感謝しています。要望としては生後1か月健診の前に自治体の方で、赤ちゃん訪問のようなものがあると安心できるかなと思いました。また4か月健診以降も細かくチェックしてもらえると親としても安心かなと感じました。
- ・定期的にある1歳健診など小児科などでできるようにして欲しい。仕事があるので、時間を指定されるとわざわざ有給を取らなくてははいけないので。

○小児医療について（8件）

- ・休日夜間診療などに予約システムなどがあると良い。

○障害のある子どもへの支援について（5件）

- ・発達支援センターがあれば助かります。

○学校教育について（5件）

- ・小中と自由でのびのびとした押さえつけることのない、支配的ではない教育を受けさせたい。個性を認めてあげられるような環境で勉強させたい。

○就学後の子どもの居場所について（5件）

- ・放課後子ども教室の日数を増やして欲しい。

○公園整備について（16件）

- ・東口には大きな公園があるが西口には小さな公園しかない。遊具も古くあまりないので長い時間遊べない。
- ・公園にゴミやタバコの吸殻がたくさん落ちていて安心して遊ばせられない。
- ・公園でボール遊び禁止の立て札がついてしまい悲しい。もっと堂々と子供が遊べる場所を作って

欲しい。遊具も少なく外で体を動かせる機会や様々な運動遊びができていない。

○交通安全や治安・防犯対策について（11件）

- ・通学路にガードレールを設置してほしい。
- ・ボランティアの方々ののおかげで安全な通学ができています。

○ワーク・ライフ・バランスや男女共同参画について（20件）

- ・現在育休中ですが、復職予定の頃までに保育園等が見つかるかが不安です。
- ・今現在働いてはいませんが、夏休みや冬休みなどの長期休暇の時に安心して子どもを預けられる場所があるのなら働きたい。
- ・子育てに専念するため、妻は現在就労していないが、地域の教育や保育環境が充実し、子育てに関する経済的な負担を減らすことができるなら、また就労したいと考えている。夫婦で共働きができることで収入面で充実し、より良い教育機会を子どもに提供できると思う反面、実現するために子どもを夕方から夜まで面倒を見てもらえる人が必要であり、核家族世帯の私たちはそれを諦めている。私は社会にとっても働き手となる人材の活用ができないという点で、改善できる余地があると考えます。
- ・各家庭によって子どもを保育園に預けた理由は様々であり、特に再就職を希望する母親にももう少し配慮した保育園入園のシステムがあれば良いと思う。退職してしまったら最後、母親の社会復帰への道は本当に大変だなと実感しています。
- ・病児保育の施設制度が整ったとしても、具合の悪い乳幼児の子どもを預けてまで仕事をしなければいけない社会状況、職場の雰囲気疑問を感じます。子どもが3歳になるまで経済的、社会的に安心して仕事を休めたり、休職を継続できるような社会が理想的です。現在、子どもは二人ですが、経済的に安心して子育てができるなら、本当はもっと欲しいと考えています。

○その他について（26件）

- ・駅周辺や商店街で歩きタバコをされている方をよく見かけます。子どもが歩いているとちょうど顔の高さにタバコがあったり、周囲に子どもがいても気にすることなくタバコを吸い続けているため、煙が子どもにかかっていたりして、とても危険に思います。
- ・私が子どもだった頃と比べて、保育環境はかなり充実していると思います。身近に相談できる人はいますが、専門の方にもすぐにお聞きすることができるので安心です。
- ・コンパクトシティの強みで、行こうと思えば市内全部の児童館、子育て支援施設を利用できることが良いと思っています。また2人目の保育料が無料になるのもとても助かります。
- ・PTAなどで平日の子どものための時間を取ることが難しいです。今後働くママ、パパが増えていくと、今のPTA制度の維持は厳しいと思います。
- ・蔵市に限ったことではないですが、本当は子どもが3歳になるまで自分で保育したかったです。2歳クラスからの申し込みとなると、どこも2～3名の募集なので、もし、ここで落ちたら復帰できないと思うと、募集人数が多い1歳クラスから入る決断をせざるを得ませんでした。もう少し大きくなってから保育園に預けたいという希望を叶えることができれば本当にありがたいです。

Ⅲ 留守家庭児童指導室在室児童の保護者の調査結果

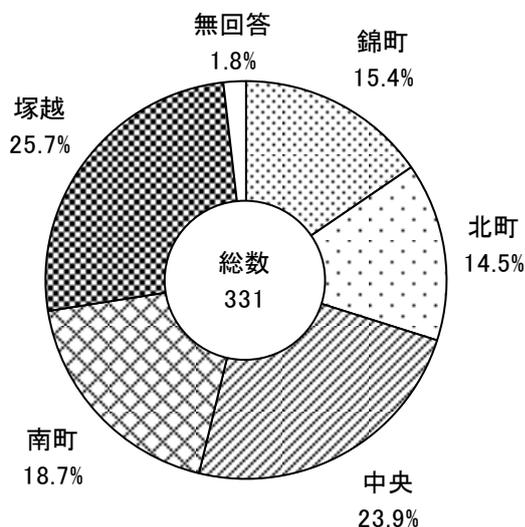
1 子どもと家族の状況について

(1) 居住地区、小学校・学年、留守家庭児童指導室

問1 お住まいの地区、宛名のお子さんが通っている小学校（学年もご記入ください）、留守家庭児童指導室について、それぞれ当てはまる番号1つに○をつけてください。

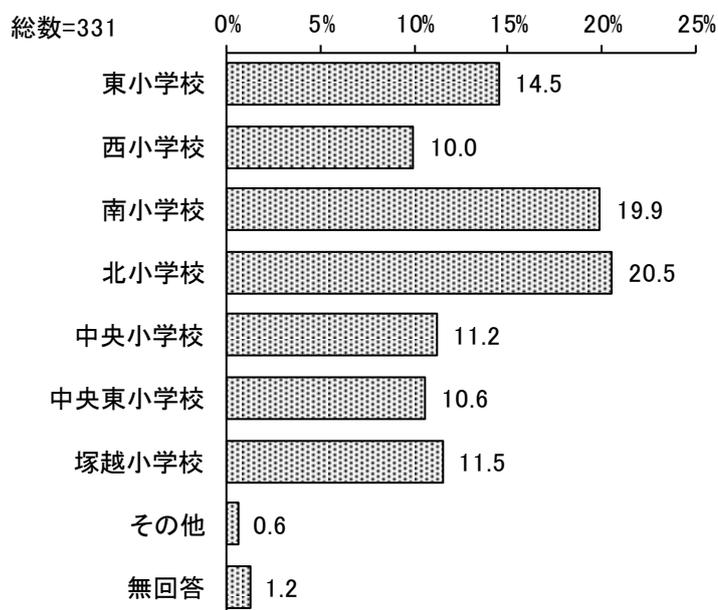
①居住地区

「塚越」が25.7%で最も多く、次いで「中央」が23.9%、「南町」が18.7%となっています。



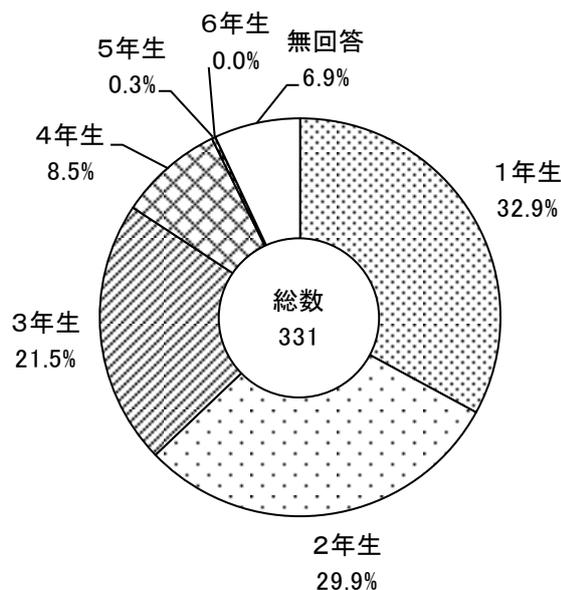
②小学校

「北小学校」が20.5%で最も多く、次いで「南小学校」が19.9%、「東小学校」が14.5%となっています。



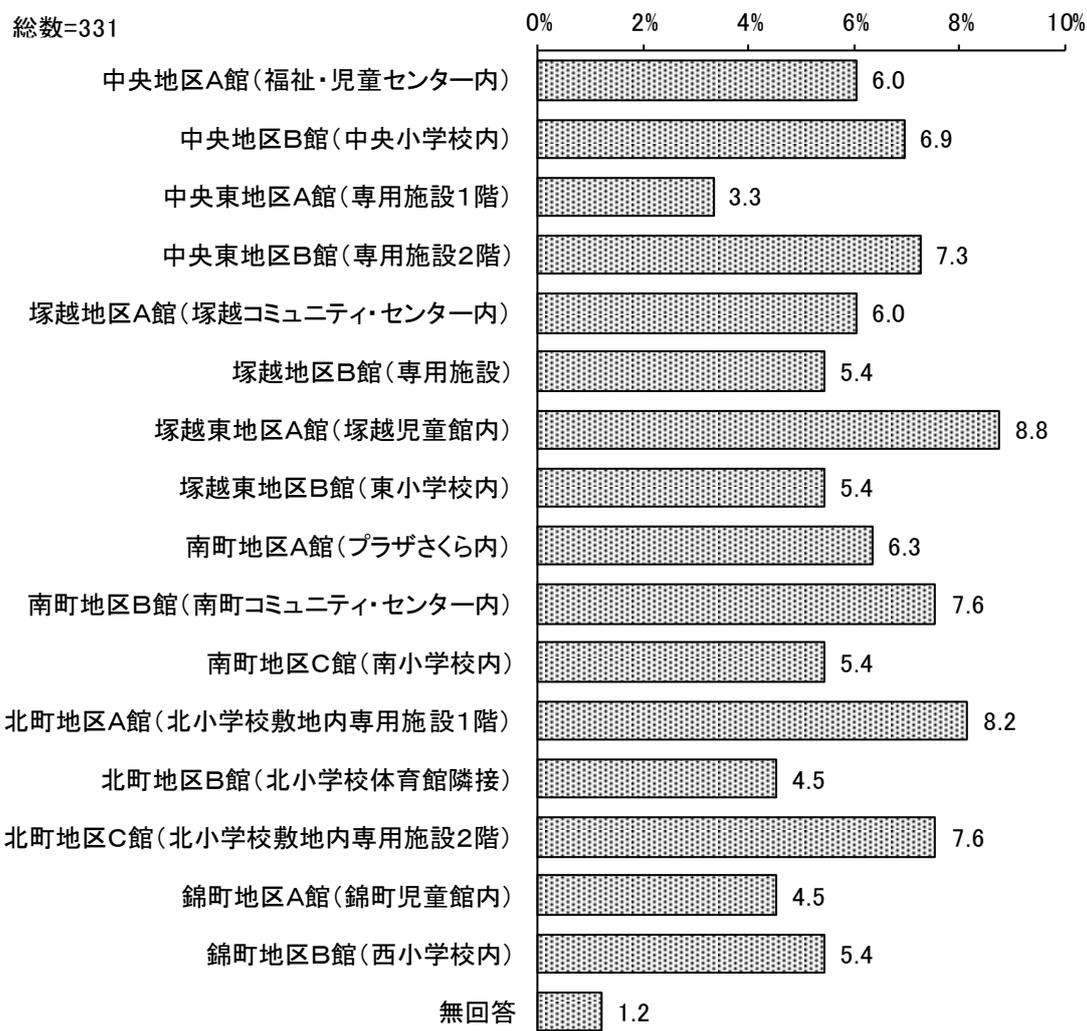
③学年

「1年生」が32.9%で最も多く、次いで「2年生」が29.9%、「3年生」が21.5%となっています。



④留守家庭児童指導室

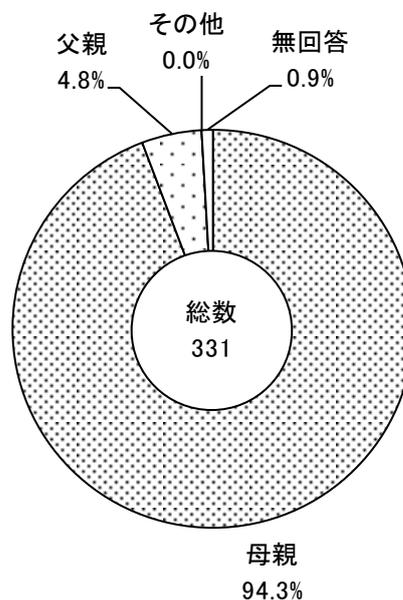
「塚越東地区A館（塚越児童館内）」が8.8%で最も多く、次いで「北町地区A館（北小学校敷地内専用施設1階）」が8.2%、「南町地区B館（南町コミュニティ・センター内）」と「北町地区C館（北小学校敷地内専用施設2階）」がそれぞれ7.6%となっています。



(2) 回答者

問2 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

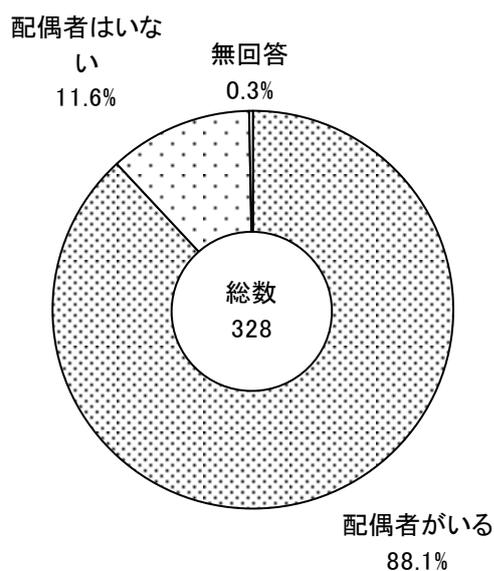
「母親」が94.3%で最も多く、次いで「父親」が4.8%となっています。



(3) 回答者の配偶関係

問3 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。(問2で「3. その他」と回答した方は回答不要です)

「配偶者がいる」が88.1%、「配偶者がいない」が11.6%となっています。



(4) 現在の就労状況

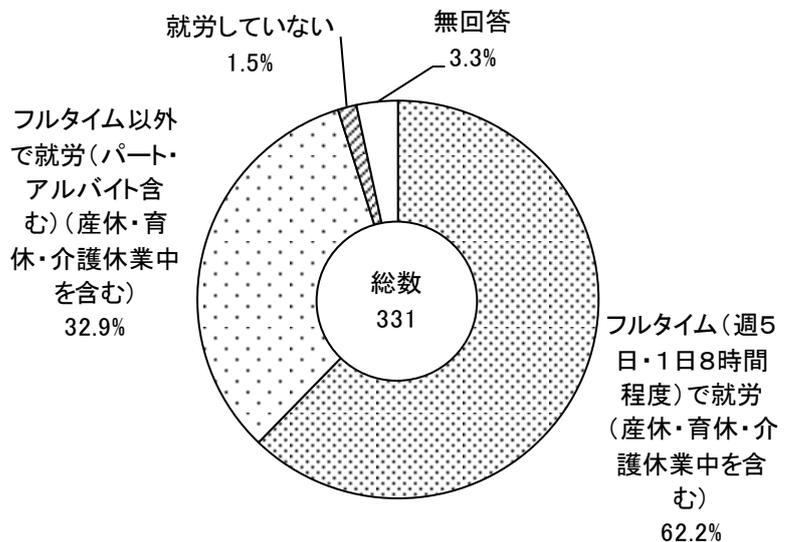
問4 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

【母親】

(1) 母親 【父子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号1つに○をつけてください。

①就労状況

「フルタイム（週5日・1日8時間程度）で就労（産休・育休・介護休業中を含む）」が62.2%で最も多く、次いで「フルタイム以外で就労（パート・アルバイト含む）（産休・育休・介護休業中を含む）」が32.9%、「就労していない」が1.5%となっています。

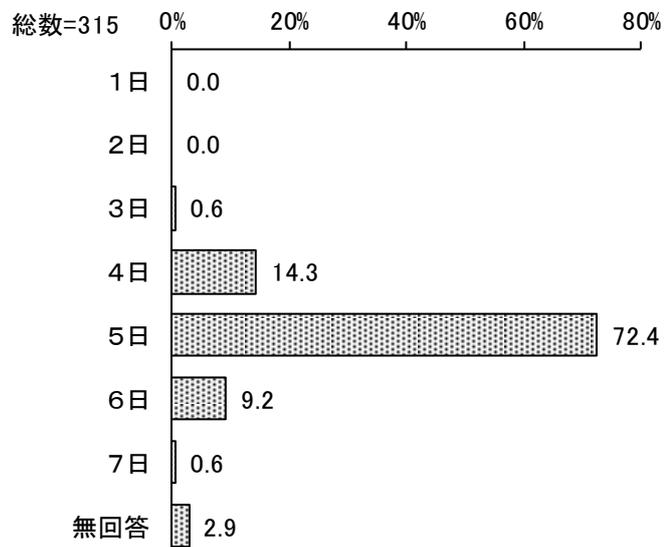


② 1週当たりの就労日数、1日当たりの就労時間

(1) -1 (1)で「1.」または「2.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(□内に数字でご記入ください。)

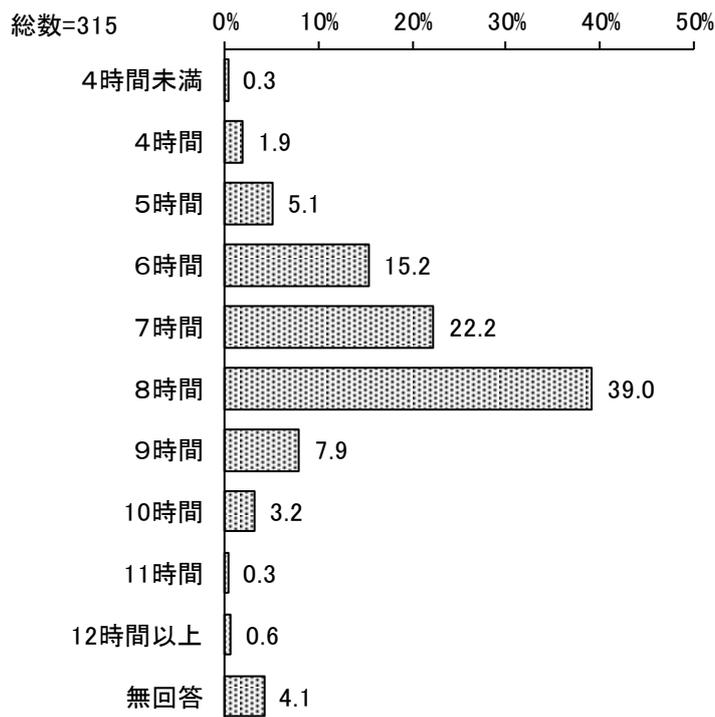
②-ア. 1週当たりの就労日数

「5日」が72.4%で最も多く、次いで「4日」が14.3%、「6日」が9.2%となっています。



②-イ. 1日当たりの就労時間

「8時間」が39.0%で最も多く、次いで「7時間」が22.2%、「6時間」が15.2%となっています。

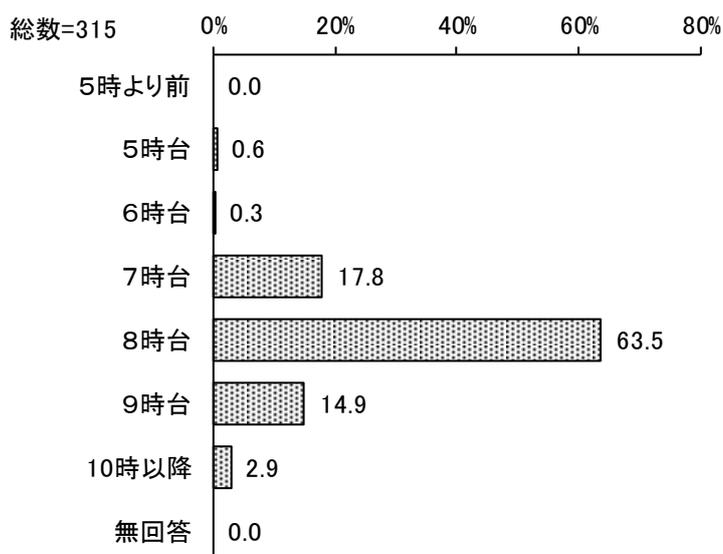


③家を出る時刻、帰宅時刻

(1)-2 (1)で「1.」または「2.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、(例)08時~18時のように、24時間制でお答えください。(口内に数字でご記入ください。)

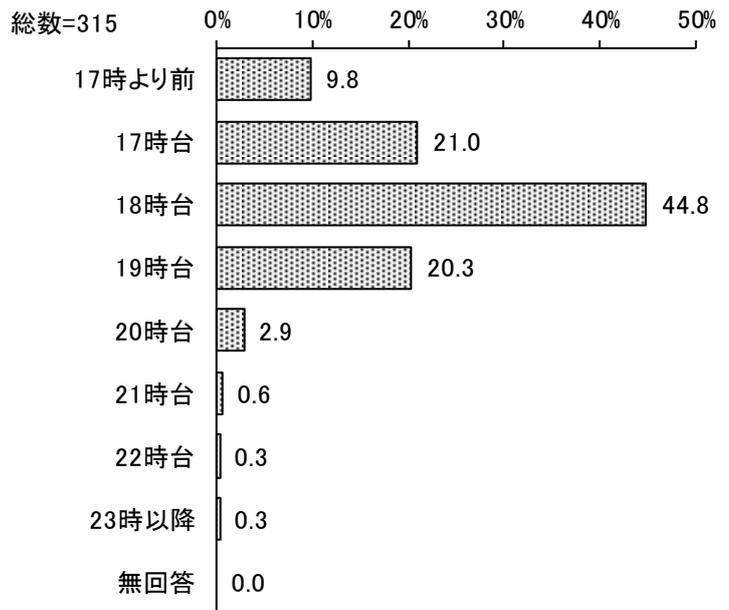
③-ア. 家を出る時刻

「8時台」が63.5%で最も多く、次いで「7時台」が17.8%、「9時台」が14.9%となっています。



③ーイ. 帰宅時刻

「18 時台」が 44.8%で最も多く、次いで「17 時台」が 21.0%、「19 時台」が 20.3%となっています。

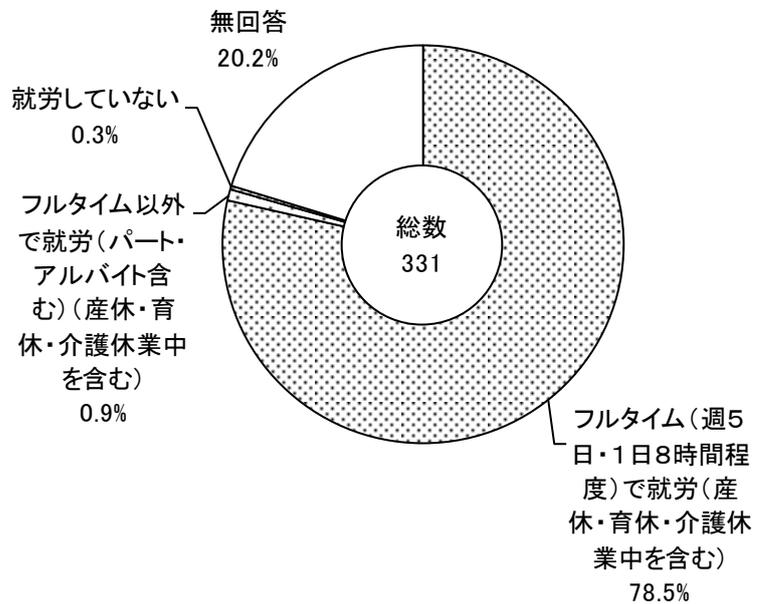


【父親】

(2) 父親 【母子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

①就労状況

「フルタイム (週 5 日・1 日 8 時間程度) で就労 (産休・育休・介護休業中を含む)」が 78.5%で最も多くなっています。

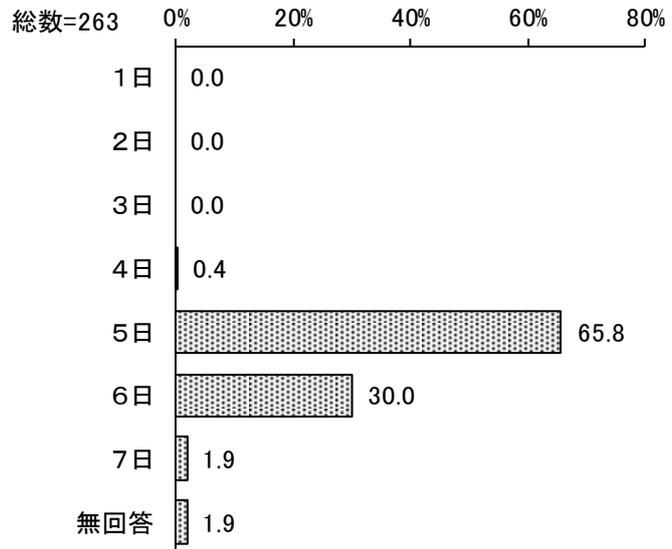


② 1週当たりの就労日数、1日当たりの就労時間

(2) -1 (1)で「1.」または「2.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(口内に数字でご記入ください。)

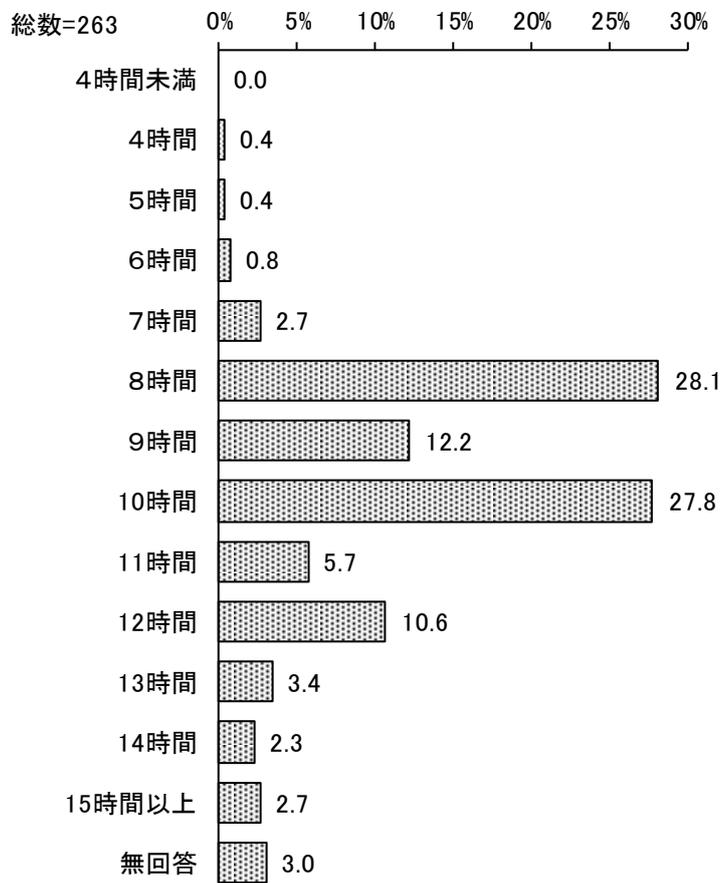
②-ア. 1週当たりの就労日数

「5日」が65.8%で最も多く、次いで「6日」が30.0%、「7日」が1.9%となっています。



②-イ. 1日当たりの就労時間

「8時間」が28.1%で最も多く、次いで「10時間」が27.8%、「9時間」が12.2%となっています。

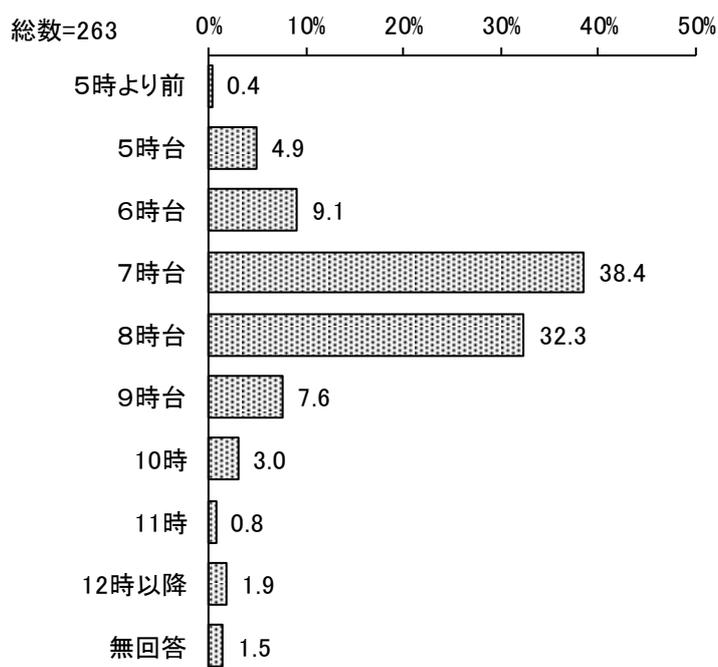


③家を出る時刻、帰宅時刻

(2) -2 (1)で「1.」または「2.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、(例) 08時～18時のように、24時間制でお答えください。(口内に数字でご記入ください。)

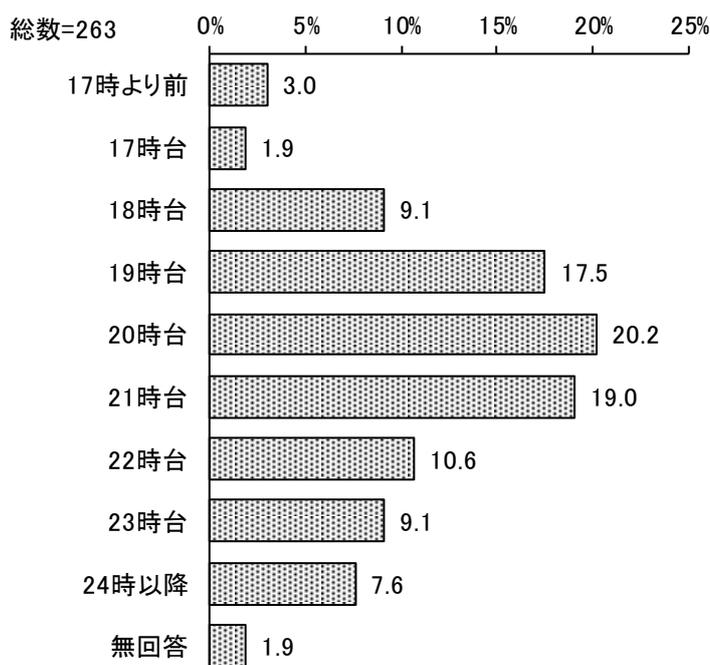
③-ア. 家を出る時刻

「7時台」が38.4%で最も多く、次いで「8時台」が32.3%、「6時台」が9.1%となっています。



③-イ. 帰宅時刻

「20時台」が20.2%で最も多く、次いで「21時台」が19.0%、「19時台」が17.5%となっています。



2 定期的な留守家庭児童指導室の利用状況および利用希望について

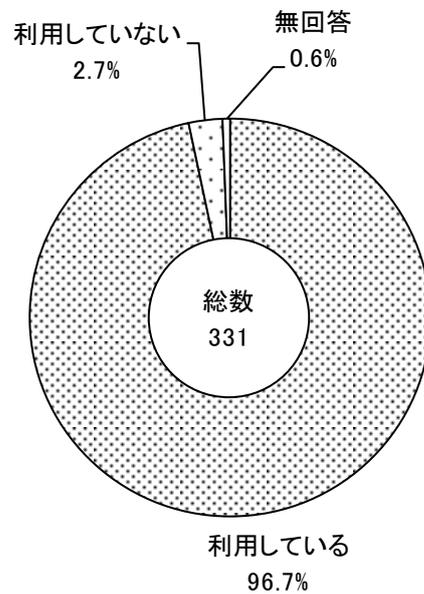
(1) 平日の定期的な利用状況と利用希望

問5 宛名のお子さんの平日（月曜日～金曜日）の定期的な留守家庭児童指導室の利用について、「現在の利用状況」と「今後の利用希望」のそれぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。「1」に○をつけた方は、1週当たり何日、何時から何時までかについて、□内に具体的な数字でご記入ください。時間は、(例) 09時30分～18時00分のように分単位までご記入ください。

【現在の利用状況】

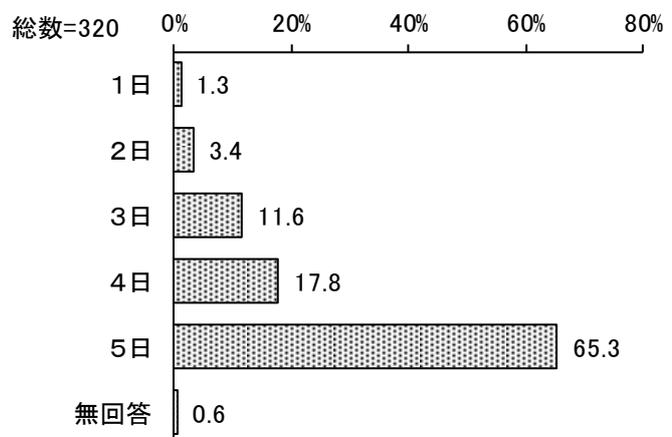
①利用状況

「利用している」が96.7%、「利用していない」が2.7%、「無回答」が0.6%となっています。



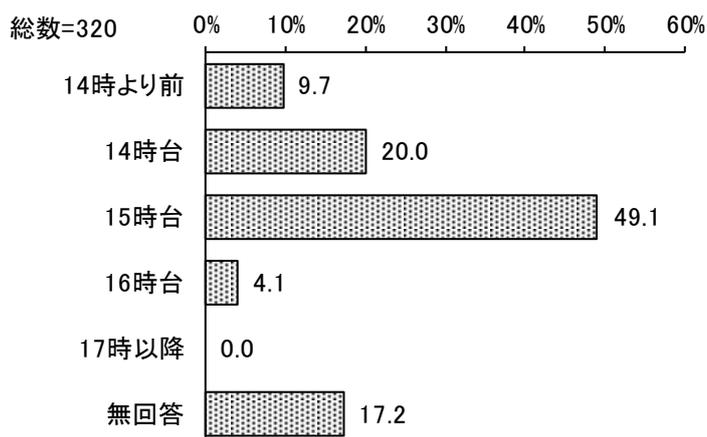
②1週当たりの利用日数

「利用している」と回答した方の利用日数は、「5日」が65.3%で最も多く、次いで「4日」が17.8%、「3日」が11.6%となっています。



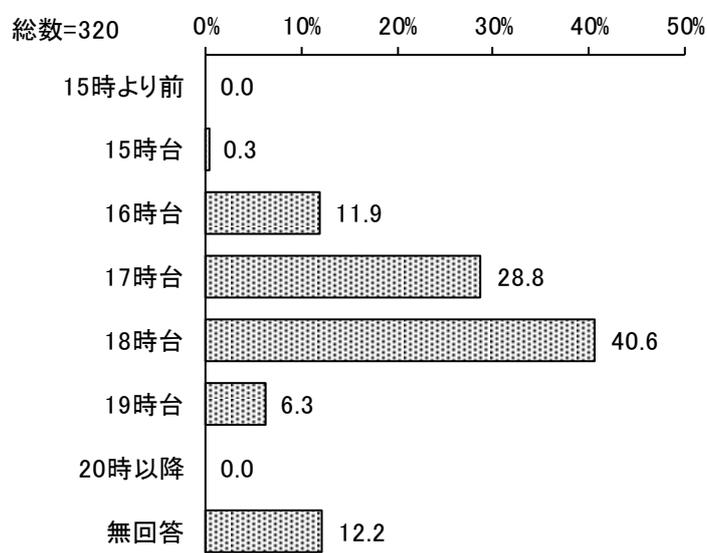
③利用時間帯（開始時間）

「利用している」と回答した方の開始時間は、「15時台」が49.1%で最も多く、次いで「14時台」が20.0%、「14時より前」が9.7%となっています。



④利用時間帯（終了時間）

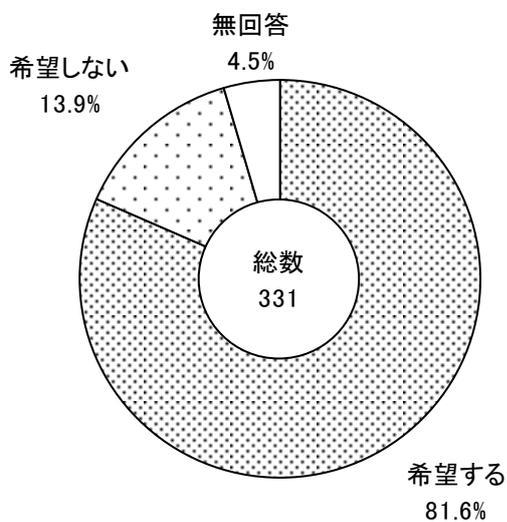
「利用している」と回答した方の終了時間は、「18時台」が40.6%で最も多く、次いで「17時台」が28.8%、「16時台」が11.9%となっています。



【今後の利用希望】

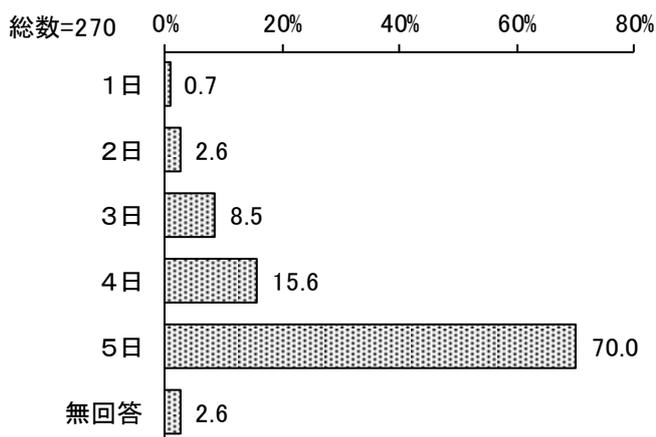
①利用希望

「希望する」が81.6%、「希望しない」が13.9%となっています。



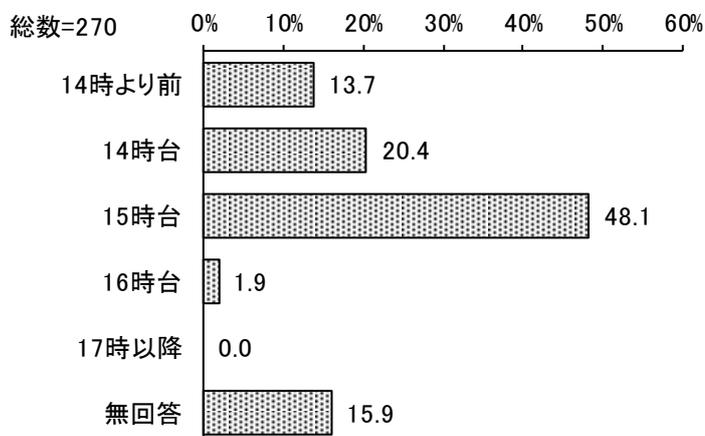
② 1週当たりの希望日数

「希望する」と回答した方の希望日数は、「5日」が70.0%で最も多く、次いで「4日」が15.6%、「3日」が8.5%となっています。



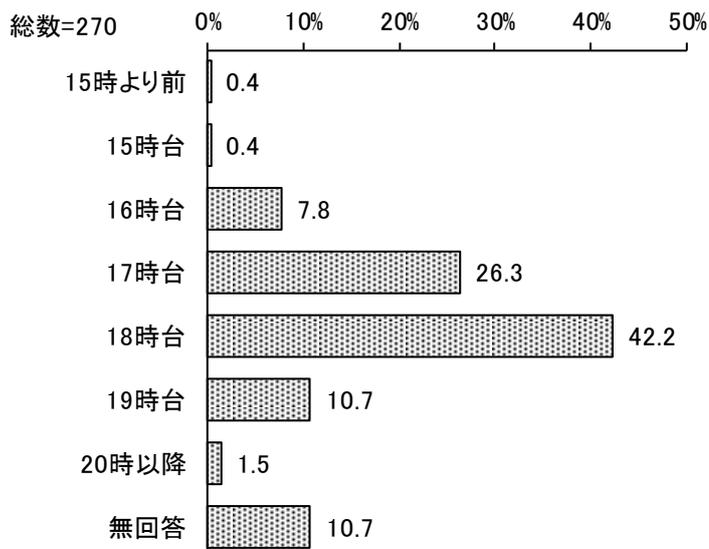
③ 希望時間帯（開始時間）

「希望する」と回答した方の開始時間は、「15時台」が48.1%で最も多く、次いで「14時台」が20.4%、「14時より前」が13.7%となっています。



④ 希望時間帯（終了時間）

「希望する」と回答した方の終了時間は、「18時台」が42.2%で最も多く、次いで「17時台」が26.3%、「19時台」が10.7%となっています。



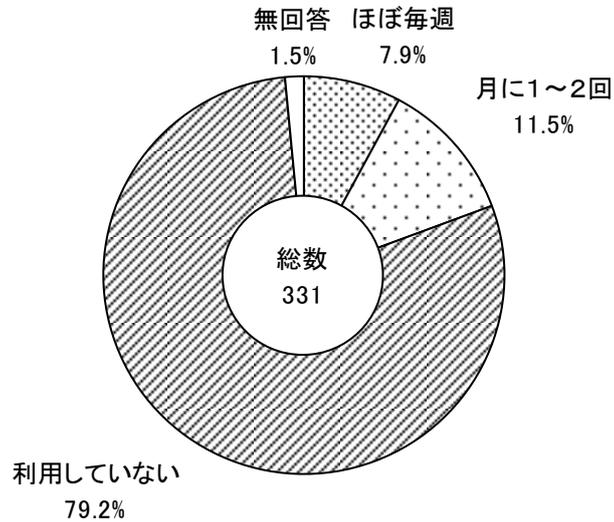
(2) 土曜日の定期的な利用状況と利用希望

問6 宛名のお子さんの土曜日の定期的な留守家庭児童指導室の利用について、「現在の利用状況」と「今後の利用希望」のそれぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。「1.」または「2.」に○をつけた方は、何時から何時までかについて、口内に具体的な数字でご記入ください。時間は、(例) 09時30分～18時00分のように分単位までご記入ください。

【現在の利用状況】

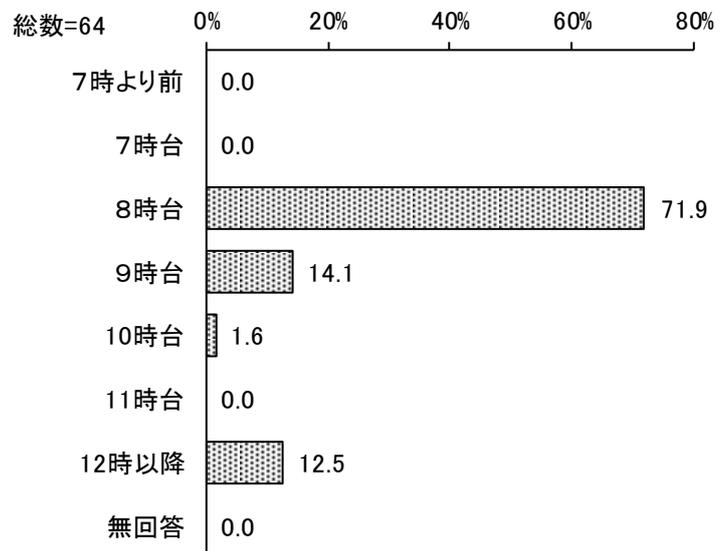
①利用状況

「利用していない」が79.2%で最も多く、次いで「月に1～2回」が11.5%、「ほぼ毎週」が7.9%となっています。



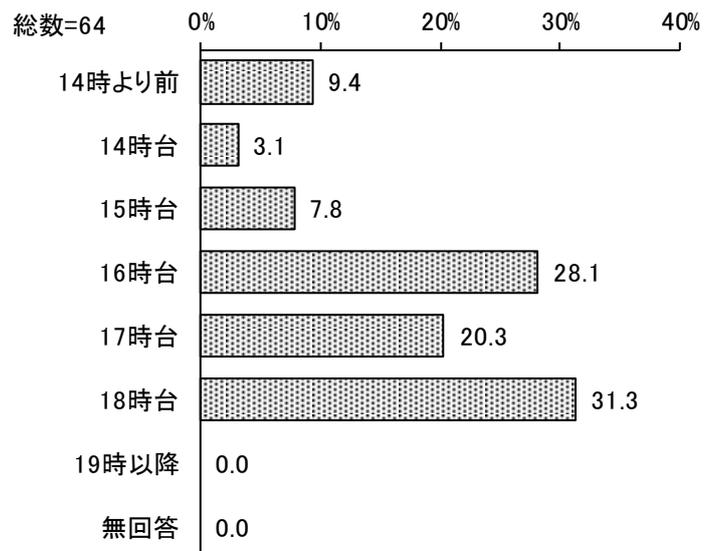
②利用時間帯（開始時間）

「ほぼ毎週」または「月に1～2回」と回答した方の開始時間は、「8時台」が71.9%で最も多く、次いで「9時台」が14.1%、「12時以降」が12.5%となっています。



③利用時間帯（終了時間）

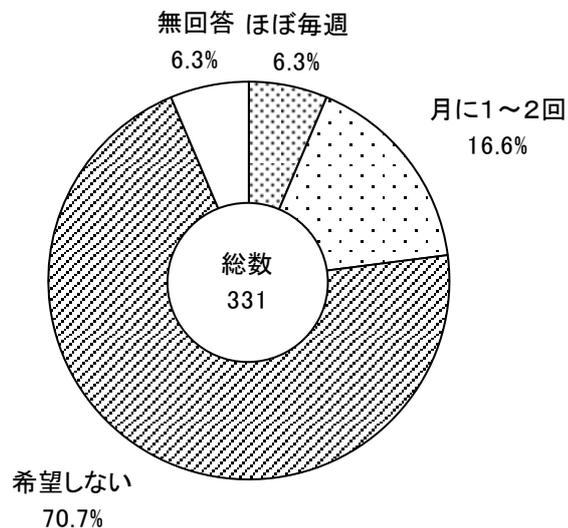
「ほぼ毎週」または「月に1～2回」と回答した方の終了時間は、「18時台」が31.3%で最も多く、次いで「16時台」が28.1%、「17時台」が20.3%となっています。



【今後の利用希望】

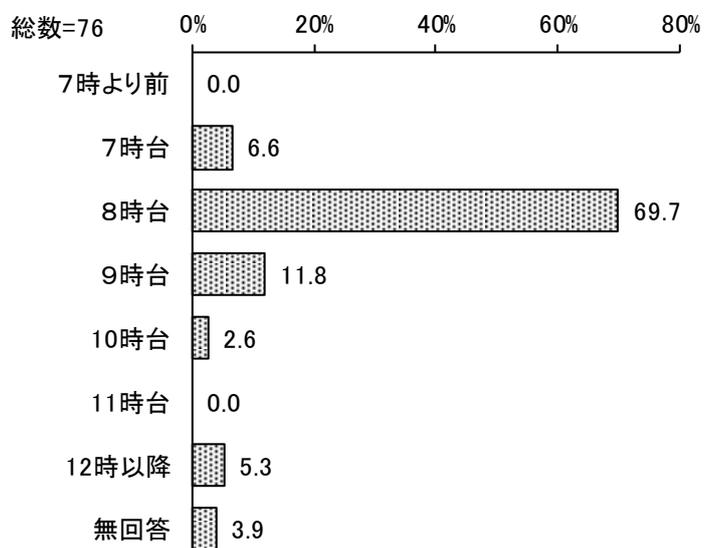
①利用希望

「希望しない」が70.7%で最も多く、次いで「月に1～2回」が16.6%、「ほぼ毎週」が6.3%となっています。



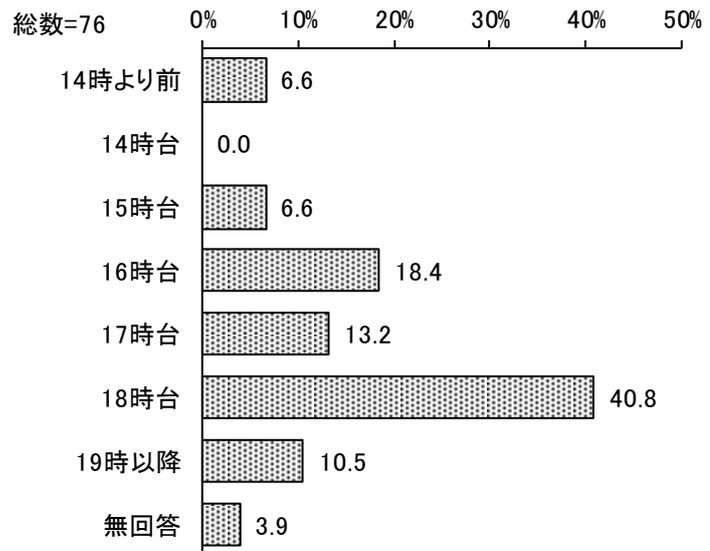
②希望時間帯（開始時間）

「ほぼ毎週」または「月に1～2回」と回答した方の開始時間は、「8時台」が69.7%で最も多く、次いで「9時台」が11.8%、「7時台」が6.6%となっています。



③希望時間帯（終了時間）

「ほぼ毎週」または「月に1～2回」と回答した方の終了時間は、「18時台」が40.8%で最も多く、次いで「16時台」が18.4%、「17時台」が13.2%となっています。



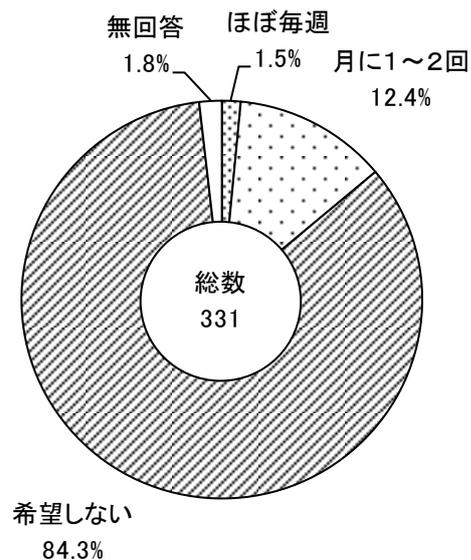
(3) 日曜日・祝日の定期的な利用希望

問7 宛名のお子さんの日曜日・祝日の定期的な留守家庭児童指導室の利用希望（一時的な利用は除きます）について、当てはまる番号1つに○をつけてください。「1.」または「2.」に○をつけた方は、何時から何時までかについて、□内に具体的な数字でご記入ください。時間は、（例）09時30分～18時00分のように分単位までご記入ください。

※現在、日曜・祝日は開室していません。希望をお答えください。

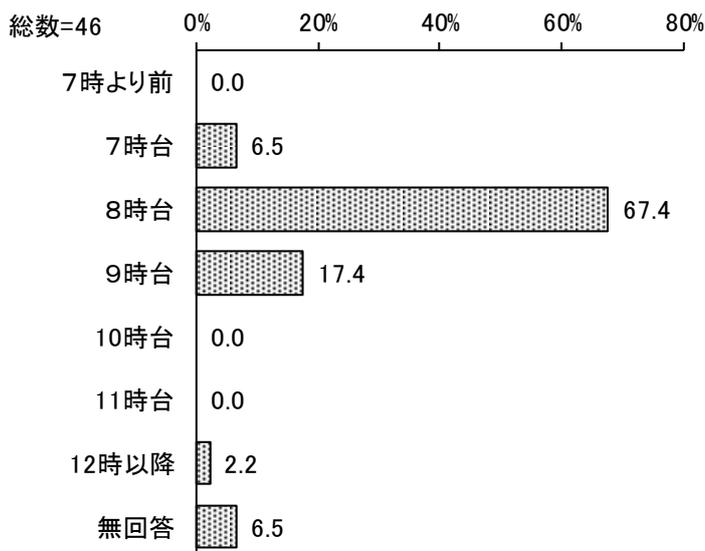
①利用希望

「希望しない」が84.3%で最も多く、次いで「月に1～2回」が12.4%、「ほぼ毎週」が1.5%となっています。



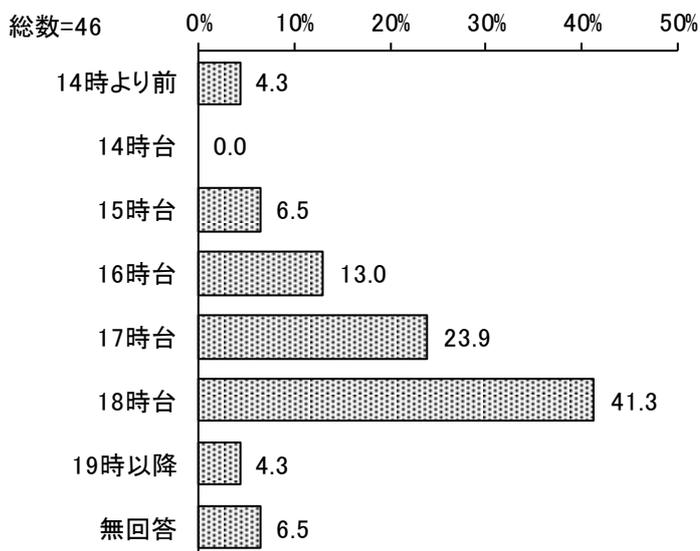
②希望時間帯（開始時間）

「ほぼ毎週」または「月に1～2回」と回答した方の開始時間は、「8時台」が67.4%で最も多く、次いで「9時台」が17.4%、「7時台」が6.5%となっています。



③希望時間帯（終了時間）

「ほぼ毎週」または「月に1～2回」と回答した方の終了時間は、「18時台」が41.3%で最も多く、次いで「17時台」が23.9%、「16時台」が13.0%となっています。



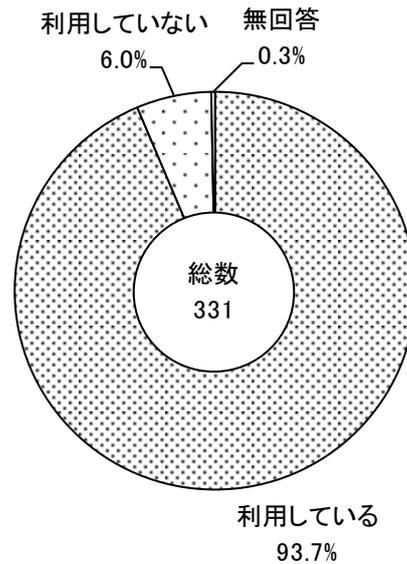
(4) 長期休暇期間中の利用状況と利用希望

問8 宛名のお子さんの長期休業期間中(夏休み・冬休み・春休みなど)の留守家庭児童指導室の利用希望について、「現在の利用状況」と「今後の利用希望」のそれぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。「1。」に○をつけた方は、1週当たり何日、何時から何時までかについて、口内に具体的な数字でご記入ください。時間は、(例)09時30分～18時00分のように分単位までご記入ください。

【現在の利用状況】

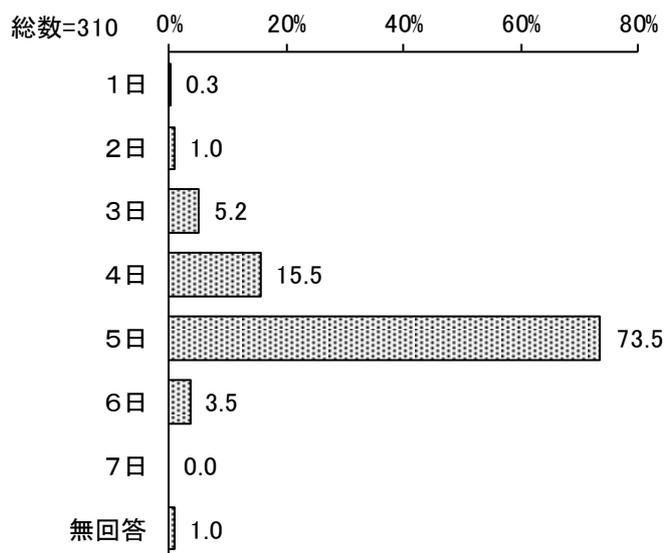
①利用状況

「利用している」が93.7%、「利用していない」が6.0%となっています。



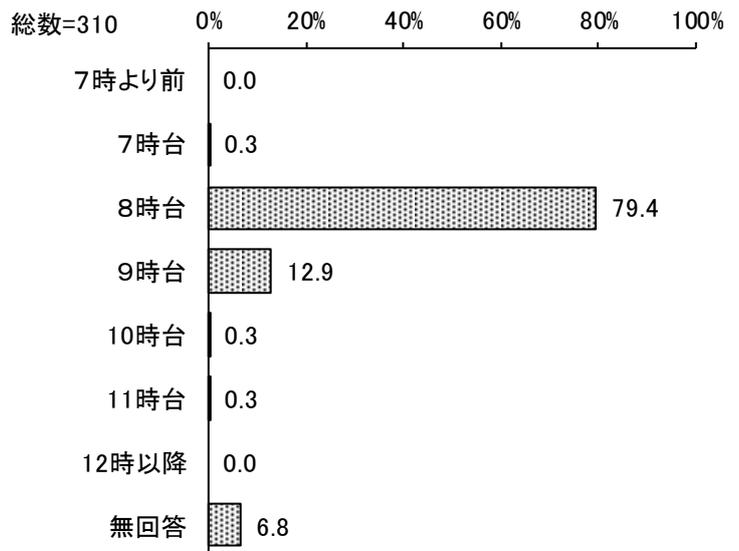
②1週当たりの利用日数

「利用している」と回答した方の利用日数は、「5日」が73.5%で最も多く、次いで「4日」が15.5%、「3日」が5.2%となっています。



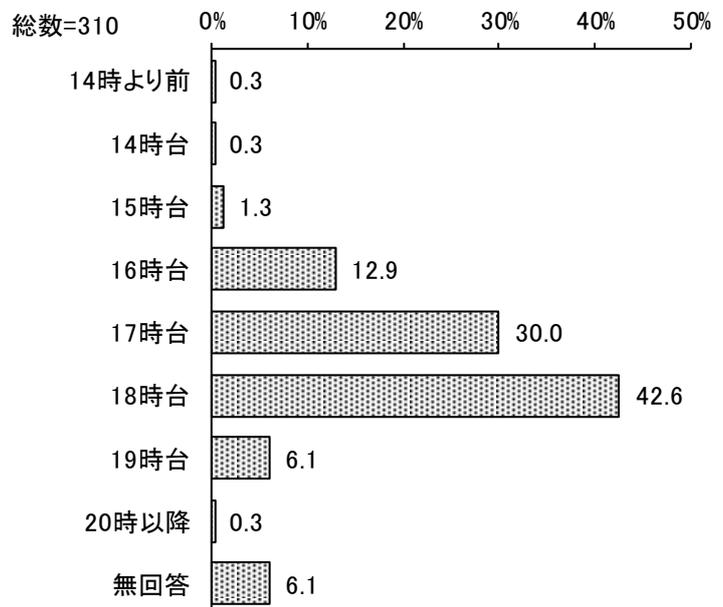
③利用時間帯（開始時間）

「利用している」と回答した方の開始時間は、「8時台」が79.4%で最も多く、次いで「9時台」が12.9%となっています。



④利用時間帯（終了時間）

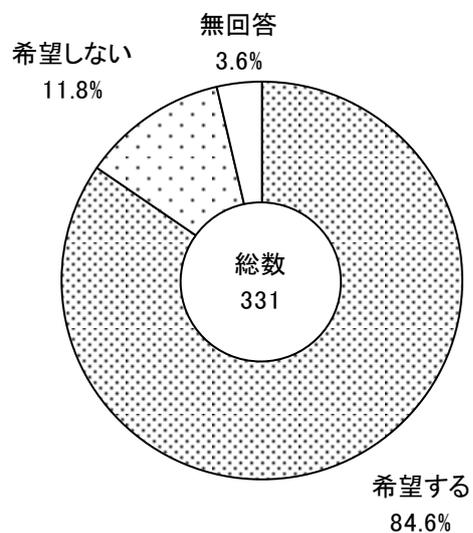
「利用している」と回答した方の終了時間は、「18時台」が42.6%で最も多く、次いで「17時台」が30.0%、「16時台」が12.9%となっています。



【今後の利用希望】

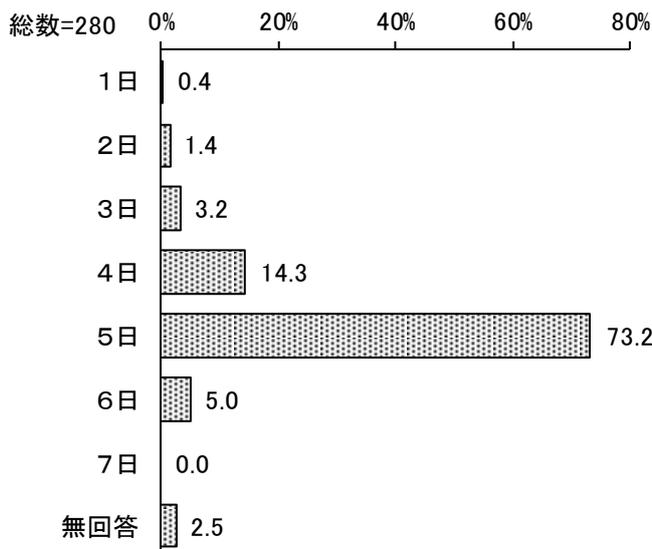
①利用希望

「希望する」が84.6%、「希望しない」が11.8%となっています。



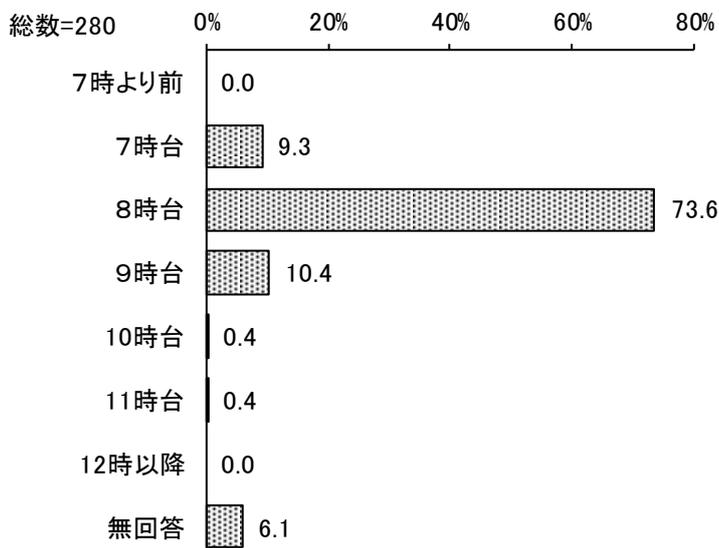
② 1週当たりの希望日数

「希望する」と回答した方の希望日数は、「5日」が73.2%で最も多く、次いで「4日」が14.3%、「6日」が5.0%となっています。



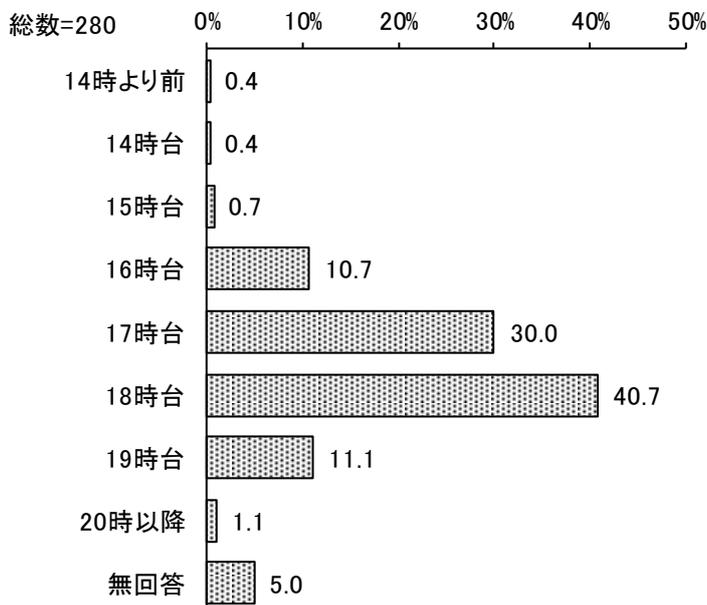
③ 希望時間帯（開始時間）

「希望する」と回答した方の開始時間は、「8時台」が73.6%で最も多く、次いで「9時台」が10.4%、「7時台」が9.3%となっています。



④ 希望時間帯（終了時間）

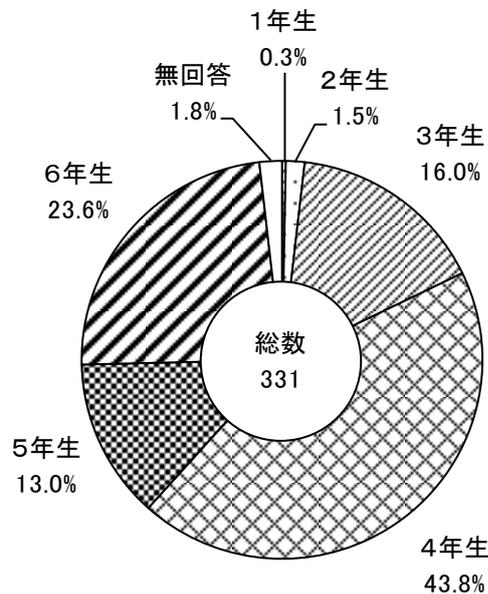
「希望する」と回答した方の終了時間は、「18時台」が40.7%で最も多く、次いで「17時台」が30.0%、「19時台」が11.1%となっています。



(5) 留守家庭児童指導室を利用させたい学年の範囲

問9 宛名のお子さんの留守家庭児童指導室の利用について、何年生まで利用させることを希望していますか。□内に具体的な数字でご記入ください。

「4年生」が43.8%で最も多く、次いで「6年生」が23.6%、「3年生」が16.0%となっています。



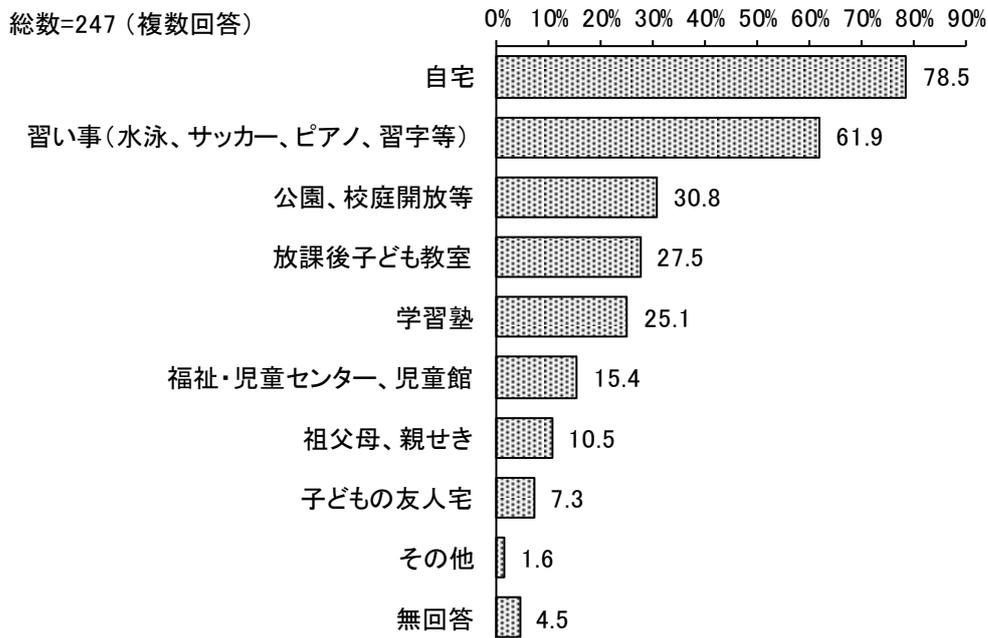
(6) 利用をやめた後に平日の放課後の時間を過ごさせたい場所

問9-1 問9で利用希望学年を1年生～5年生までと答えた方にうかがいます。留守家庭児童指導室の利用を終了した後は平日の放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週当たりの日数を数字でご記入ください。

※放課後子ども教室…市内7つの小学校で、毎週月曜日の放課後に開催しています。地域の方と交流をしながら、遊びやスポーツ、学習、体験活動を行います。

①利用をやめた後に過ごさせたい場所

「自宅」が78.5%で最も多く、次いで「習い事（水泳、サッカー、ピアノ、習字等）」が61.9%、「公園、校庭開放等」が30.8%となっています。



②場所別の週当たりの日数

「自宅」では「5日」が29.9%で最も多く、次いで「2日」が24.2%、「3日」が16.5%となっています。

「習い事（水泳、サッカー、ピアノ、習字等）」では「1日」が39.2%で最も多く、次いで「2日」が35.3%、「3日」が17.0%となっています。

「学習塾」では「2日」が64.5%で最も多く、次いで「1日」が24.2%、「3日」が6.5%となっています。

「福祉・児童センター、児童館」では「1日」が57.9%で最も多く、次いで「2日」が18.4%、「5日」が13.2%となっています。

「放課後子ども教室」では「1日」が92.6%で最も多く、次いで「2日」が2.9%、「5日」が1.5%となっています。

「公園、校庭開放等」では「1日」が32.9%で最も多く、次いで「2日」が30.3%、「3日」が17.1%となっています。

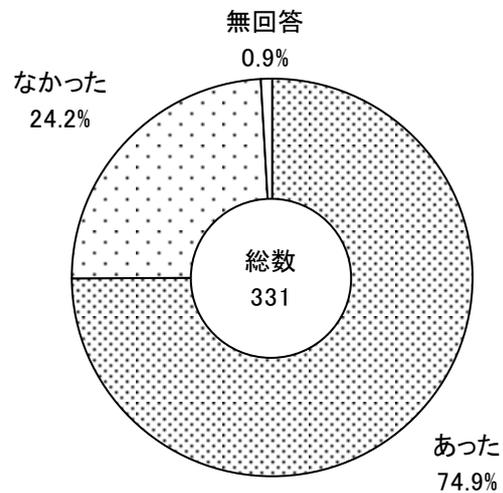
| | 全体 | 1日 | 2日 | 3日 | 4日 | 5日 | 6日 | 7日 | 無回答 |
|----------------------|--------------|------------|------------|------------|------------|------------|----------|----------|-----------|
| 自宅 | 194 100.0 | 22 11.3 | 47 24.2 | 32 16.5 | 23 11.9 | 58 29.9 | 2 1.0 | - | 10 5.2 |
| 祖父母、新せき宅 | 26 100.0 | 7 26.9 | 4 15.4 | 2 7.7 | 1 3.8 | 9 34.6 | - | - | 3 11.5 |
| 子どもの友人宅 | 18 100.0 | 14 77.8 | 2 11.1 | 2 11.1 | - | - | - | - | - |
| 習い事（水泳、サッカー、ピアノ、習字等） | 153 100.0 | 60 39.2 | 54 35.3 | 26 17.0 | 2 1.3 | 8 5.2 | - | - | 3 2.0 |
| 学習塾 | 62 100.0 | 15 24.2 | 40 64.5 | 4 6.5 | - | - | - | - | 3 4.8 |
| 福祉・児童センター、児童館 | 38 100.0 | 22 57.9 | 7 18.4 | 2 5.3 | 1 2.6 | 5 13.2 | - | - | 1 2.6 |
| 放課後子ども教室 | 68 100.0 | 63 92.6 | 2 2.9 | - | - | 1 1.5 | - | - | 2 2.9 |
| 公園、校庭開放等 | 76 100.0 | 25 32.9 | 23 30.3 | 13 17.1 | 4 5.3 | 7 9.2 | - | 1 1.3 | 3 3.9 |
| その他 | 4 100.0 | - | 2 50.0 | - | 1 25.0 | 1 25.0 | - | - | - |

3 子どもの病気の際の対応について

(1) 病気やケガで小学校や留守家庭児童指導室を休んだことの有無

問 10 この1年間に、宛名のお子さんが病気やけがで小学校や留守家庭児童指導室をお休みしたことはありますか。

「あった」が74.9%、「なかった」が24.2%となっています。



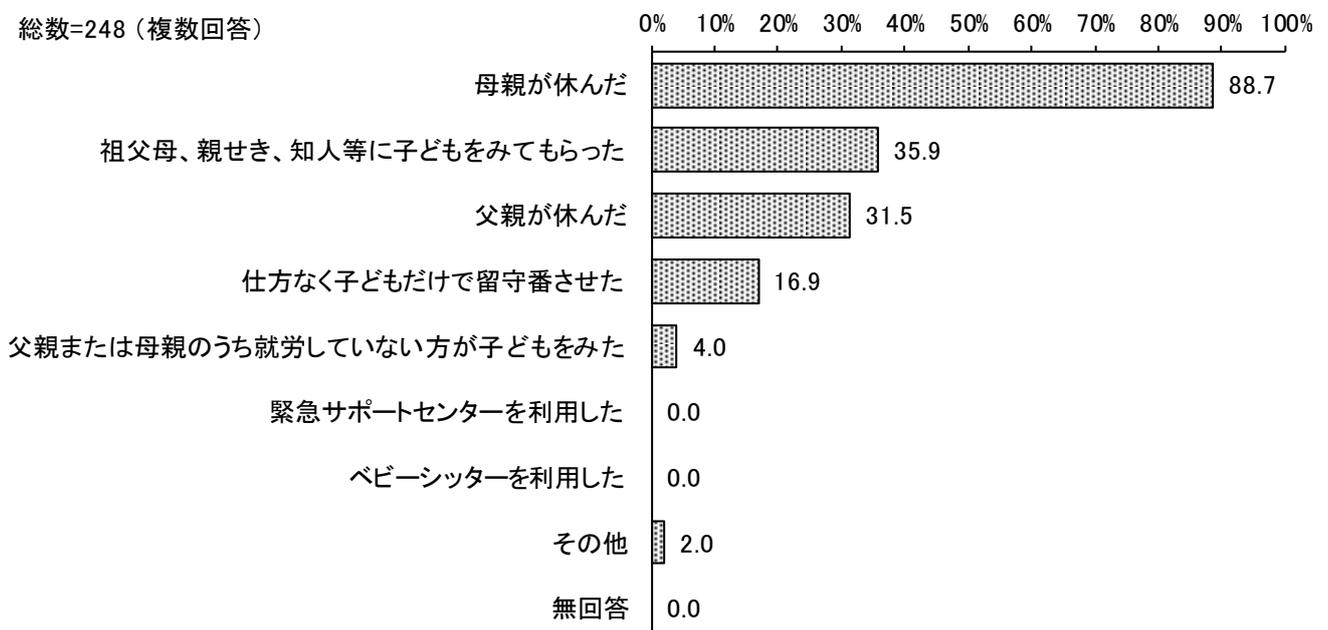
(2) 休んだときの対処方法

問 10-1 この1年間に、宛名のお子さんが病気やけがで小学校や留守家庭児童指導室をお休みした場合に行った対処方法として、当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください。(半日程度の場合も1日とカウントしてください。)

① 対処方法

「母親が休んだ」が88.7%で最も多く、次いで「祖父母、親せき、知人等に子どもをみてもらった」が35.9%、「父親が休んだ」が31.5%となっています。

総数=248 (複数回答)



②対処方法別の日数

「父親が休んだ」では「1日」が43.6%で最も多く、次いで「2日」が25.6%、「3日」が20.5%となっています。

「母親が休んだ」では「2日」が23.6%で最も多く、次いで「3日」が19.1%、「1日」が18.2%となっています。

「祖父母、親せき、知人等に子どもをみてもらった」では「1日」が28.1%で最も多く、次いで「2日」が21.3%、「3日」が16.9%となっています。

「仕方なく子どもだけで留守番させた」では「1日」が38.1%で最も多く、次いで「2日」が23.8%、「5日」が14.3%となっています。

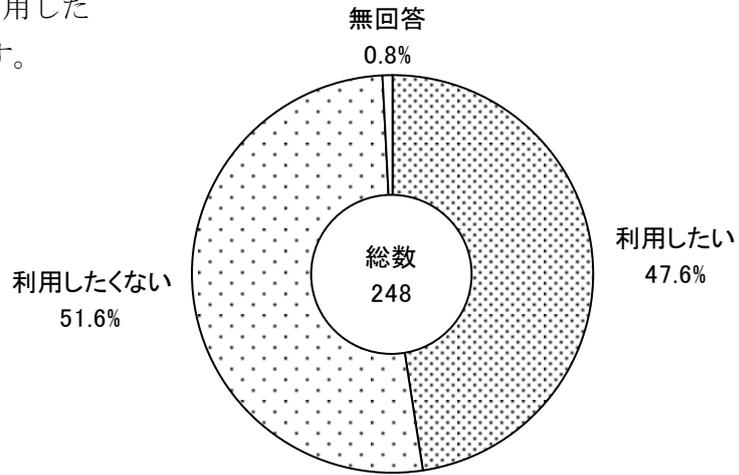
| | 全体 | 1日 | 2日 | 3日 | 4日 | 5日 | 6日 | 7日 | 8日 | 9日 |
|---------------------------|--------------|------------|------------|------------|-----------|------------|-----------|----------|----------|----------|
| 父親が休んだ | 78 100.0 | 34 43.6 | 20 25.6 | 16 20.5 | - - | 7 9.0 | - - | - - | - - | - - |
| 母親が休んだ | 220 100.0 | 40 18.2 | 52 23.6 | 42 19.1 | 10 4.5 | 35 15.9 | 6 2.7 | 7 3.2 | 2 0.9 | 1 0.5 |
| 祖父母、親せき、知人等に子どもをみてもらった | 89 100.0 | 25 28.1 | 19 21.3 | 15 16.9 | 5 5.6 | 9 10.1 | 1 1.1 | 1 1.1 | - - | - - |
| 父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた | 10 100.0 | 2 20.0 | 5 50.0 | 2 20.0 | - - | - - | 1 10.0 | - - | - - | - - |
| 緊急サポートセンターを利用した | - * | - * | - * | - * | - * | - * | - * | - * | - * | - * |
| ベビーシッターを利用した | - * | - * | - * | - * | - * | - * | - * | - * | - * | - * |
| 仕方なく子どもだけで留守番させた | 42 100.0 | 16 38.1 | 10 23.8 | 4 9.5 | - - | 6 14.3 | - - | 1 2.4 | - - | - - |
| その他 | 5 100.0 | - - | 1 20.0 | - - | - - | 2 40.0 | - - | - - | - - | - - |

| | 10日 | 11~15日 | 16~20日 | 21日以上 | 無回答 |
|---------------------------|-----------|----------|----------|----------|-----------|
| 父親が休んだ | - - | - - | - - | - - | 1 1.3 |
| 母親が休んだ | 14 6.4 | 1 0.5 | 2 0.9 | - - | 8 3.6 |
| 祖父母、親せき、知人等に子どもをみてもらった | 6 6.7 | 2 2.2 | 1 1.1 | 1 1.1 | 4 4.5 |
| 父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた | - - | - - | - - | - - | - - |
| 緊急サポートセンターを利用した | - * | - * | - * | - * | - * |
| ベビーシッターを利用した | - * | - * | - * | - * | - * |
| 仕方なく子どもだけで留守番させた | 1 2.4 | - - | - - | - - | 4 9.5 |
| その他 | - - | - - | - - | - - | 2 40.0 |

(3) 病児・病後児保育施設の利用希望

問 10-2 蕨市内に「病児・病後児保育施設」があった場合、利用したいと思いますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。利用に当たっては、事前に医療機関への受診および利用の予約が必要であり、利用料は 1 日 2,000 円程度かかると想定してください。

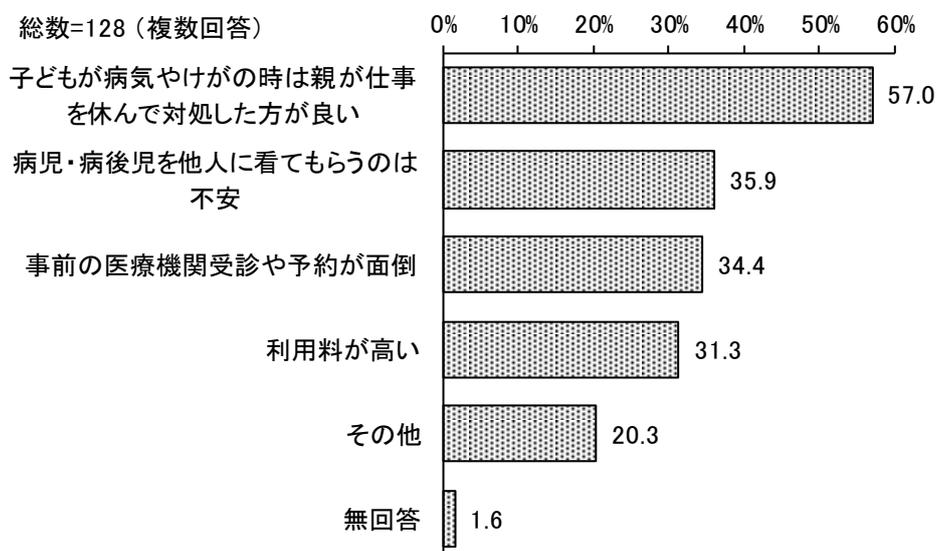
「利用したい」が 47.6%、「利用したくない」が 51.6%となっています。



(4) 病児・病後児保育施設を利用したくない理由

問 10-3 「病児・病後児保育施設」を利用したくない理由はなんですか。当てはまる記号すべてに○をつけてください。

「子どもが病気やけがの時は親が仕事を休んで対処した方が良い」が 57.0%で最も多く、次いで「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」が 35.9%、「事前の医療機関受診や予約が面倒」が 34.4%となっています。

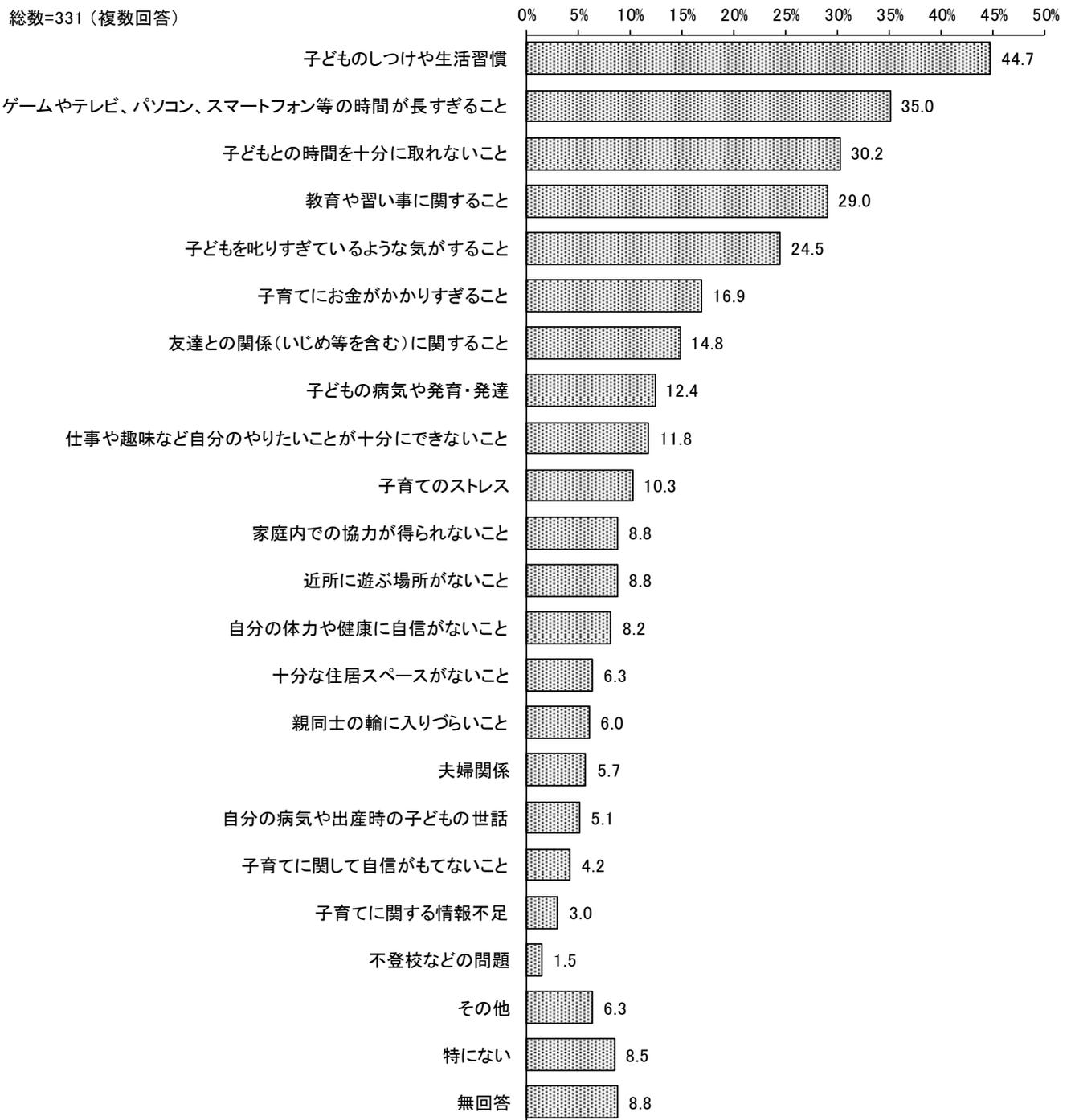


4 子育て全般について

(1) 子育てにおける悩みや不安

問11 子育てにおいて、何か悩みや不安をお持ちですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「子どものしつけや生活習慣」が44.7%で最も多く、次いで「ゲームやテレビ、パソコン、スマートフォン等の時間が長すぎること」が35.0%、「子どもとの時間を十分に取れないこと」が30.2%となっています。



(2) 自由意見

問 12 最後に、留守家庭児童指導室をはじめ教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

有効回収数 331 票中 175 票に記述がありました（1 票の中に複数の分野にまたがる回答もあるため、各項目の回答件数の合計は 175 件より多くなっています）。以下に回答内容の中から一部を抜粋・調整し、掲載しました。

<主な回答内容>

○放課後児童クラブについて

【放課後児童クラブの増設等】（10 件）

- ・現在学童へ行っていて、友達もみんないるので安心して行っている。低学年から優先して学童に入ることは理解できるが、定員オーバーし学童に入れなくなった場合、長期休暇の間は丸 1 日留守番させることになり、不安に感じている。不審者情報のメールを見るたび自分の子どもは大丈夫だろうか心配になる。安心して学童へ預けることができるよう市として対応してもらいたい。
- ・蕨市内に民間の学童室をどんどん増やしていただきたいです。平日、学習塾や習い事に通わせたいなと思っても、仕事をしていると通わせてあげることができないので、勉強を教えてくれたり、習い事ができるような学童室を増やしていただきたいです。

【平日の利用】（10 件）

- ・学級閉鎖時に、子どもは健康なのに学童は利用不可で、急に決まることなので親が休むしかありませんでした。学級閉鎖時でも学童が利用できる自治体はあります。利用できるようにするか、もしくは別の受け入れ先の確保をお願いします。
- ・急な残業等でお迎えが遅れそうな時、当日、事前に連絡を入れても前もって届け出が出ていない等で断られることもありました。度々あることなら別ですが、もう少し柔軟な対応だとありがたいと思います。

【土曜日、日曜日・祝日、長期休業期間中の利用】（78 件）

- ・4 年生くらいになると平日の学童の利用はあまり必要ではなくなるのかもしれませんが、春休み、夏休み、冬休みなどの長期休暇中は 1 人にさせておくことが心配なので、長期休暇中のみ学童利用できればありがたいと思います。
- ・夏休みなど長期休業中、8 時半の開室は通勤時間の関係でもう少し早くして欲しいです。特に低学年の時は、1 人で鍵を開めさせて行かせるのは心配で、精神的につらかったです。
- ・制度上は 6 年生までの申し込みが可能だが、実際は 4 年生まで。放課後預けられないのは仕方ないとしても、せめて長期休みの時は預けられる環境が欲しい。学童室じゃなくても学校の空き教室とかで。
- ・仕事がサービス業なので祝日短時間でも預かって頂ける場所があればありがたいです

【不定期の利用】（4 件）

- ・仕事をしてない人でも幼児の一時保育みたいに預けることができればいいと思います。病院の通

院やPTAの集まりなどの時に利用できたらいいと思います。

- ・平日利用しなくても、学校の振替休日に預かってもらえると良いです。

【保育内容】(25件)

- ・学童での子どもたちの自由がないように感じられる。多数の子どもたちを少ない先生方でフォローするのは大変なのはわかりますが、自由時間がもっとあっても良いのではないかと。
- ・おやつについて。駄菓子、スナック菓子をたくさん出すのではなく、補食として意味のあるものを適量出してほしい。
- ・外遊びが足りないようなので、極力天気の良い日は外遊びの時間を増やして欲しいです。
- ・近所のお年寄りなど参加していただき、家庭ではなかなかできないようなことが経験できたら良い。
- ・各学童室で出欠の確認方法、おやつ代、父母会などルールが違いすぎると思いました。児童数や学年もバラバラ。市でルールを一定化して、保育の質を安定させて欲しいです。
- ・夏休みなどの長期利用の際のお昼ご飯を宅配弁当など希望できればと思います。

【指導員】(29件)

- ・指導室の先生方、ただ怒るのではなく、なぜそうなったのか理由を聞いて問題解決して欲しいです。
- ・留守家庭児童指導室の先生が普段は一生懸命見てくださいますが、子ども達への声かけが、怒鳴りつけていることを多々見かけます。大人数なのはわかりますが、音楽をかけて片付けのスタートをさせるなど工夫をして欲しいです。感情的な大声は子どもが萎縮しています。
- ・いつもきめ細やかに子どもの事を見て頂いて、安心して預かって頂いています。子ども同士のトラブルの介入も早く、きちんと連絡、説明を頂いています。シーズンごとには、イベントや親の事を考えてくださっての給食(お弁当オフ)の日を作ってくださいと大変満足しておりますし、感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございます。仕事で疲れた気分でも、先生方の温かく思いやりのある対応で元気をもらっていますし、頼りになります。

【上記以外の放課後児童クラブに関すること】(28件)

- ・指導室では、先生方に折り紙を教してもらったり、友達同士で一緒に遊んだり、宿題を行う習慣が身につけてとても助かっています。仕事のためなかなか子どもと向き合って接することができていないので、指導室での様子を聞くことは親子の会話の大切な一つとなっています。
- ・習い事に出た後も、また学童に戻れるようにして頂けるととても嬉しいです。
- ・急な残業等でお迎えが遅れそうな時、当日、事前に連絡を入れても前もって届け出が出ていない等で断られることもありました。度々あることなら別ですが、もう少し柔軟な対応だとありがたいと思います。
- ・各学童室で出欠の確認方法、おやつ代、父母会などルールが違いすぎると思いました。児童数や学年もバラバラ。市でルールを一定化して、保育の質を安定させて欲しいです。

○病児・病後児保育について(5件)

- ・病児保育が始まるとのこと、ありがたいです。ただ定員も少なそうなので本当に利用できるのか

心配です。また金額など詳しい情報がなく、もっと詳しく広報してほしいです。

○学校教育について（8件）

- ・都内、他県では小中一貫教育もスタートしている現在ですが、蕨市は今後どのように考えておられるのか、教育に考え方が遅れを取っていないか不安です。

○PTAについて（4件）

- ・PTA活動は本当に必要なものだけに絞ってほしいです。平日しょっちゅうは仕事は休めないのです。
- ・PTAなど強制に近く、市からの要請でPTAの仕事が増え、仕事をしていると非常に厳しく、苦しく大変です。

○就学後の子どもの居場所について（14件）

- ・学童が利用できない子どものために、勉強ができる場所や遊べるスペースが近くにあれば良いと思う。
- ・小学校高学年の子どもがもっと外で遊べるように工夫がないものかと、いつも考えています。遊び=家でゲームになっているので。親も考えるべきだと思っています。
- ・放課後や休日に子どもや親が安心できる子供の居場所が少なすぎると思います。公園のボール禁止や児童センターでゲームをしていて追い出されてしまうなど。放課後こども教室のような取組が増えてくれると嬉しいです。
- ・小学校の敷地内で、何か有料で構わないので習い事などがあると良いなと思います。
- ・子ども達が集まって何かできる場、校庭、体育館、校舎一部開放などしてもらえるとありがたい。公園などボールNGなど体を動かす場が少なすぎる。

○公園整備について（6件）

- ・小学生がボール遊びを自由にできる公園がとても少なく困ってます。せっかく外で体を動かして遊ぼうとする子どもたちの意欲を損なうと思います。

○交通安全や治安・防犯対策について（3件）

- ・学校、朝の旗振り当番制度は、仕事を持つ親には時間帯がかなり負担に感じている。シルバーさんへの委託（有料可）も検討すべき。

○その他について（12件）

- ・保育園に0歳～入園できたおかげで今の職に就くことが出来ました。保育園、学童、フルに活用し、足りない部分もありますが、なんとかやりくりできています。職員の皆さんのおかげです。いつもありがとうございます。